

漢那福地川リバーパーク整備基本計画  
(第2期)案

令和6年3月

# 目 次

1. 背景及び目的.....	1
2. 上位関連計画 .....	2
3. 実態調査、現状分析及び事例調査.....	15
3-1. 統計データ.....	15
3-2. 施設の利用状況、運営状況調査 .....	17
3-3. 類似施設調査.....	19
4. 来訪ニーズ・需要分析及び広域的人流分析.....	25
4-1. 交通量調査 .....	25
4-2. 来訪者アンケート調査 .....	32
4-3. ビッグデータ分析 .....	48
5. 施設等整備コンセプト .....	57
5-1. 実態調査・分析及び課題の整理.....	57
5-2. 整備コンセプト・方向性.....	59
6. 導入機能についての整備方針 .....	61
6-1. 導入機能検討にあたっての事業者ヒアリング .....	61
6-2. 導入機能の整理 .....	64
7. 施設計画.....	68
7-1. ゾーニング計画.....	68
7-2. 施設配置計画.....	74
8. 最適な事業手法及び運営手法の検討 .....	77
8-1. 事業方式の比較検討 .....	77
8-2. エリア・機能別の事業手法・運営手法の検討 .....	80
9. 事業スケジュール .....	81

## 1. 背景及び目的

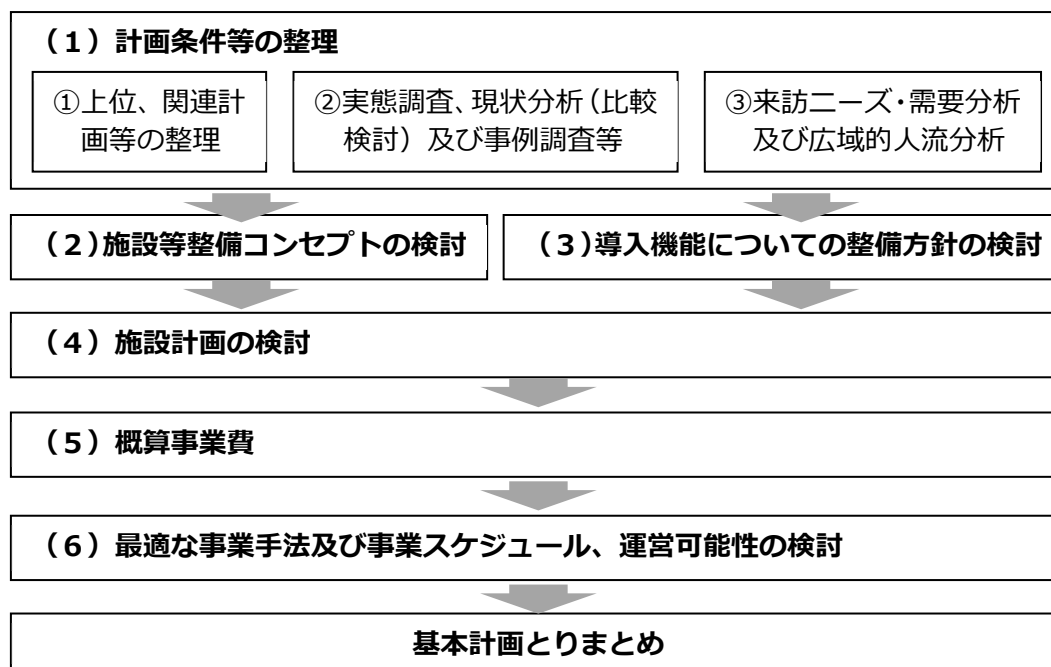
道の駅ぎのぞ及び周辺地域（漢那福地川沿い）一帯は、平成10年に整備された特産品加工直売センターを含め、平成23年度に策定されたリバーパーク基本計画に基づき、パークゴルフ場や観光拠点施設等が整備されてきており、道の駅ぎのぞとしては、平成26年10月に道の駅に登録され、更に平成28年1月に重点道の駅に選定されている。

観光拠点整備後、平成30年のリニューアルオープン年には、年間約63万人の来客があり賑わいをみせたが、週末やイベント時の「駐車場不足」等が課題となっている。周辺を整備することにより滞在時間延長促進を図り一過性の賑わいとならないよう取り組む必要があるとともに、新型コロナウイルスの影響についても注視していく必要がある。

こうした状況を踏まえ本業務では、地域の魅力を発信し、集客力を高め持続可能な観光交流拠点として道の駅ぎのぞ及び周辺地域（漢那福地川沿い）の活性化を図るために必要な導入機能を検討するにあたり、基礎調査や需要予測、整備効果等の調査・分析を行う。さらに、ライフサイクルコストや収支予測シミュレーション等を整理して整備手法及び管理運営手法等の有効的な手段を検討し、「漢那福地川リバーパーク整備基本計画（第2期）」（以下「基本計画」という。）を策定することを目的とする。

なお、基本計画を策定するための関係課会議やリバーパーク整備検討委員会の開催支援もあわせて実施する。

### ■調査フロー



## 2. 上位関連計画

### ① 第5次宜野座村総合計画・後期基本計画

#### 基本政策3

「自然と共生した環境にやさしい“循環型社会づくり”」

#### 基本施策 3-3 魅力ある公園緑地や水と親しむ空間の整備

自然や人とのふれあいの場やコミュニティ活動の場などの身近な環境の充実を図るため、地域と連携した公園・広場等を整備するとともに、適切な維持管理に取り組みます。また、本村の豊かな自然資源により親しめるよう、リバーパーク整備の推進等、地域の魅力を高める水と緑の再生・創出を進めます。

#### 施策展開

##### (1) 地域と連携した公園・広場等の整備・管理

- ①地域住民の意向に応じた身近な公園・広場等の整備に努めます。
- ②地域による定期的な点検や維持保全、安全性の確保を促し、維持管理を促進します。
- ③必要に応じて既存の公園施設の補修や更新に努めるとともに、地域のニーズに即した遊具類・防災かまどベンチ等への更新・撤去、機能の再配置等に努めます。

##### (2) 水と緑の再生・創出

- ①漢那福地川や宜野座福地川等の自然環境の現状を踏まえ、自然環境の復元とあわせて、遊歩道の整備や緑化等により憩いの場を設ける等、人と自然がふれあえる空間づくりを進めます。
- ②漢那福地川及び宜野座福地川周辺の豊かな自然を活かした観光スポットを整備します。
- ③農地や農業施設等の生産機能の向上及び集落の環境向上を図るため、防風・防潮林の植栽を推進します。
- ④河川・海浜の親水化整備やマングローブ等の既存植生の保全・活用等、地域と連携して宜野座福地川の整備計画を検討します。

## ② 第2期 宜野座村まち・ひと・しごと創生 総合戦略

### 宜野座村のめざす姿

「みんなの笑顔が輝き 世代がつながるむら」

～未来にチャレンジする 宜野座村～

#### 基本目標 1

むらの特性を活かした「しごと・活動の場」づくり

～産業振興と魅力ある雇用の創出～

若者・女性・子育て世代・高齢者など、多様な村民一人ひとりがいきいきと輝く「しごと・活動の場」、チャレンジの創出に取り組みます。

#### 基本目標 2

豊かな自然環境や地域資源を活かした「人の流れ」を受け入れる環境づくり

～ブランド力の向上による交流・観光の推進と定住の促進～

村民の愛着と誇りを高め、宜野座村の魅力をみんなで磨き、県内外に情報発信し、「人の流れ」を受け入れる環境づくりに取り組みます。

#### 基本目標 3

結婚、妊娠、出産の希望をかなえ、安心して子育てが出来る環境づくり

～結婚・出産・子育ての希望をかなえる～

結婚・妊娠・出産の希望をかなえ、子どもの健やかな成長を誰もが喜び、安心して子育てができる「環境」づくりに取り組みます。

#### 基本目標 4

活動する「ひと」づくり、未来につながる「協働」のむらづくり

～誰もが健康で地域で活躍し、安心して暮らすことのできる魅力のある地域づくり～

村民一人ひとりが健康で暮らしやすさを感じ、子どもや孫等の明るい未来のため、時代にあった地域をデザインし、未来に責任を持ち主体的に活動する「ひと」づくり、未来につながる「協働」のむらづくりに取り組みます。

### ③ 宜野座村観光振興計画

#### 基本方針 1. 宜野座村の魅力掘り起しと推進

##### 施策 1. 地域の魅力づくり

###### 取り組み①道の駅「ぎのぞ」の魅力づくり

- 道の駅「ぎのぞ」は宜野座村のシンボリック施設となっており、引き続き、道の駅「ぎのぞ」を拠点とした取り組みを実施していきます。
- 宜野座村の農作物や工芸、食などを販売する直売所を含め、観光を発信する拠点施設を中心に地域全体が活性化できる取り組みを行っていきます。

###### 取り組み⑦リバーパーク構想を踏襲したプロジェクトの推進

- 「宜野座村の『自然』を活かした、見て、触れて、体験できる公園整備」を図る目的で、平成 23 年度に基本計画を策定、平成 24 年度にはパークゴルフ場、平成 28 年度から平成 29 年度にかけて観光拠点施設等が建設されるなど整備を進めてきました。
- 今後の取組としては、道の駅「ぎのぞ」の魅力づくりにおける展開や、駐車場不足等の課題解決、民間連携の取り組み等、福地川一帯の更なる活性化にむけて計画を見直しつつ推進していきます。

#### 基本方針 7. 安心して関われる安全な観光地づくり

##### 施策 13. 安全で清潔な観光地づくり

###### 取り組み⑩観光施設を管理し、安全・清潔な施設を維持、保全する

- 道の駅「ぎのぞ」、漢那ビーチ、漢那ダム、漢那パークゴルフ場、松田鍾乳洞等の観光施設を管理し、安全性と、衛生管理等を行っていきます。
- 自然保護、環境保持に配慮した上で観光振興を行っていきます。

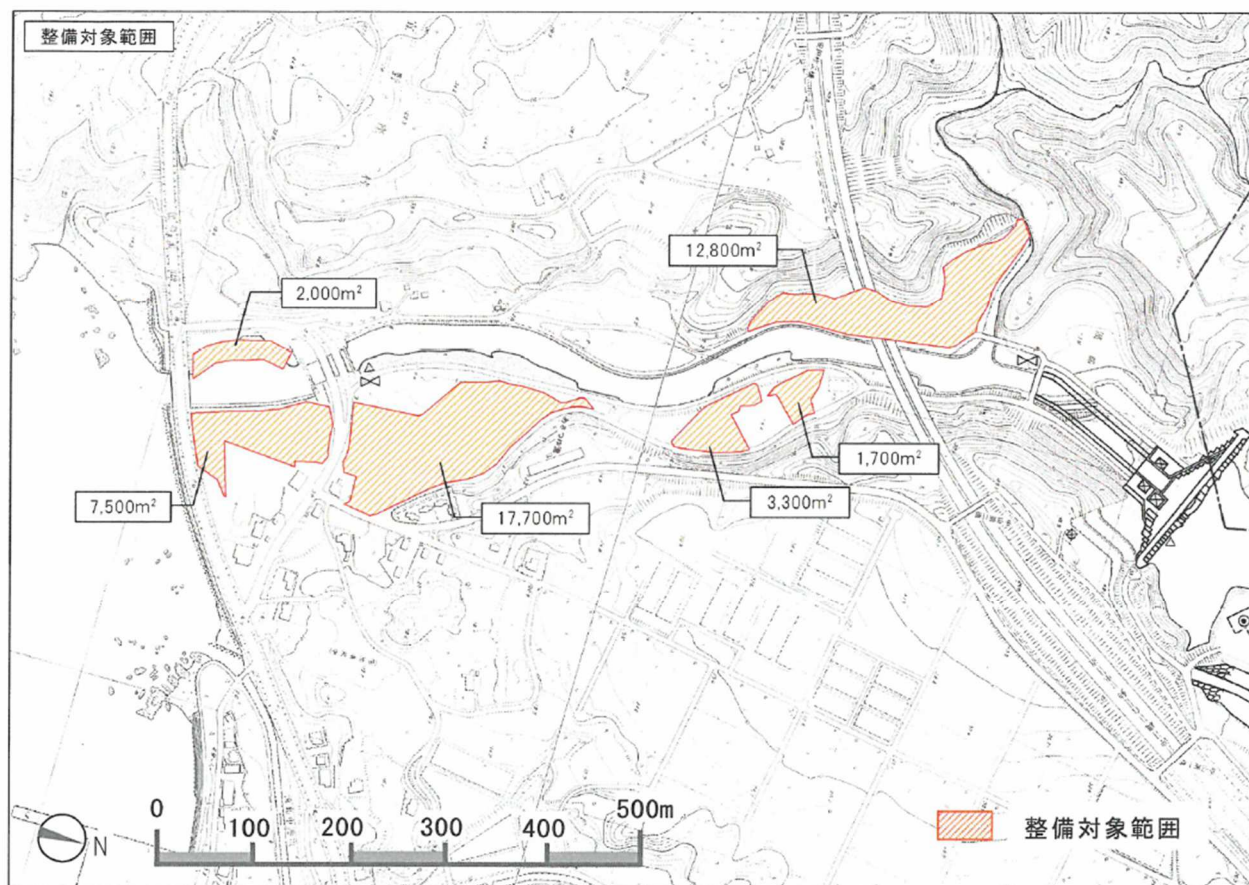
#### ④ 福地川リバーパーク基本計画

##### 【漢那福地川周辺整備の基本方針】

宜野座村の『自然』を活かした、見て、触れて、体験できる公園整備

- ◆ 漢那福地川の水と緑を活用した公園
- ◆ 「未来ぎのぞ」と連携し、地域活性化につながる公園
- ◆ 熱帯果樹や沖縄特有の花による、沖縄ならではの体験ができる公園
- ◆ 地域住民が来村者をもてなす公園

##### ■ 整備対象範囲



## ■ゾーン区部図

### ①ゲートゾーン

- 漢那福地川の河口、国道 329 号、未来ぎのぞ周辺を、公園ゲートゾーンとする。
- 公園の玄関口として、国道 329 号からの来訪者をもてなすゾーンとする。

### ②多目的ゾーン

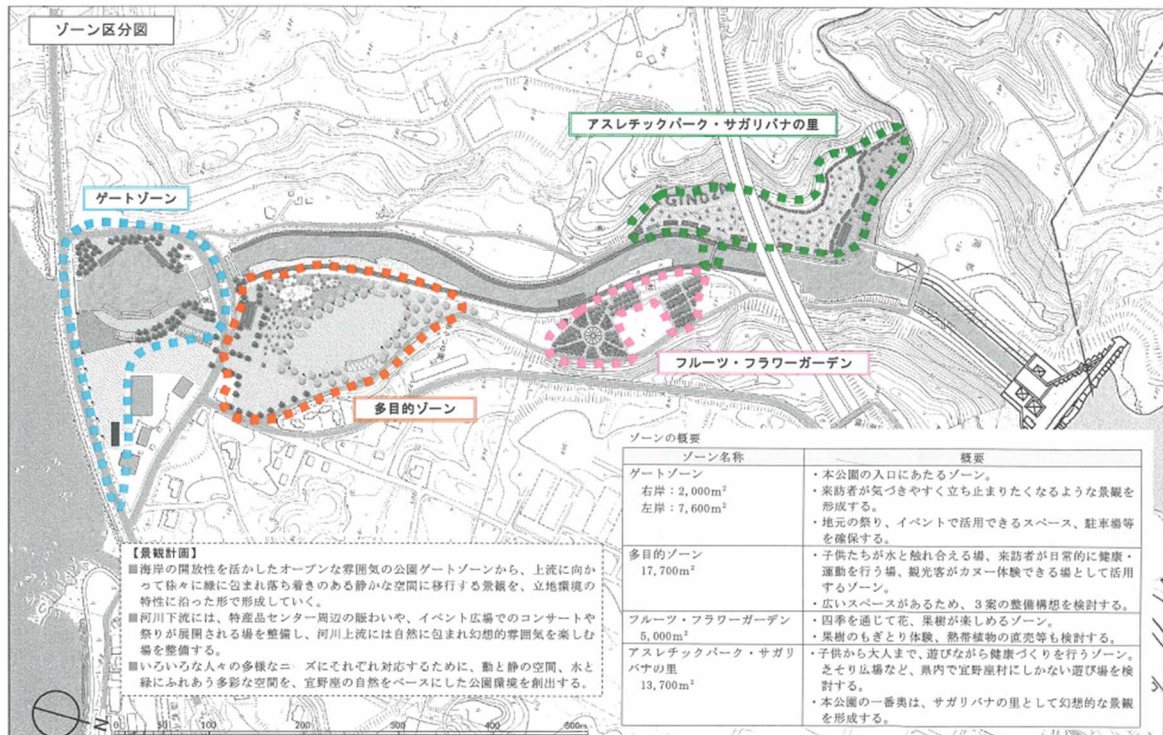
- 漢那福地川の河口左岸側の広い平坦なスペースを多目的ゾーンとする。
- 多目的ゾーンは、対象範囲の中で最も広く、平坦であるため様々な利活用方法が考えられるため、3案の基本計画を検討する。

### ③フルーツ・フラワーガーデン

- フルーツ・フラワーガーデンは、沖縄の草花や花木の鮮やかな色彩を楽しむ花の庭園を整備する。鑑賞のみならず、栽培体験学習、香りのセラピー講座、マングローブ林を案内する等の活動拠点として、フラワー館（グリーンハウス（温室））を設置する。展示・販売コーナーを備え、また地域住民が管理する等、日常的な利用、コミュニティ活動の育成にも活用できる場として整備する。

### ④アスレチックパーク・サガリバナの里

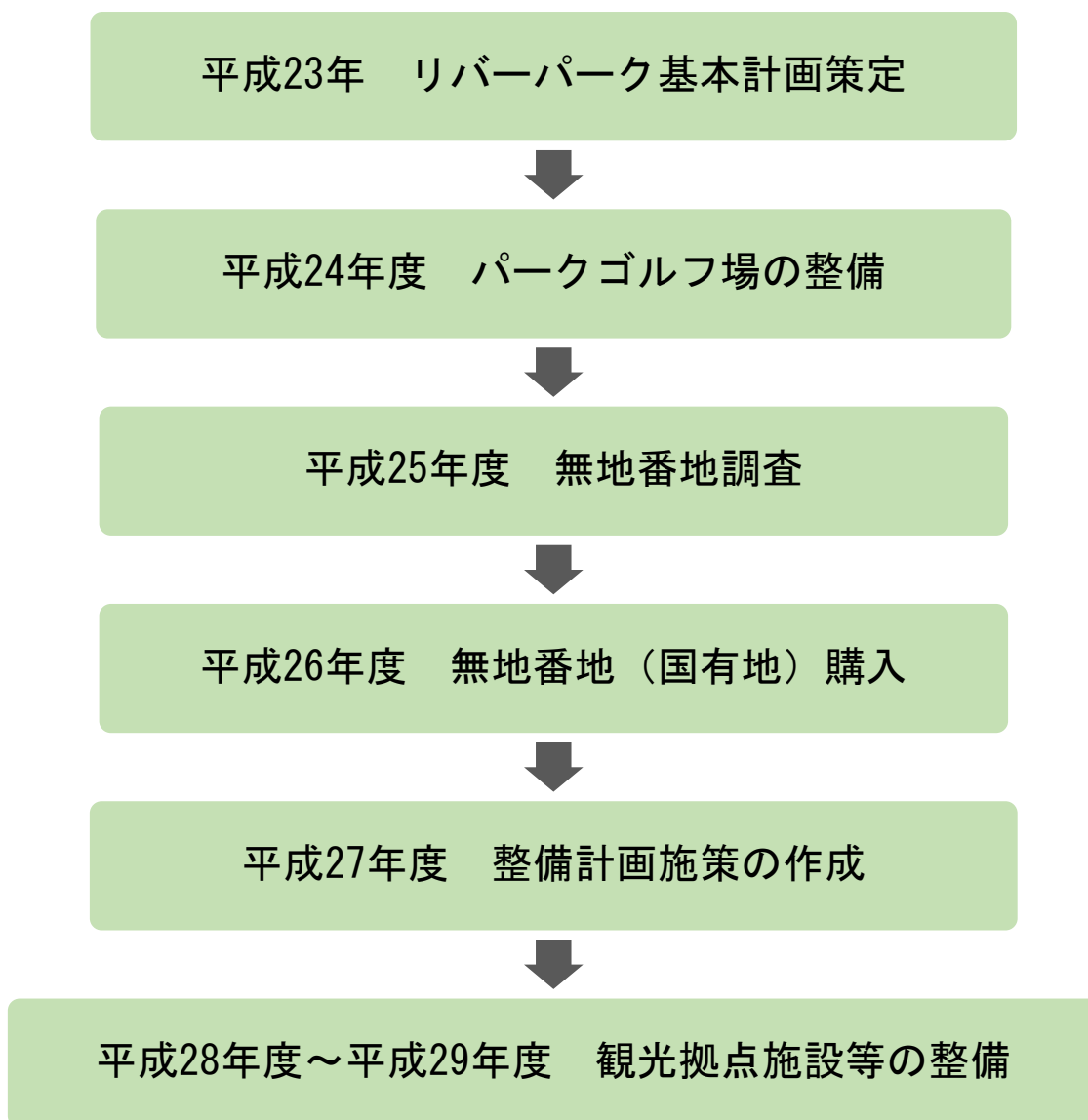
- 本公演の一番奥に位置し、静かな空間、自然豊かな空間という特性を活かし、緑と親しむ、幻想的な景観に出会える空間を創出する。
- フラワー園地は福地川の両岸に整備され、水辺・植物を活かした公園の景観形成に大きな役割を果たすため、ランドマークとなる吊橋を設置し、公園内の歩行者動線を確保することとする。この吊橋は河口側から目立つ存在となるので、公園を広くアピールする役割を担う。





■これまでの事業経過

平成23年度にリバーパーク基本計画を策定し、平成24年度にパークゴルフ場を整備、平成29年度には、みちの駅「ぎのざ」のリニューアルオープンを進めてきました。



※平成24年度から平成29年度の総事業費は2,241百万円（うち交付金1,793百万円）となっています。

■現況写真





## ⑤ 沖縄21世紀ビジョン基本計画【改定計画】（沖縄振興計画 平成24年度～平成33年度）

### 【展開の基本方向】

沖縄振興事業等で蓄積された基盤、施設等を有効活用するとともに、新たな北部振興に関する事業等を推進し、雇用機会の創出、魅力ある生活環境の整備、情報通信関連産業の振興等を図ります。

貴重な動植物の宝庫であるやんばるの森、ジュゴン等が生息する海域、美しい海浜等の自然環境及び固有の文化の保全と経済開発、社会発展との調和を図り、地域の特性に応じた振興に取り組みます。また、国際的な学術研究・リゾート拠点としての基盤及び環境整備を図るとともに、地域特性を生かした農林水産業の振興を図ります。さらに、拠点都市である名護市の多様な都市機能の充実を図りつつ、地域間の円滑な連携を促進し、その拠点性を高めていきます。

過疎地域においては、沖縄県過疎地域自立促進方針に基づき策定された沖縄県過疎地域自立促進計画及び市町村計画に基づき、若者が定着する魅力に満ち、活力に富んだ個性豊かな地域社会の実現を目指して諸施策を推進します。また、辺地地域においては、その地理的特性等から交通条件、その他生活環境に著しい不利性を有することから、引き続き、公共的施設の総合的かつ計画的な整備を促進するなど、生活環境整備等の推進に取り組む市町村を支援します。

人口減少・高齢化が進む離島では、特色ある地域資源を活用した地場産業の振興等に取り組むとともに、医療、福祉、教育をはじめ生活環境基盤の整備を推進し、定住条件の整備を図ります。

## イ 圏域の特色を生かした産業の振興

### （ア）観光リゾート産業の振興

緑豊かな山々や美しい海岸線、そこで生息する貴重な動植物など、多様で個性豊かな自然環境、今帰仁城跡、芭蕉布など歴史的・文化的に優れた地域資源を生かした魅力ある観光地づくりを推進します。このため、環境保全活動と経済活動が共存するルールづくりなどに取り組むとともに、大宜味村における芭蕉布製作やグリーン・ツーリズム、東村、国頭村及び名護市のエコツーリズム、伊江島等の民泊など体験・参加型観光の取組による地域特性・地域産業と密接に連携した観光スタイルの充実を促進します。

また、奥ヤンバル鯉のぼり祭り、東村つつじ祭り、伊江島ゆり祭り、本部町、名護市及び今帰仁村の桜祭りなどの地域イベントの充実を促進し、北部観光の多彩な魅力を高めます。さらに、宜野座村から金武町、中部圏域のうるま市に至る環金武湾地域における金武湾の特性や自然、文化を生かした健康保養をテーマとした滞在型観光や海洋レジャーなどの取組を促進します。あわせて、自然、文化など多様な魅力を有する離島地域を観光資源として積極的に活用するため、離島の多様で特色ある魅力を発信し、各離島への誘客を図るとともに、離島を含む広域周遊ルートの形成や受入環境の整備に関係機関と連携して取り組みます。

地域における観光人材を確保するため、観光コーディネーター、観光プロデューサー、観光ガイドを育成し、地域の魅力開発と受入体制の充実を推進するほか、地域における文化を

担う人材を確保するため、伝統文化の後継者・技術者等の育成を図ります。

また、県内最大規模の集客を誇る観光・レクリエーション施設である本部町の国営沖縄記念公園海洋博覧会地区については、同地区の拠点機能の充実に向け、新たな観光ルートの形成など各地域や関係機関と連携した取組を促進するとともに、世界遺産の今帰仁城跡の保全や周辺地における観光関連施設等の整備、伊是名島の琉球王朝第二尚氏にゆかりのある史跡など圏域内の歴史・文化等を生かした他圏域との広域的な連携による多様な周遊ルート開発を促進します。

さらに、グセナ地区や恩納村海岸線に代表される西海岸地域やカヌチャ地域等のリゾート施設と万国津梁館及び沖縄科学技術大学院大学の連携によるMICE誘致・受入を図るとともにユニークベニユの開発支援等により、MICEを推進するほか、プロスポーツチーム等のキャンプ・トレーニング地としての知名度や、ツール・ド・おきなわ、伊平屋ムーンライトマラソン、いぜなトライアスロンなど各種スポーツイベントなどを活用し、スポーツアイランド沖縄の形成に向けて、スポーツ指導者などの人材育成も含めた環境整備の促進を図ります。

あわせて、沖縄を代表する観光リゾート地としての沿道景観整備やまちなみ景観創出など、地域にふさわしい個性豊かな風景づくりを進め、観光イメージや地域の魅力向上を図るほか、共同売店や都市農村交流拠点施設などを活用して地域の人々とのふれあいや地域の魅力を発掘・発信する取組を促進します。

観光関連施設については、国内外からの観光客の増大や観光の高付加価値化などに対応するため観光地形成促進地域制度を活用した民間施設の整備を促進するほか、省エネ設備など新たな環境技術等の導入促進に努めます。

⑥ 第6次沖縄県観光振興基本計画（令和4年7月）

1 目指す将来像／VI

SION

**「世界から選ばれる持続可能な観光地」**

－ 世界とつながり、時代を切り拓く「美ら島 沖縄」－

2 将来像に向けた「持続可能な観光地域づくりの追求」／MISSION

- (1) 平和で生き生きと暮らせる県民、観光事業者、観光客の全てが幸せな三方よしの社会
- (2) 世界とつながり、時代を切り拓く「強くしなやかな自立型経済の構築」
- (3) 人々を惹きつけ、ソフトパワーを具現化する「持続可能な海洋島しょ圏」の形成

3 将来像達成のイメージ／GOALS

「世界から選ばれる」とは、世界の人々に認知され、国内有数の広大な海域から構成される海洋島しょ圏として、温暖な亜熱帯海洋性気候のもと、世界自然遺産に登録された「沖縄島北部及び西表島」などの豊かな自然環境や、首里城を始めとする「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の世界文化遺産、琉球料理、泡盛、空手、組踊など独自の歴史文化を生かして、沖縄でしか味わうことのできないリアルな体験が国内外の旅行者から選ばれる状態を指す。

「持続可能な」とは、多くの固有種や希少種が生息・生育する生物多様性に富んだ豊かな自然環境や地域住民の生活環境への影響を可能な限り軽減しながら、観光業に従事する人々が質の高い安定した暮らしを継続するとともに、地域社会の発展に資する自然・歴史・文化を次世代に引き継ぐ担い手が育成される環境が整った状態を指す。

アフターコロナにおいては、これまでの観光スタイルがそのまま通用するのではなく、防疫体制と受入体制の構築によって「安全・安心」のシステムが見える化されるとともに、DXの推進によって多様なニーズに対応するシームレスで利便性の高い交通体系の整備やキャッシュレス決済の普及など、観光客にとって「快適」な地域であることが、世界から選ばれる観光地になるものと考えられる。

また、その土地ならではの自然・歴史・文化を保全、活用した体験型観光を促進しつつ、社会・経済・環境の三側面においてバランスが取れていることで、持続可能な観光地として発展することができる。そのためには、安全・安心につながる防疫体制と受入体制の見える化の発信、沖縄の強みである豊かな自然環境や独自の歴史、文化等のソフトパワーを最大限に発揮する観光コンテンツを造成することで「安全・安心で快適な島沖縄」を実現する。

これらの取組により、観光客だけではなく、観光事業者や県民を含めた“人”を中心に据え、観光資源を守り続ける「世界から選ばれる持続可能な観光地」として認知された状態を目指すものである。

⑦ 沖縄県東海岸サンライズベルト構想

**【基本的な考え方】 県土の均衡ある持続可能な発展**  
～東海岸地域の魅力・強みを生かし、西海岸地域と有機的につながる～

**【目指す姿】 新時代に対応し、新たな価値を創造する**  
「住む、働く、遊ぶ」を満たす快適空間(エリア)の先導地域

「新時代」とは、SDGs、IT 技術の進化、ポストコロナ時代の新たな生活スタイルなど、社会経済情勢の変化に的確に対応することを意味する。

「新たな価値の創造」とは、東海岸地域の強みや歴史・文化、自然環境、スポーツなどソフトパワーを生かし、イノベーター等とともに、新たな技術の開発、実証することで新たな価値を生み出し、観光、IT、ものづくり、物流をはじめ様々な産業の活性化や高付加価値化が図られ、県民所得の向上、貧困解消といった課題解決につながることを意味する。

「『住む、働く、遊ぶ』を満たす快適空間」とは、新型コロナウイルス感染症の拡大等により、働く場所を選ばないテレワークやワーケーションが注目されており、地域住民や観光客をはじめ、住む、働く、遊ぶの快適な空間が形成され、多様な関係人口や地域の活動人口注が増加し、国内外の人材（ビジネス・スポーツ・こどもたち等）など活発に活動する魅力的な地域であることを意味する。

「先導地域」とは、SDGs を踏まえた持続可能な質の高い観光や新技術の導入によるスマートシティの形成など、夢のある先導地域として、東海岸地域のみならず、西海岸地域や離島などの県全体に波及し、さらに、日本経済への貢献や海外を含めた社会課題解決に資することを意味する。

### 東海岸サンライズベルトの全体コンセプト

#### 「インスピレーションの誘発、クリエイションの活性化、イノベーションの創出」

- ・世界遺産となっているスピリチュアルな歴史文化資源と沖縄特有のゆったりした自然環境により、ひらめきや新たな刺激を誘発するインスピレーションな地域
- ・世界との架け橋となるMICE等の交流や物流、スポーツ、ものづくりにより、人やモノの活動が活性化するクリエイションな地域
- ・ResorTech Okinawaの推進やスマートシティの形成などにより、新たな価値を創出するイノベーションな地域

## 6 構想実現のための北部圏域における展開

(良好な居住環境とともに歴史・自然資源と産業・観光振興が調和する土地利用の展開)

沖縄自動車道の整備等によりアクセス性が向上し、中南部地域において就業している人も多く、中南部地域との連携・役割分担を図りながら、良好な居住環境を充実させていくことが重要である。

西海岸地域にはない田園風景や、手軽に自然と触れ合える環境を有しており、環金武湾地域におけるネイチャー未来館などの拠点を生かし、農業体験、民泊の観光誘客のみならず、県内外のこどもの学びの場として、東海岸地域ならではの魅力ある子育てしやすい住み良いまちづくりを推進する。

(東海岸地域の魅力を生かした観光の展開)

多種多様な固有動植物及び希少動植物が生息・生育するやんばる国立公園の自然世界遺産登録を見据え、自然の保全と調和した持続可能な付加価値の高い観光が求められている。

世界自然遺産の登録を見据え、ガイドのルールづくりや観光客の受入環境体制の構築が重要であり、東村をはじめ世界自然遺産の東側の玄関口の機能の構築が期待される。

また、近年、ニーズが高まっているグランピングの推進や、いちご狩りなどの農業と観光を生かした6次産業化の展開を推進するとともに、ITを活用したデジタル化により、国内外の人とつながり、リピーターやEコマース等を含めた持続的な観光展開が期待されている。

北部圏域の東海岸地域においては、自然・文化・農業・漁業体験を軸として、グリーン・ブルーツーリズムや民泊を推進するとともに、新たな生活様式に対応したワーケーション等を推進する。

通過型観光から滞在型観光への質の転換が重要である。このため、ガイドによる森林ツーリズムや、星空ツーリズムなどの観光展開を図るとともに、村民の森つつじエコパーク、道の駅ぎのざやネイチャー未来館などの各地域拠点を活用するとともに、現在、整備中である国頭村の東部周遊拠点、東村の慶佐次通信所跡地と五味観光跡地の利用計画、名護市のわんさか大浦パークの機能強化等、やんばるの森などを生かした観光拠点の形成を図り、滞在型観光を推進することが重要である。

(スポーツコンベンション地域の形成)

北部圏域の東海岸地域では、金武町や宜野座村においてプロスポーツのキャンプが行われている。国頭、東村、名護市においては、ツールドおきなわ等のサイクリングや自然を生かしたカヌーなどのスポーツツーリズムが行われている。

東海岸北部地域の自然環境やスポーツ施設を生かし、スポーツツーリズムを推進するとともに、環金武湾地域のギンバル訓練場跡地においては、「健康と癒し」をテーマに、スポーツ施設に加え、地域医療施設及びリハビリ関係施設が集積しており、国内外のスポーツキャンプやスポーツ選手のリハビリの受入が可能なスポーツ・リハビリ拠点の形成が重要である。



### 3. 実態調査、現状分析及び事例調査

#### 3-1. 統計データ

##### ① 村内のホテル・旅館数

宜野座村内の「ホテル・旅館」数は、2軒となっている。収容人数は全体で139人である。

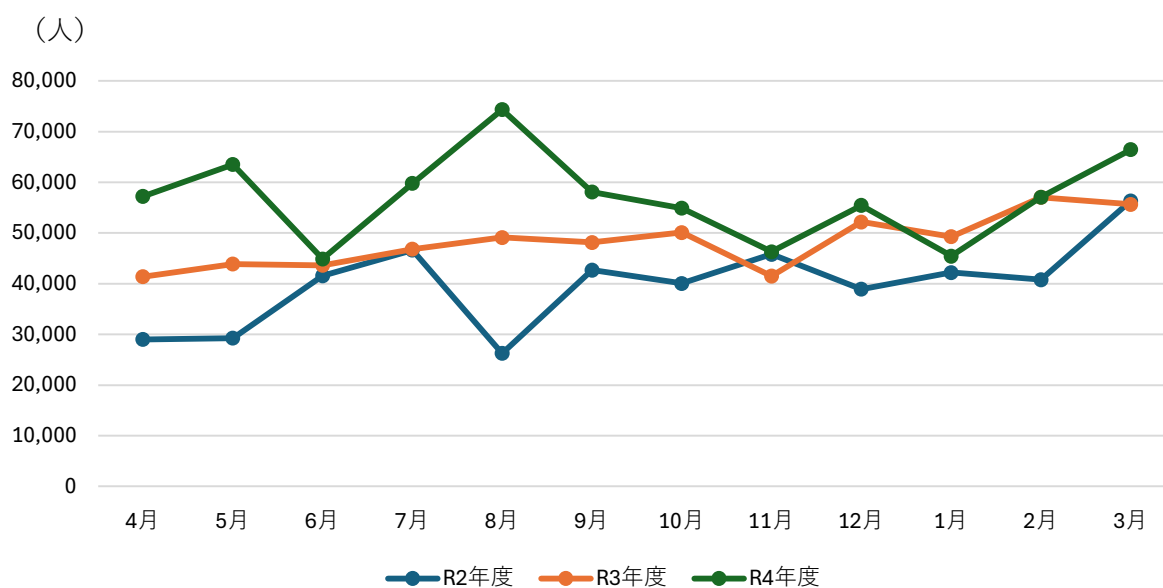
軒数	客室数			収容人数
	和	洋	計	
2	0	49	49	139

出典：令和2年度観光要覧統計データ集（沖縄県）

##### ② 来場者数及びレジ通貨数

道の駅「ぎのぞ」への来場者数は、令和2年度では、月間約3万人から5万5千人で推移しており、年間では約48万人が来場している。令和3年度では、月間4万人以上で推移し、来場者数が増加傾向にあり、年間では約58万人が来場している。令和4年度では、春から夏にかけての来場者数が増加しており、年間では約68万人が来場している。

#### ■来場者数の推移



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
R2年度	29,026	29,265	41,554	46,644	26,281	42,703	40,074	45,835	38,947	42,203	40,808	56,360	479,700
R3年度	41,370	43,901	43,647	46,847	49,139	48,162	50,108	41,497	52,201	49,283	57,040	55,690	578,885
R4年度	57,236	63,526	44,908	59,805	74,378	58,099	54,915	46,303	55,475	45,457	57,094	66,490	683,686

出典：未来ぎのぞ第25期 事業報告

### ③ 周辺施設

村内の主な施設は以下の通りである。



#### 【潟原海岸】

- ・干潮時には約2kmにわたって干潟が現れ、サンゴ礁と海岸線のコントラストがとても美しいことでも知られています。また、ミナミコメツキガニやシオマネキ、それを食べにくる野鳥など、生物にとっても非常に重要な役割を持つ干潟で、命の育みを観察できるのも魅力。
- ・乃木坂46の「裸足でSummer」や藤井風「青春病」等のロケ地にもなった。



藤井風「青春病」



乃木坂46の「裸足でSummer」

#### 【松田鍾乳洞】

- ・100年以上前の鍾乳洞。
- ・「松田鍾乳洞たんけん」は所要時間2時間程度の本格的な鍾乳洞体験が可能。



#### 【かりゆし カンナ タラソ ラグーナ】

- ・温かい海水を用いた、14種のジャグジー、気泡、水圧が心地よい施設。
- ・プール、サウナも完備。

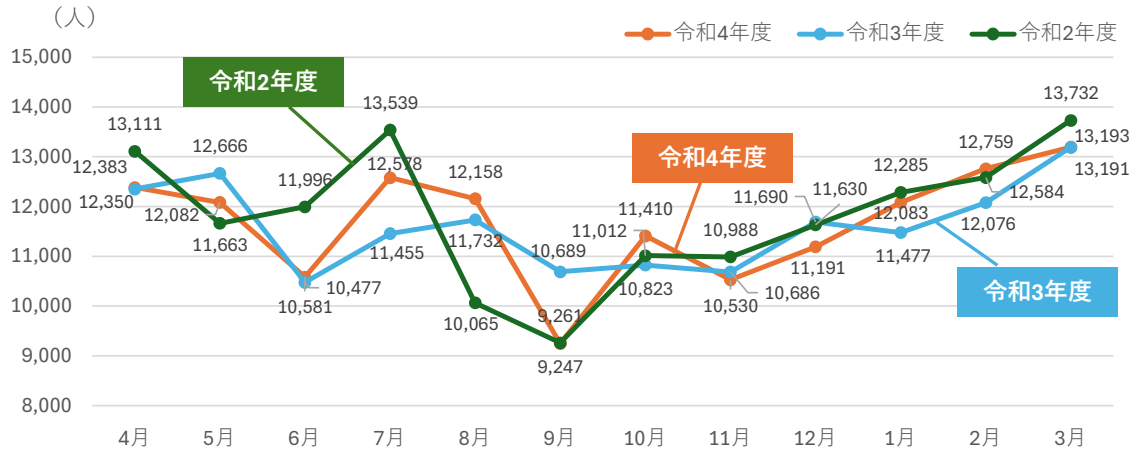


### 3-2. 施設の利用状況、運営状況調査

#### ① 未来ぎのぞのレジ通過数

令和2～4年度のレジ通過数は14万人程度で横ばいに推移している。平均すると毎月の入り込み客数は約11,000人となっている。年度によって月間の入り込み客数にばらつきがあるものの、毎年3月～4月の客数が多くなっている。

#### ■未来ぎのぞのレジ通過数



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	12,383	12,082	10,581	12,578	12,158	9,247	11,410	10,530	11,191	12,083	12,759	13,193	140,195
令和3年度	12,350	12,666	10,477	11,455	11,732	10,689	10,823	10,686	11,690	11,477	12,076	13,191	139,312
令和2年度	13,111	11,663	11,996	13,539	10,065	9,261	11,012	10,988	11,630	12,285	12,584	13,732	141,866

出典：未来ぎのぞ第25期 事業報告

#### ② 令和4年度の売上高

未来ぎのぞの売上高は、令和4年度では179,436千円であった。そのうち、野菜・果実などの農産物が約4割を占めている。

#### ■令和4年度売上高構成比



出典：未来ぎのぞ第25期 事業報告

③ 年度別月間売上高の推移

年度別月間売上高の推移を見ると、令和2～4年度にかけてほぼ同様の動きで推移しており、7月がピークとなっている。直近では、1億9千3百万円～1億9千7百万円程度で推移している。

■未来ぎのぞの売上高



	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
令和4年度	15,901,638	14,981,538	14,266,373	22,755,807	20,225,806	11,674,856	14,365,340	13,918,718	16,800,733	15,619,145	16,684,441	16,841,733	194,036,128
令和3年度	15,731,414	15,374,772	14,230,913	21,013,245	19,272,771	14,344,017	13,779,427	14,205,663	17,743,142	15,130,863	15,575,185	17,043,893	193,445,305
令和2年度	15,157,719	13,752,354	16,005,602	25,603,612	19,041,136	11,883,974	14,074,619	14,301,406	17,356,824	15,556,723	16,690,458	18,113,594	197,538,021

出典：未来ぎのぞ第25期 事業報告

### 3-3. 類似施設調査

#### ① やんばんるパイナップルの丘 安波

施設名	やんばんるパイナップルの丘 安波
所在地	沖縄県国頭郡国頭村安波
営業時間	10時～17時
コンセプト	<p>みちの駅で出会える「み」と「ち」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 観る《ヒト・コト・場所をつながることで未来を切り拓く》</li> <li>・ 未来《独自の生態系と共存できる新たな観光体験》</li> <li>・ 実り《食を楽しみ、育まれた実りに感謝する》</li> <li>・ 知る《人が行き交い、新たな知が生まれる場所へ》</li> <li>・ 土地《琉球王国の神聖な地域からパワーをもらう》</li> </ul>
施設・機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本体棟：食事やおみやげ</li> <li>・ 交流棟：コワーキングスペースや木工房</li> <li>・ 観察棟：リラックススペース</li> <li>・ 芝生広場：2期オープン（グランテントゾーン）に向けて整備中</li> </ul>
施設概要	<p>開設年月：令和4年3月</p> <p>事業費：約740,000千円</p>
施設写真	<p>■施設の外観</p>   <p>■コワーキングスペース</p>  <p>■丘の上のブランコ</p> 
参考資料	やんばんるパイナップルの丘安波 HP ( <a href="https://pineapple-hills.jp/">https://pineapple-hills.jp/</a> )

② わんさか大浦パーク

施設名	わんさか大浦パーク
所在地	沖縄県名護市字大浦
営業時間	南乃畑：平日 10 時～14 時、土日祝 10 時～14 時半 Su-Me-Coffee：月・木・金 11 時～17 時、土・日・祝 11 時～18 時半
コンセプト	名護市二見以北地域交流拠点施設 ・わんさか大浦パークは沖縄県名護市、東海岸地域、10 の集落が資金を出しあい、地域のゆたかな暮らしと活気づくりのために運営している海辺の直売所 ・地域に暮らす人々の小さな声（困りごとやニーズ）に耳を傾け、そこに地域の魅力（宝）をかけ算し、人の流れと経済循環を生み出していく
施設・機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・【買】 特産品販売、農産物加工品、わんさか海辺の BBQ プラン等</li> <li>・【食】 わんさかパーラー、Su-Me-Coffee、島野菜の沖縄ダイニング南乃畑</li> <li>・【楽】 カヤック体験プログラム、わんさかマングローブロード、大浦湾グラスボード</li> </ul>
施設概要	<p>事業年度：平成 19 年度～平成 20 年度（繰越：平成 21 年度）</p> <p>事業費：359,666 千円</p> <p>敷地面積：8,060.06 m<sup>2</sup></p> <p>駐車台数：普通乗用車 46 台 大型バス 3 台 優先駐車場 2 台</p>
施設写真	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>■施設の外観</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>■カヤック体験</p>  </div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <div style="text-align: center;"> <p>■マングローブロード</p>  </div> <div style="text-align: center;">  </div> </div>
参考資料	わんさか大浦パーク HP ( <a href="https://wansaka-o.jp/">https://wansaka-o.jp/</a> )

③ 福地川海浜公園

施設名	福地川海浜公園
所在地	沖縄県国頭郡東村川田
営業時間	夏季【4月～9月】：9時～18時（海水浴：9時～17時） 冬季【10月～3月】：9時～17時
コンセプト	キャンプができる海辺のアウトドアフィールド <ul style="list-style-type: none"> <li>・海辺のキャンプ場として利用</li> <li>・ビーチにはハブクラゲ防止ネットが整備されているので、安心して海水浴を楽しめる</li> <li>・バナナボートやカヌーツアー、SUP ツアーなどのマリンアクティビティも楽しめる</li> </ul>
施設・機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・リバーサイドエリア：芝広場、カヌー乗り場、キャンプサイト</li> <li>・シーサイドエリア：ビーチ、管理棟、キャンプサイト</li> </ul>
施設概要	開設年度：平成27年 駐車台数：22台（有料/大型車500円/乗用車200円/二輪車100円）
施設写真	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>■公園全景</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>■シーサイドエリア</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>■リバーサイドエリア</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>■カヌー発着場</p>  </div> </div>
参考資料	福地川海浜公園 HP ( <a href="https://fukujipark.com/">https://fukujipark.com/</a> )

④ 道の駅川場田園プラザ（県外事例）

施設名	道の駅川場田園プラザ
所在地	群馬県利根郡川場村大字萩室
営業時間	店舗により異なる
コンセプト	<p>1日まるごと楽しめる 遊べる食べられる道の駅</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・武尊山の麓に広がる自然豊かな環境で一日中遊べて美味しいモノいっぱい のタウンサイト</li> <li>・地元の新鮮野菜・果物が買えるファーマーズマーケットや、地元食材を使用したレストラン、パン工房、ビール工房、カフェや日帰り温泉などがあり、お年寄りからお子様まで楽しめる</li> </ul>
施設・機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食べる：ベーカリー、レストラン、カフェなど</li> <li>・買い物：ファーマーズマーケット、ギフトショップ、物産センターなど</li> <li>・体験：ろくろ体験陶芸教室、ブルーベリー公園</li> <li>・遊ぶ：プレイゾーン</li> <li>・工場：チーズ、ヨーグルト、ビールなど</li> </ul>
施設概要	<p>開設年度：平成8年（道の駅登録）</p> <p>駐車台数：大型：5台 普通車：850台 身障者用：25台</p>
施設写真	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap;"> <div style="width: 50%;"> <p>■道の駅全景</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>■施設の外観</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>■プレイゾーン</p>  </div> <div style="width: 50%;"> <p>■ブルーベリー収穫体験</p>  </div> </div>
参考資料	川場田園プラザ HP ( <a href="https://www.denenplaza.co.jp/">https://www.denenplaza.co.jp/</a> )



⑤ 道の駅遠軽 森のオホーツク（県外事例）

施設名	道の駅遠軽 森のオホーツク
所在地	北海道紋別郡遠軽町野上
営業時間	9時～18時（ショップ） ※施設によって異なる
コンセプト	ゲレンデと遠軽とオホーツクの魅力を発信する道の駅 <ul style="list-style-type: none"> <li>・オホーツクの玄関口として地域の魅力を発信</li> <li>・一年中楽しめる道の駅</li> </ul>
施設・機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティビティ：ジップライン、サマーゲレンデ、ツリートレッキング、ドッグラン</li> <li>・体験プログラム：クラフト</li> <li>・フード：ENGARU TERRACE、サリーカフェ</li> <li>・ショップ：select・forêt（特産品販売）</li> <li>・えんがるロックバレースキー場</li> </ul>
施設概要	<p>開設年月：令和元年12月          事業費：約115,000千円          敷地面積：約21,000㎡          駐車台数：大型車9台、小型車178台、身障者・妊婦用4台、二輪車用10台、電気自動車急速充電器1台、臨時駐車場84台</p>
施設写真	<p>■ツリートレッキング</p>   <p>■カフェ</p>  <p>■サマーゲレンデ</p> 
参考資料	道の駅遠軽 森のオホーツク HP ( <a href="https://engaru-mori-no-okhotsk.jp/">https://engaru-mori-no-okhotsk.jp/</a> ) 遠軽町 HP ( <a href="https://engaru.jp/common/img/content/content_20200130_164259.pdf">https://engaru.jp/common/img/content/content_20200130_164259.pdf</a> )

⑥道の駅四万十とおわ（県外事例）

施設名	道の駅四万十とおわ（四万十川ジップライン）
所在地	知県高岡郡四万十町
営業時間	8：30～17：00（ショップ） ※施設によって異なる
コンセプト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジップラインのコンセプト</li> </ul> <p>清流 四万十川を飛ばう！美しい風景が今でも残る四万十川。その上空 20m、長さ 220m を滑空する「四万十川ジップライン」。四万十川の雄大な風景の中、ここでしか味わえないスリルと爽快感を体験しよう！</p>
施設・機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アクティビティ：ジップライン（9：00～17：00） 大人（18歳以上）2,130円、子ども（高校生を含む18歳未満）1,470円</li> <li>・フード：shimanto おちやくり café、とおわ食堂、とおわのアイス屋さん</li> <li>・ショップ：とおわ市場</li> </ul>
施設概要	<p>開設年月：平成19年      ジップライン開設：令和4年6月</p> <p>事業費：約236,061千円      ジップラインの事業費：約68,000千円</p> <p>延床面積：898㎡</p> <p>駐車台数：大型車3台、普通車70台、身障者用2台</p>
施設写真	<p>■ジップライン</p>  
参考資料	道の駅四万十町とおわ HP ( <a href="https://toowashimanto.jp/">https://toowashimanto.jp/</a> )

## 4. 来訪ニーズ・需要分析及び広域的人流分析

### 4-1. 交通量調査

#### 4-1-1. 調査概要

##### ① 調査の目的

前面道路及び付近交差点の方向別交通量を調査し、道の駅の利用ニーズ及びパークゴルフ方面の交通ニーズを把握することで、動線・交通計画及び駐車場計画に反映する。

##### ② 調査日時

- ・8～9月頃の平日・休日の7時～19時（12時間）
  - ・方向別車種別交通量（車種：小型（乗用・貨物・レンタカー）、大型（バス・貨物）、二輪車）
- 本調査の調査日時を以下に示す。なお、雨天や悪天候に備えて、予備日进行ける。

区分	調査日（案）	時間帯	調査時間
調査日	【休日】 令和4年8月21日（日）	7時00分から	12時間
	【平日】 令和4年8月24日（水）	19時00分	

##### ③ 調査箇所

本業務の調査箇所を以下に示す。

地点番号	地点名称	形状
①	第3駐車場入口	3差路
②	正面入口	入口専用
③	正面出口	出口専用
④	第2駐車場入口	3差路

#### ■調査箇所(全体図)



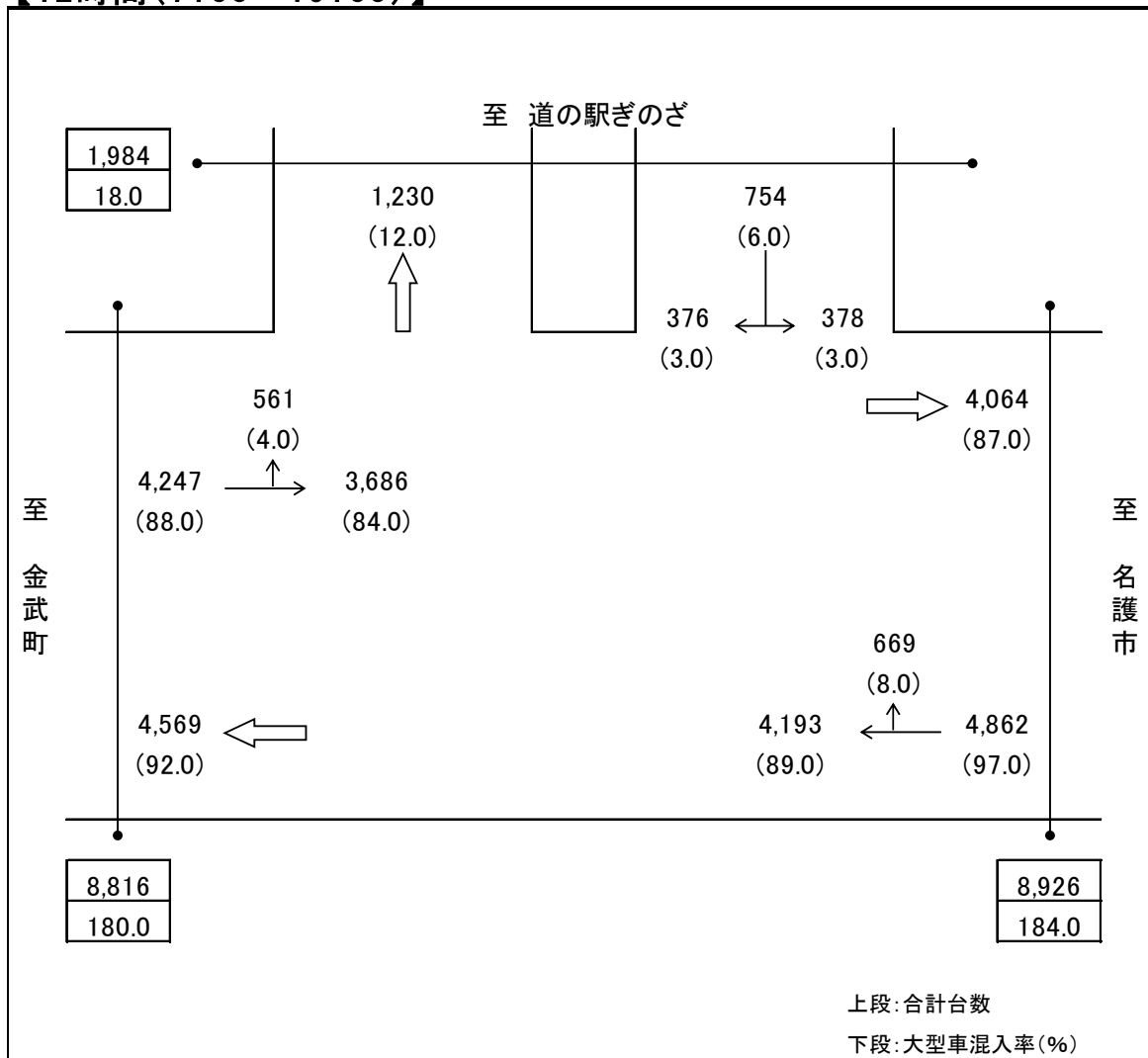
## 4-2-1. 調査結果

### ① 休日の交通量調査結果

休日の前面道路の交通量は、12時間（7：00～19：00）で片側約4,500～5,000台の交通量がみられる。正面入口の交通量をみると、休日の前面交通量に対する立寄率は、金武町方面・名護市方面ともに約13%となっている。前面道路から第2駐車場方面への立寄率は約4%、第3駐車場方面への立寄率は約2%となっている。

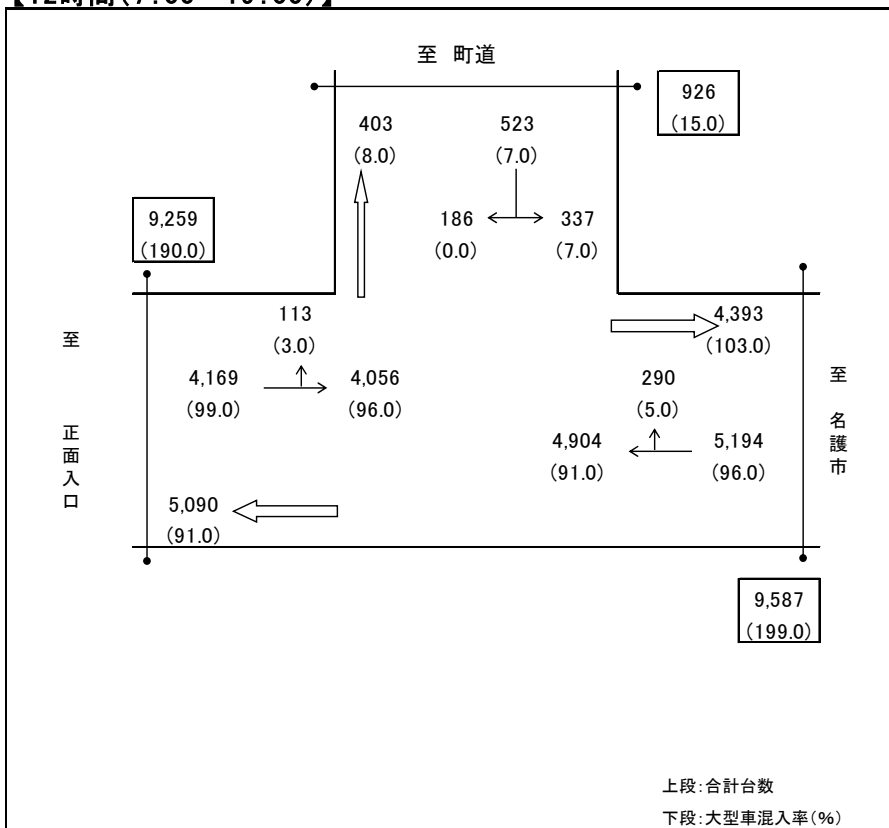
■休日：正面入口・正面出口

【12時間（7：00～19：00）】



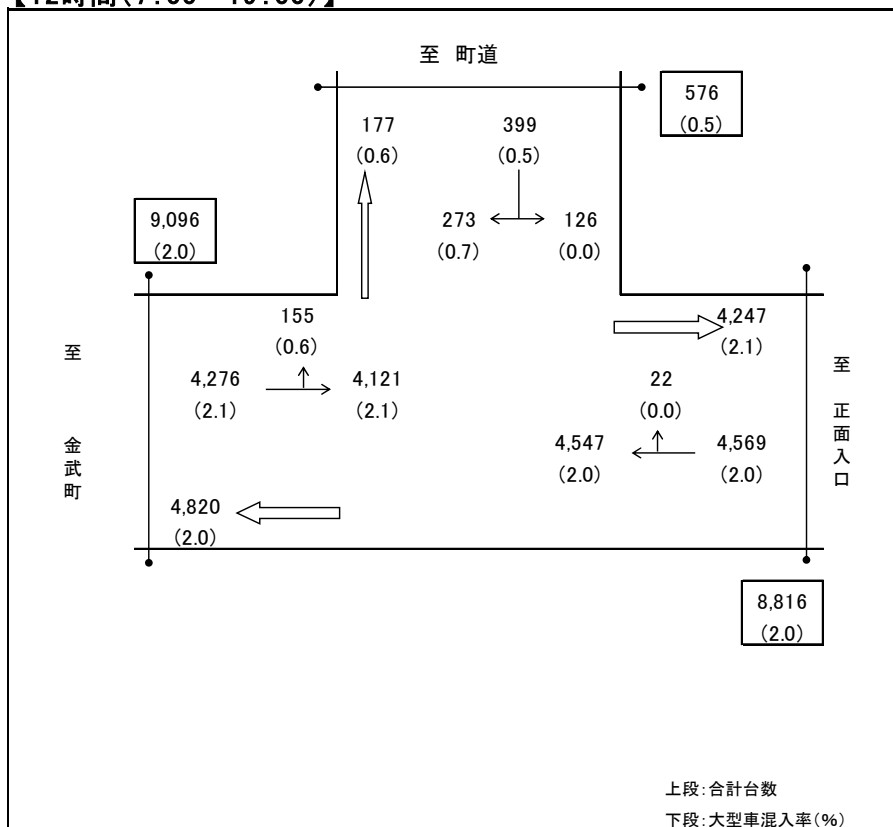
■休日：第2駐車場入口前

【12時間(7:00~19:00)】



■休日：第3駐車場入口前

【12時間(7:00~19:00)】

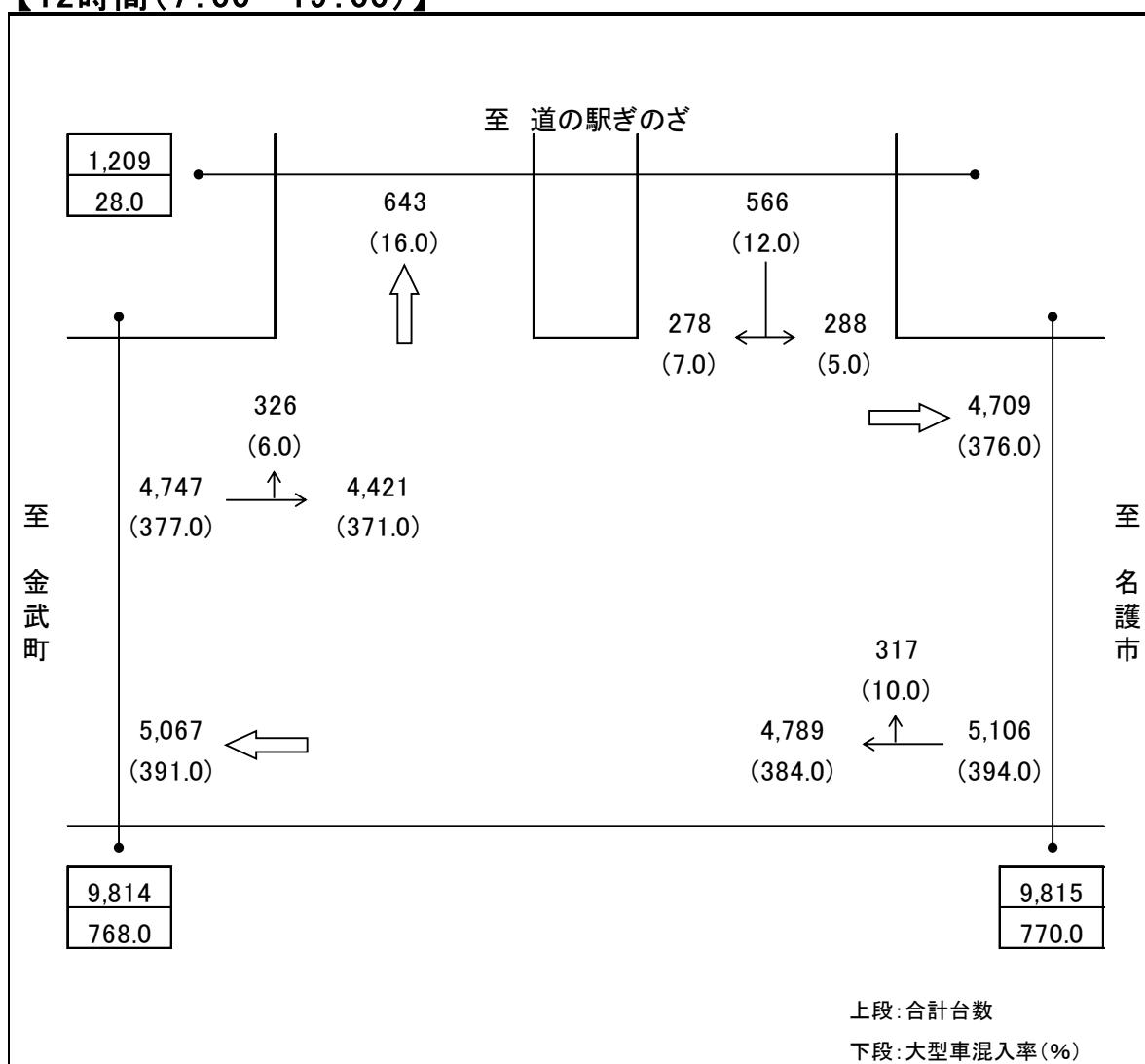


② 平日の交通量調査結果

平日の前面道路の交通量は、12時間（7：00～19：00）で片側約4,500～5,500台の交通量がみられ、休日より交通量は多くなっている。正面入口の交通量をみると、平日は休日以上の交通量はあるが、前面交通量に対する立寄率は、約6%に半減している。前面道路から第2駐車場方面への立寄率は約4%、第3駐車場方面への立寄率は約2%となっており、休日と同様の割合となっている。

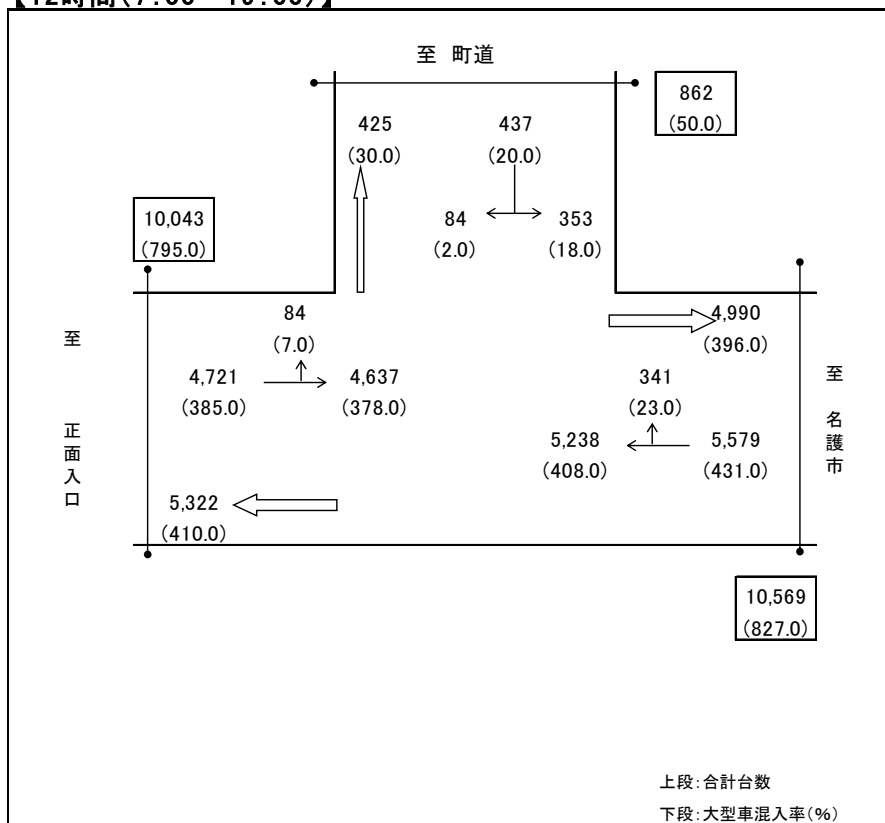
■平日：正面入口・正面出口

【12時間（7：00～19：00）】



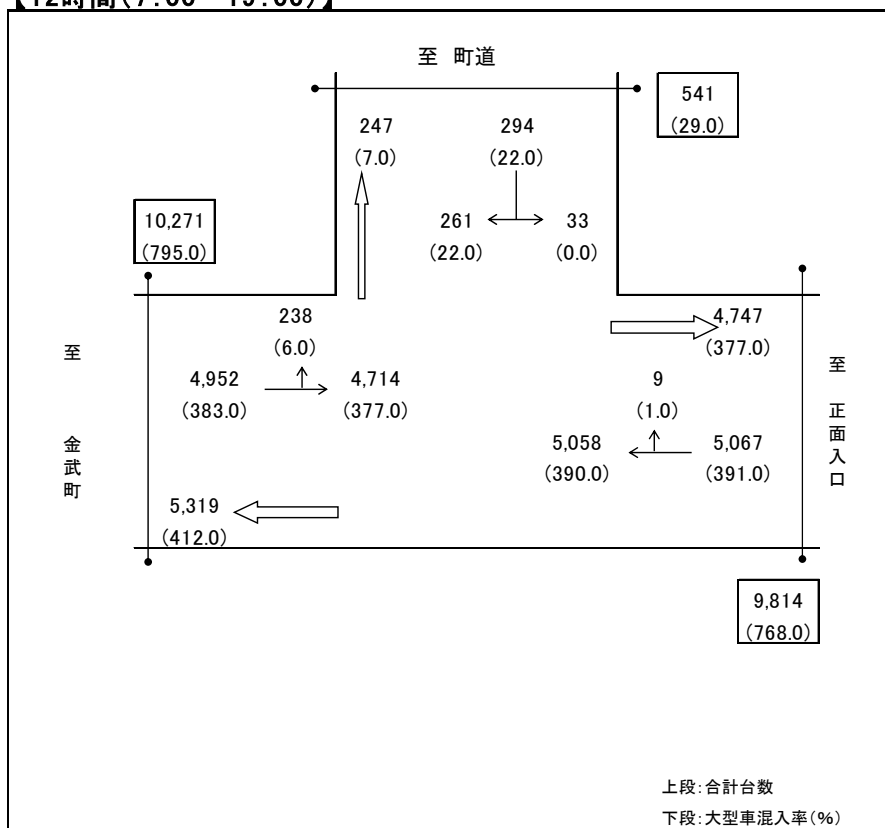
■平日：第2駐車場入口前

【12時間(7:00~19:00)】



■平日：第3駐車場入口前

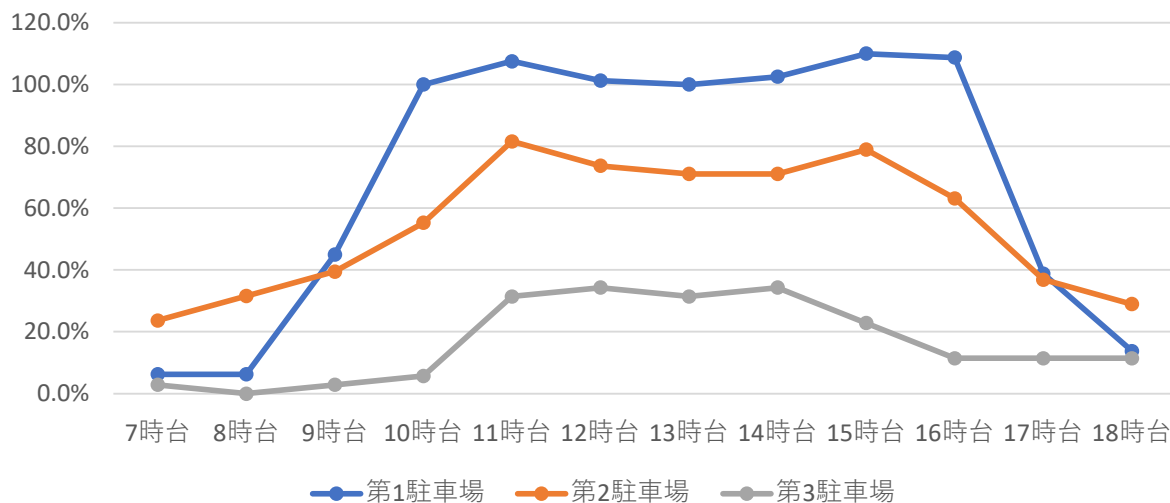
【12時間(7:00~19:00)】



### ③ 休日の駐車場利用率

休日は第1駐車場の利用率は10時台～17時台で100%を超え、区画外への駐車もみられた。第2駐車場の利用率も11時台～15時台は70～80%程度で推移している。一方で、第3駐車場の利用は少なくピーク時でも30%程度で推移している。

■ 駐車場利用率（休日）



■ 第1駐車場（ピーク時）



■ 第1駐車場（ピーク時）



■ 第2駐車場（ピーク時）



■ 第3駐車場（ピーク時）

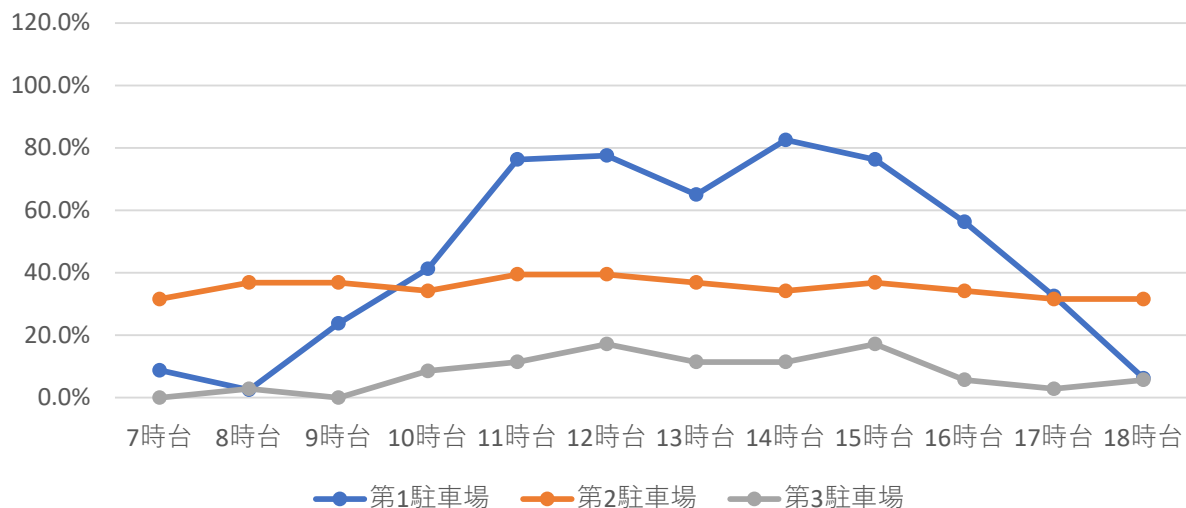




#### ④ 平日の駐車場利用率

平日の第1駐車場は、11時台～15時台においては80%程度で推移しており、14時台では80%を超えている。第2駐車場は30～40%程度で推移しており、第3駐車場は10～20%で推移している。

#### ■ 駐車場利用率（平日）



#### ■ 第1駐車場（ピーク時）



#### ■ 第1駐車場（ピーク時）



#### ■ 第2駐車場（ピーク時）



#### ■ 第3駐車場（ピーク時）



## 4-2. 来訪者アンケート調査

### 4-2-1. 調査概要

来訪者アンケート調査は、施設への留め置きアンケートのほか、多くの利用者が見込まれる8月において、直接ヒアリングによる調査を実施した。調査日は平日と休日の2日間とした。

調査日時を以下に示す。

夏季：令和4年8月24日（水）10:00～18:00、令和4年8月28日（日）10:00～18:00

冬季：令和4年12月15日（木）10:00～18:00、令和4年12月25日（日）10:00～18:00

### 4-2-2. 調査結果

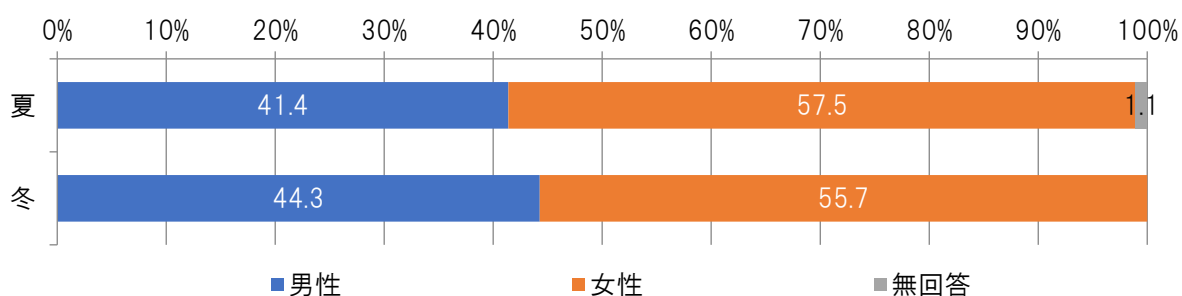
アンケートは平日278票、休日337票の計625票（夏季：372票、冬季：253票）を回収した。問い別の集計結果は以下の通りであった。

#### 問1 性別を教えてください

1 男性	2 女性
------	------

夏季：「女性」が57.5%、「男性」が41.4%であった。

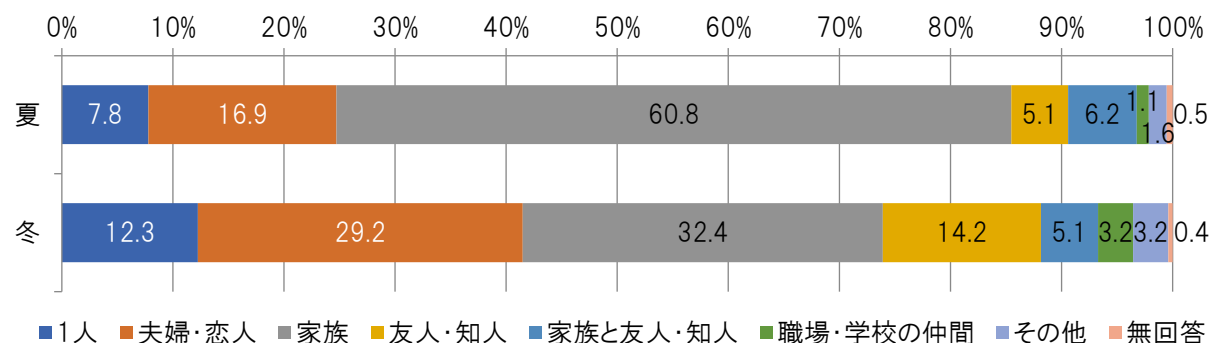
冬季：「女性」が55.7%、「男性」が44.3%であった



#### 問2 本日はどなたとお越しになりましたか？

1 1人	2 夫婦・恋人	3 家族	4 友人・知人
5 家族と友人・知人	6 職場・学校の仲間	7 その他（ ）	

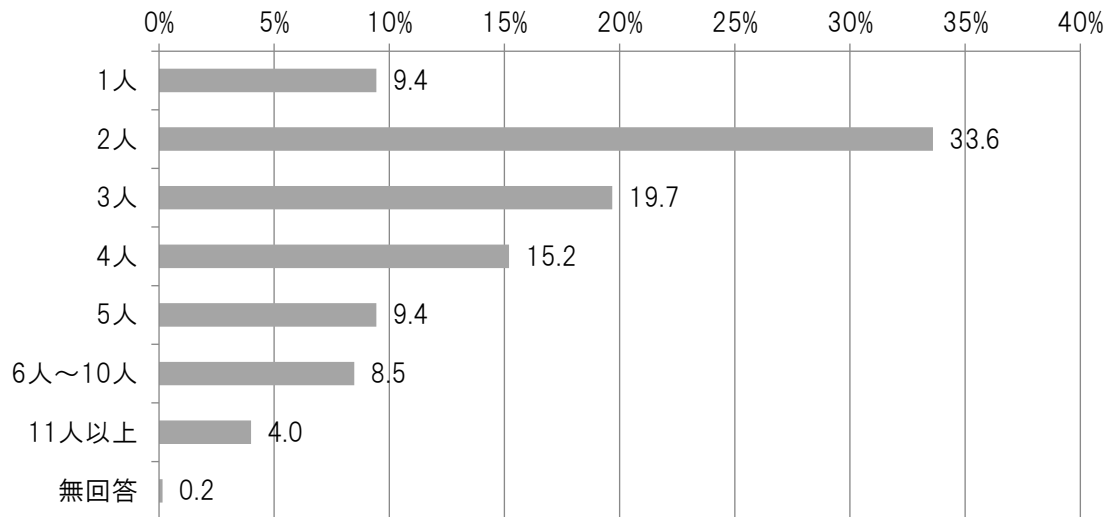
夏季は家族の割合が最も高く60.8%であった。冬季は、家族の割合が減少し、夫婦・恋人や友人・知人の割合が増加している。



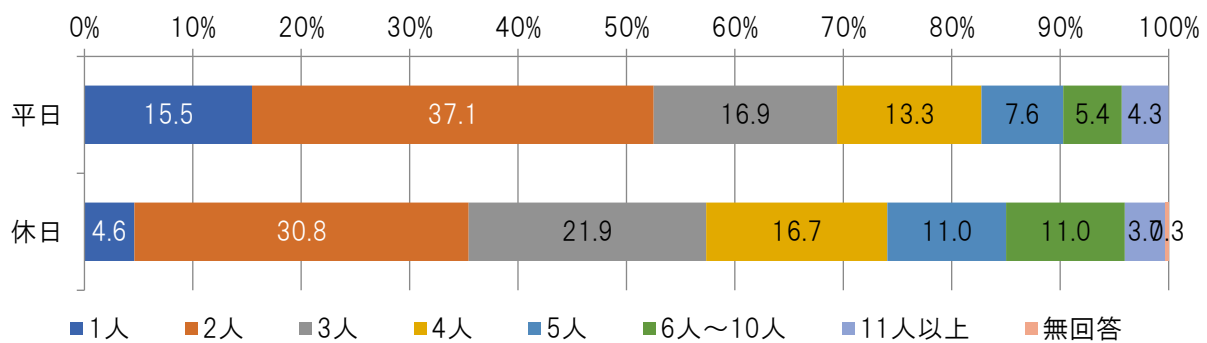
問3 本日は何名でお越しになりましたか？

1 1人	2 2人	3 3人	4 4人
5 5人	6 6人~10人	7 11人以上	

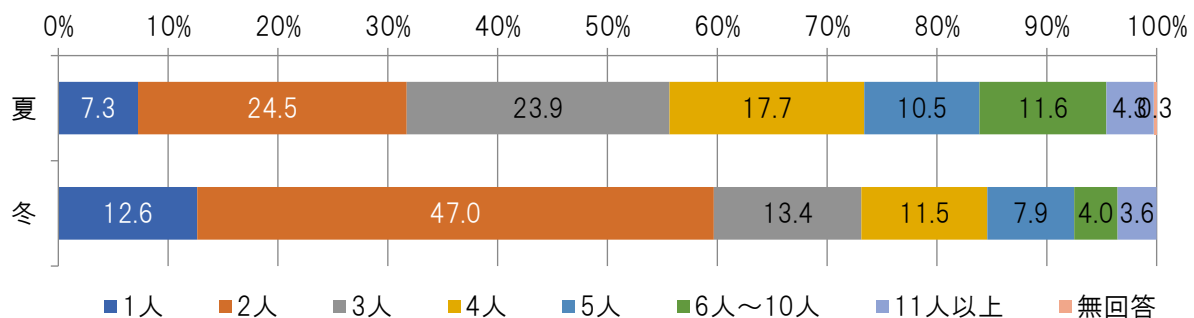
「2人」が33.6%と最も多く、次いで「3人」が19.7%であった。3~5人のグループは全体の44.3%であり、2人以下のグループは43.0%、6人以上の大人数のグループは12.5%であった。



平日・休日でクロス集計すると平日は「1人」、「2人」の割合が休日と比べて多くなっています。休日は4人以上の割合が約40%となっています。



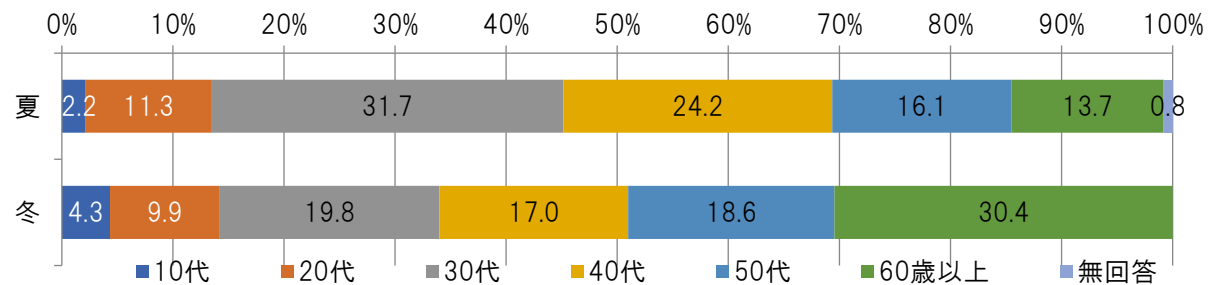
季節別でクロス集計すると、夏季は3人以上のグループが全体の約7割を占めている。冬季は夏季と比較して、2人以下の来訪者の割合が高く、全体の約6割を占めている。



問4 年齢を教えてください

1 10代	2 20代	3 30代	4 40代
5 50代	6 60歳以上		

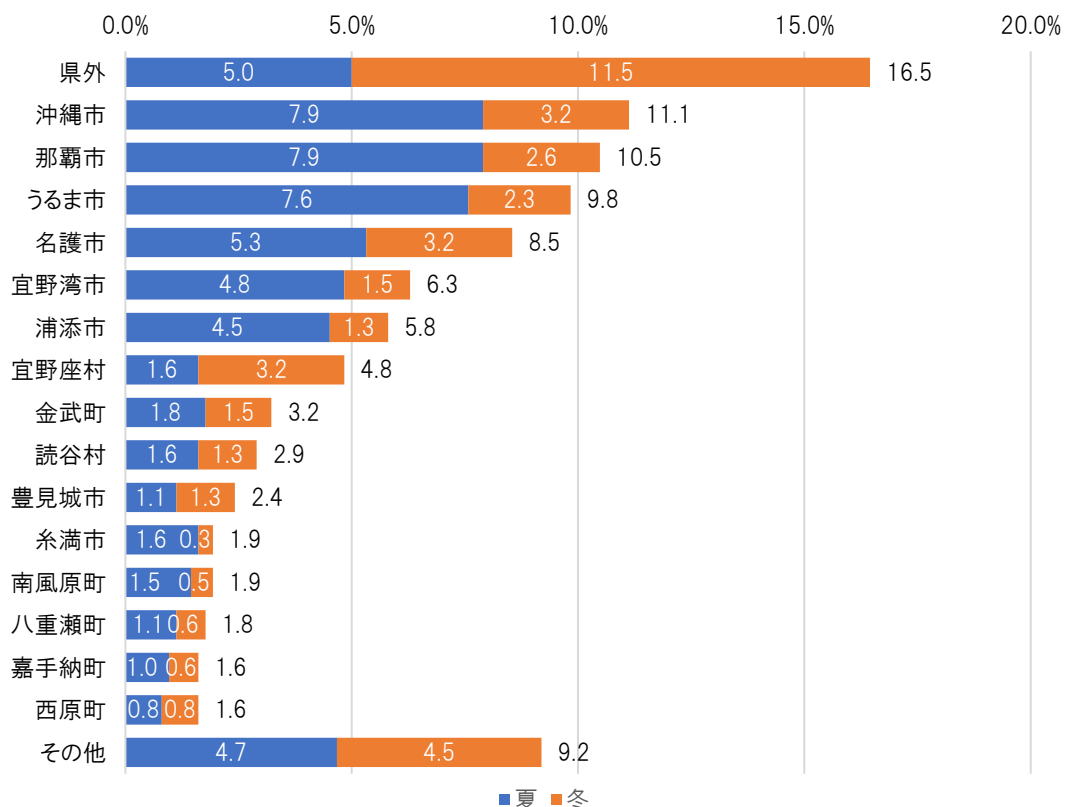
季節別でクロス集計すると、夏季は30代から40代の割合が高く、冬季は60代の割合が高くなっている。



問5 どちらからお越しになりましたか？

沖縄県内にお住まいの方	・市町村名 ( )
沖縄県外にお住まいの方	・都道府県名 ( )
海外にお住まいの方	・国名 ( )

県外からの来訪者が最も多く 16.5%であった。県内からは、中部の人口の多い「沖縄市」が 11.1%と最も多く、次いで「那覇市」が 10.5%、うるま市が 9.9%であった。北部からは名護市、中部からは宜野湾市、浦添市からの来訪者が一定数いることが分かった。宜野座村内からは 4.8%、近隣の金武町からは 3.2%であった。また、夏季と冬季で比較すると、夏季は県内の来訪者が多く、冬季は県外からの来訪者が多くなる傾向があることが読み取れる。

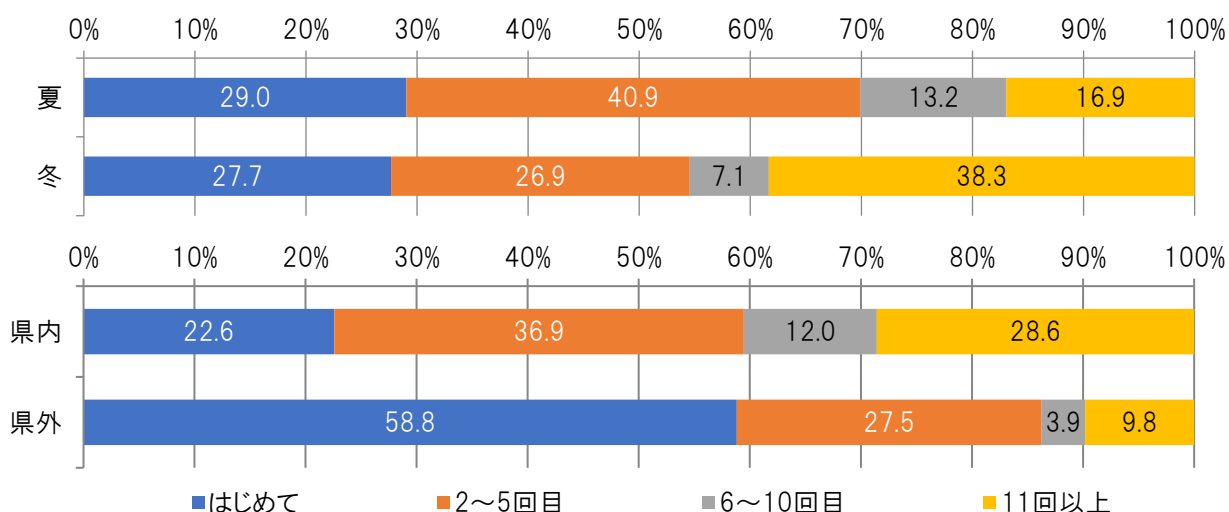


問6 道の駅「ぎのぎ」へは何回目のご来場ですか？

1	はじめて	2	2～5回目	3	6～10回目	4	11回以上
---	------	---	-------	---	--------	---	-------

季節別にクロス集計すると、夏季は「2～5回目」が40.9%と最も多く、次いで「はじめて」が29.0%、「11回以上」が16.9%、「6～10回目」が13.2%となっている。2回以上来場しているリピーターが全体の約70%であった。冬季は、「11回以上」の割合が最も高く38.3%であり、リピート回数が多い来訪者が多い。冬季においても、2回以上来場しているリピーターが全体の約70%である。

特に、県内からのリピーターが多く「11回以上」の割合が28.6%を占める。

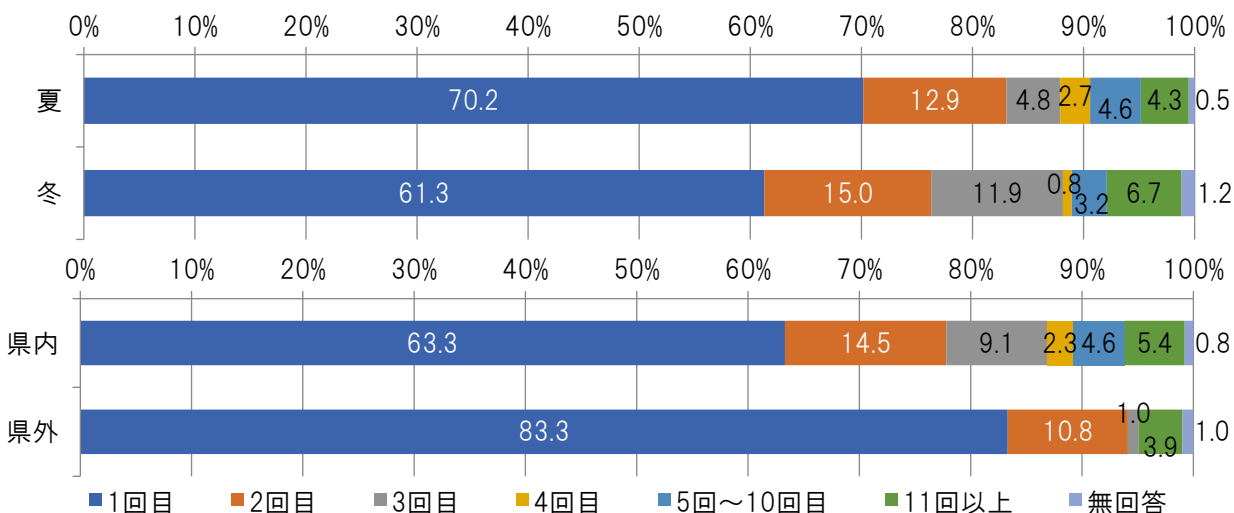


問7 今月のご来場は何回目ですか？

1	1回目	2	2回目	3	3回目	4	4回目
5	5回～10回目	6	11回以上				

季節別にクロス集計すると、どちらの季節も「1回目」の割合が高くなっており、夏季の方が「1回目」の来訪割合が少し高い傾向がある。冬季は、「2回目」や「3回目」などのリピーターの割合が夏季よりも高くなっている。

1か月以内においても、県内来場者の約40%が複数回利用している

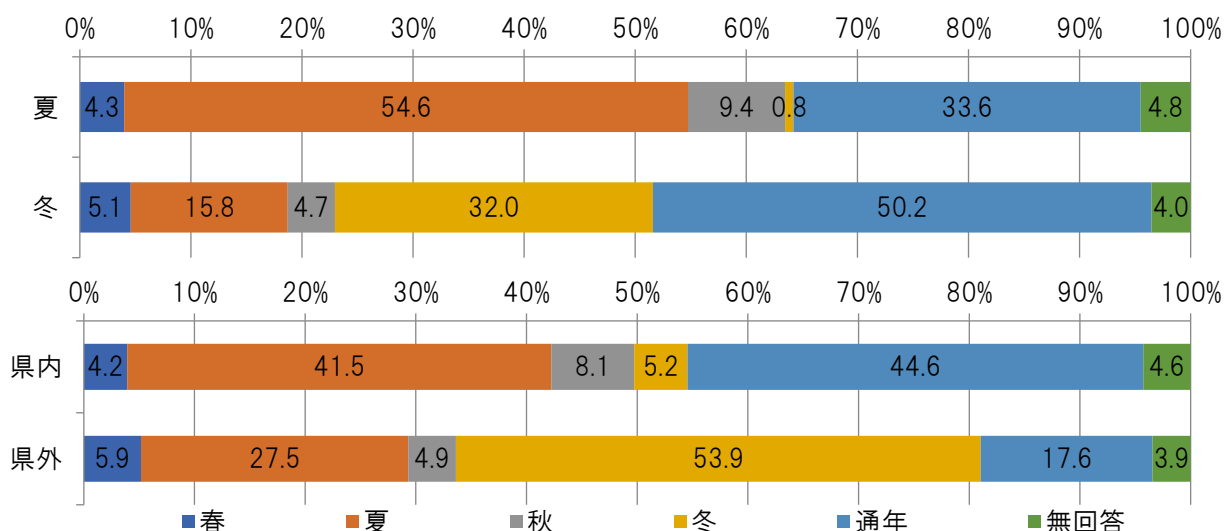


問8 主なご来場時期はいつですか？（複数回答）

1 春	2 夏	3 秋	4 冬	5 通年
-----	-----	-----	-----	------

夏季は、「夏」が54.6%と最も多く、次いで「通年」が33.6%であった。「春」と「秋」は1割以下で、「冬」と回答した方は最も少なく、0.8%であった。冬季の回答結果も夏季とほぼ同様な傾向となっている。

県内外別にみると、県内来場者は「通年」が44.6%と最も多く、次いで「夏」が41.5%であった。一方で、県外来場者は「冬」が53.9%と最も多く、次いで「夏」が27.5%であった。



問9 道の駅「ぎのぎ」でご利用の施設・店舗を教えてください（複数回答）

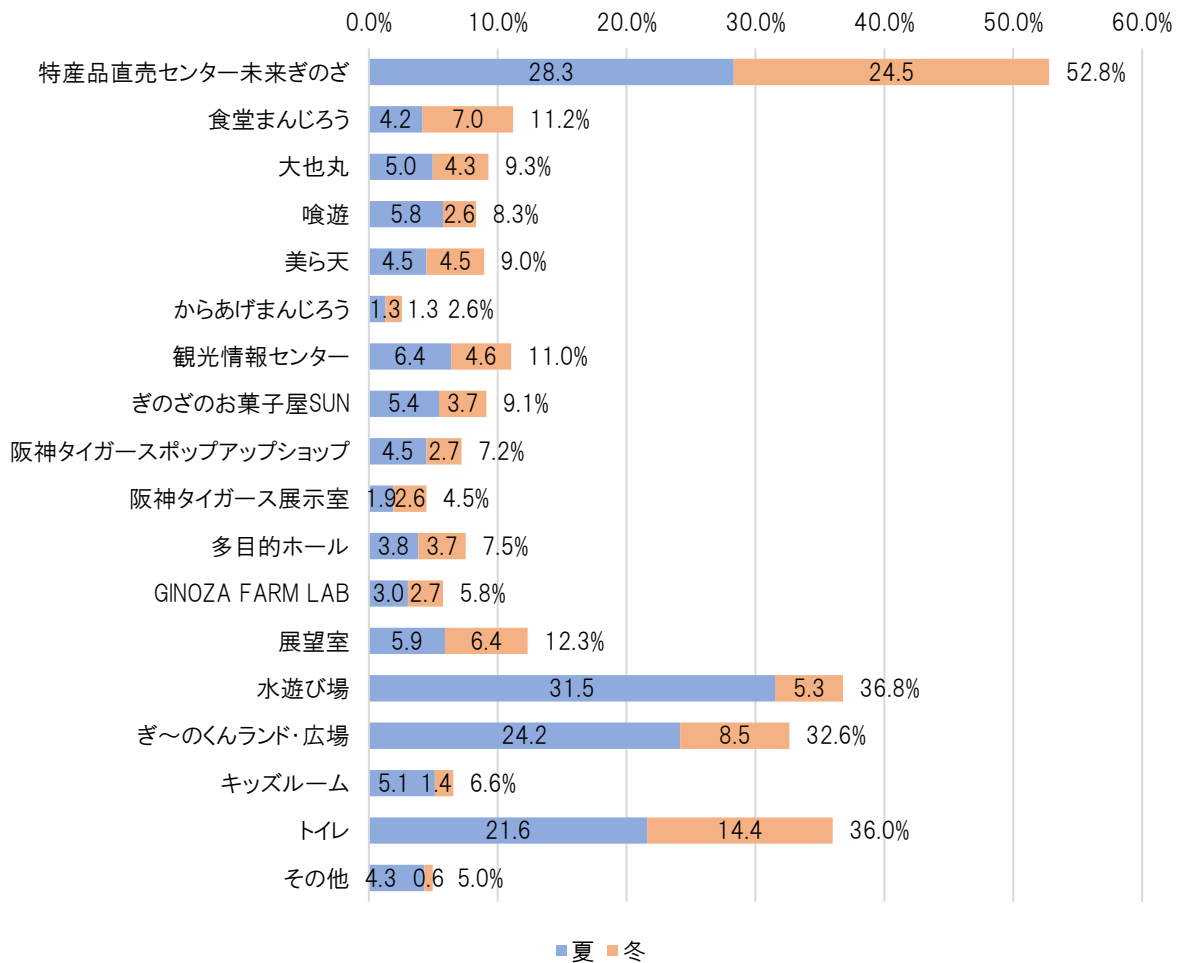
1 特産品加工直売センター 未来ぎのぎ（1階）	2 食堂まんじろう（1階）
3 大也丸（1階・フードコート）	4 喰遊（1階・フードコート）
5 美ら天（1階・フードコート）	6 からあげまんじろう（1階・フードコート）
7 観光情報センター（1階）	8 ぎのぎのお菓子屋 SUN（1階）
9 阪神タイガースポップアップショップ（1階）	10 阪神タイガース展示室（1階）
11 多目的ホール（1階）	12 GINOZA FARM LAB（2階）
13 展望室（3階）	14 水遊び場
15 ぎ~のくんランド・広場	16 キッズルーム
17 トイレ	18 その他（ ）

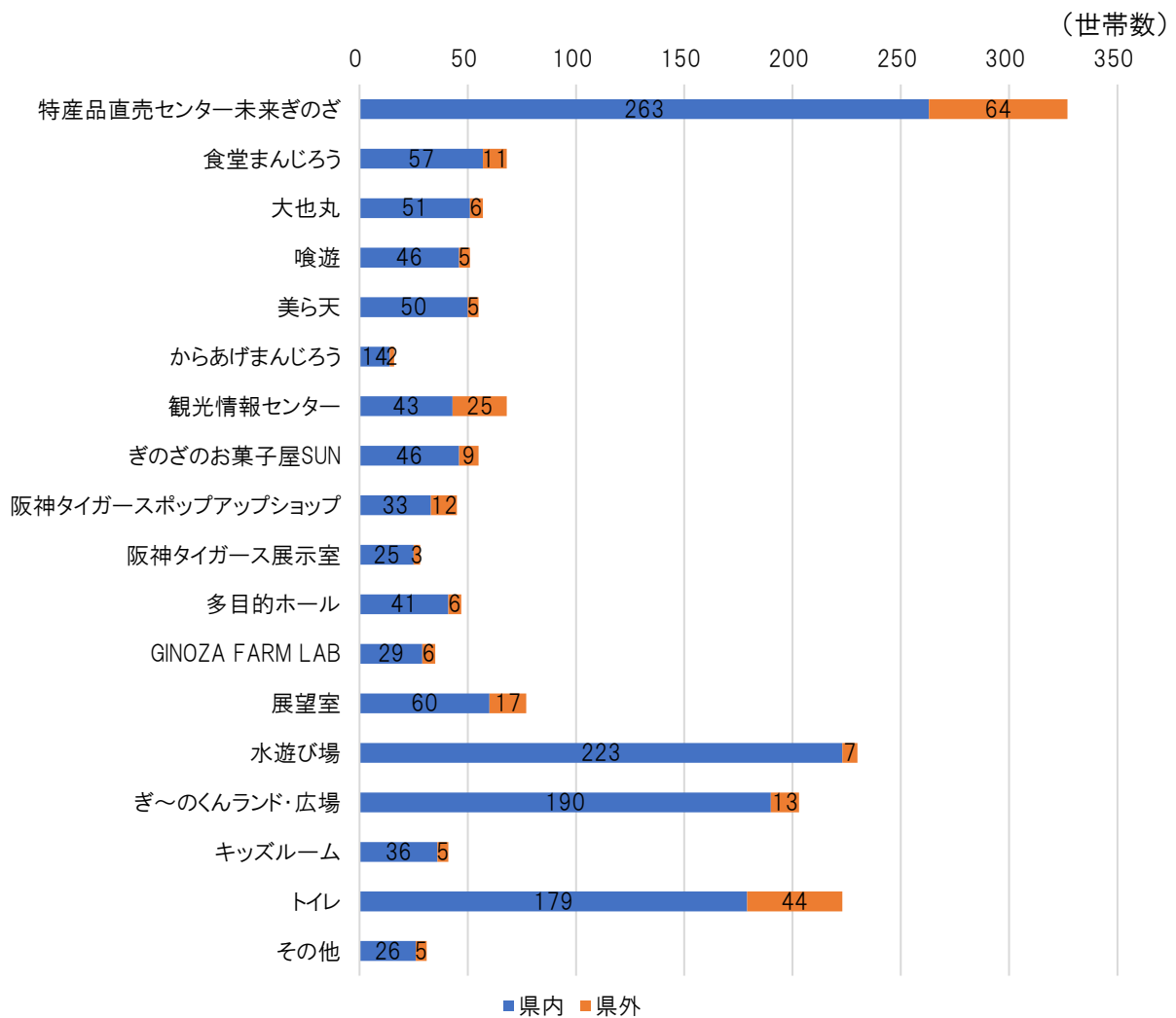
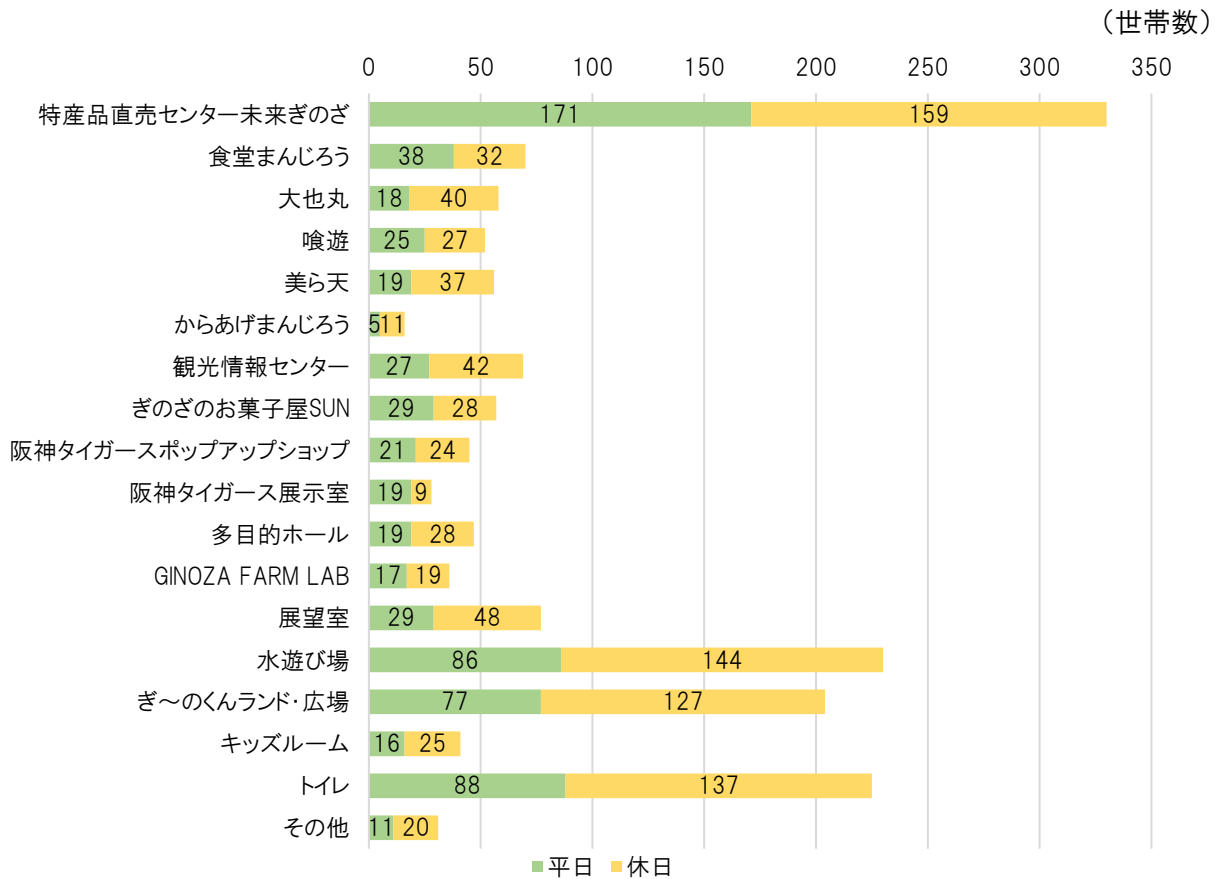
「特産品直売センター未来ぎのぎ」の利用割合が最も高く52.8%であった。他の施設は冬季になると利用者が減少しているが、未来ぎのぎのみ通年の利用者があることが予想される。夏季の利用が多い、「水遊び場」は36.8%、「ぎ~のくんランド・広場」は32.6%と高くなっているが、冬季の利用者が減少しているため、通年の利用割合が少なくなってしまうと予想される。

フードコートやその他の施設においては、そのほとんどが10%以下の利用率となっており、利用したくなるコンテンツ等、施設の魅力を高めて利用したくなる改善が必要である。

平日・休日でクロス集計すると、「特産品直売センター未来ぎのぞ」は、平日・休日どちらもほぼ同数で利用されている。一方、「水遊び場」をはじめとするその他施設は、平日の利用世帯数が少なく、休日が多くなっている。

県内外でクロス集計すると、県内来場者は「特産品直売センター未来ぎのぞ」とともに「水遊び場」を利用する来場者が多く、通年で利用していることうかがえる。一方で、県外来場者は「特産品直売センター未来ぎのぞ」が最も多く、冬の利用が多くなっている要因となっている。



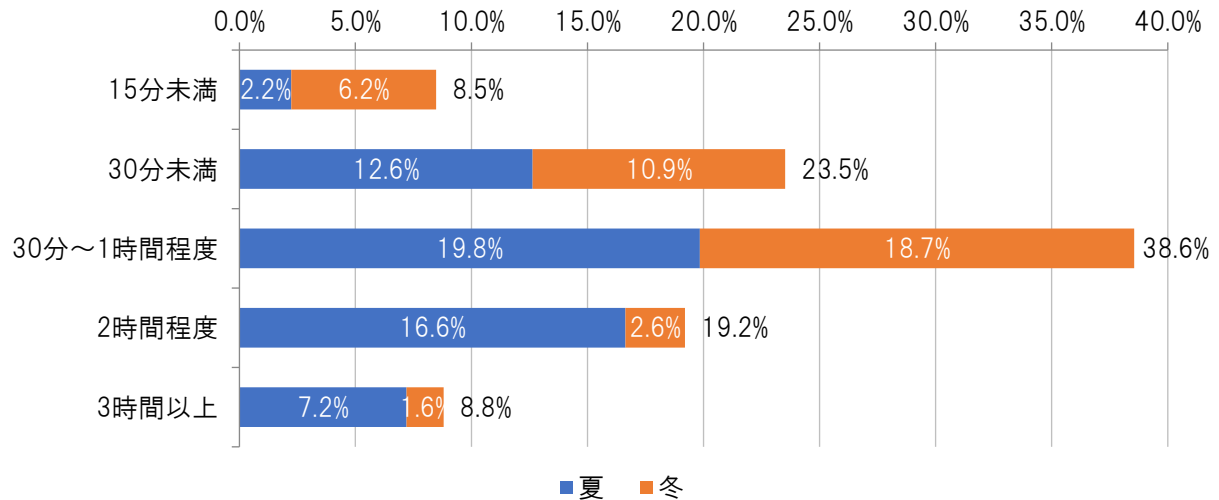




問 10 本日の滞在時間はどれくらいですか？

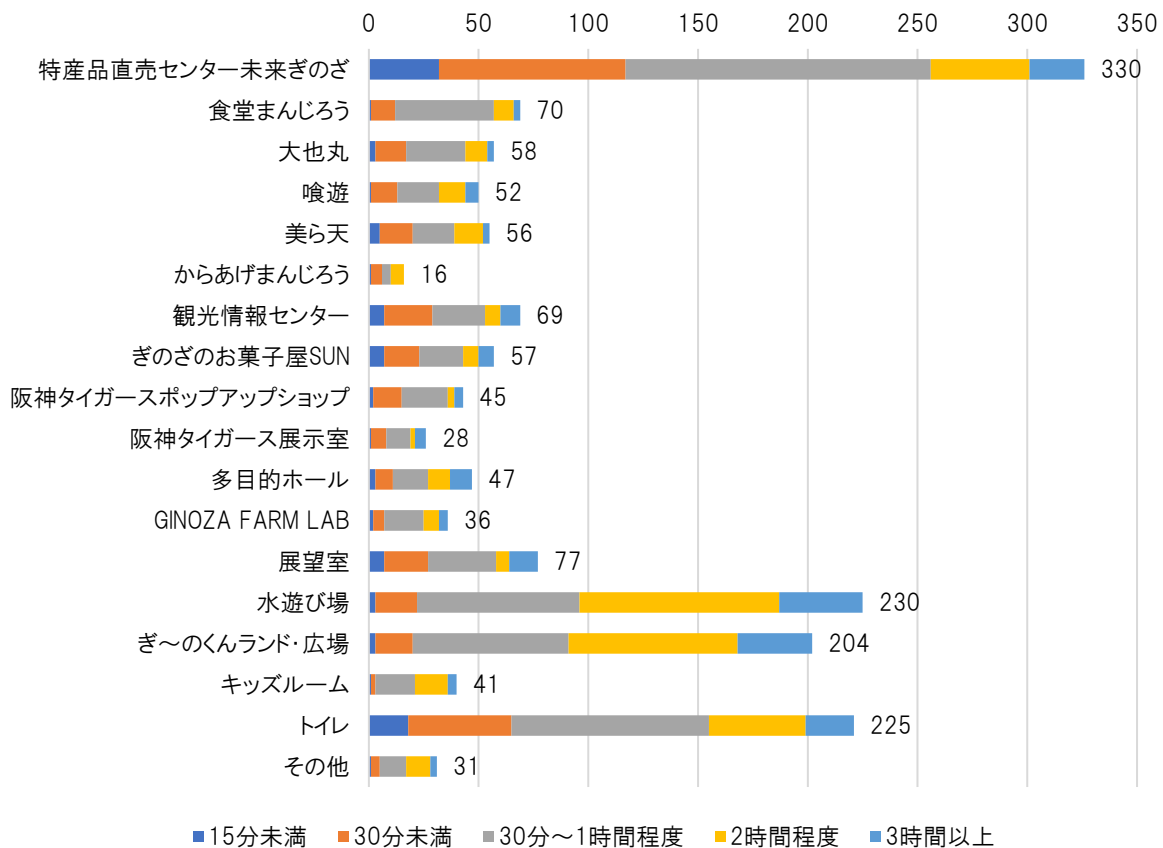
1 15分未満	2 30分未満	3 30分～1時間程度
4 2時間程度	5 3時間以上	

「30分～1時間程度」が38.6%と最も多く、「30分未満」が23.5%、「2時間程度」が19.2%となっている。冬季に「2時間程度」、「3時間以上」と回答した長時間滞在する来場者の割合は、夏季と比較して非常に少なくなっている。



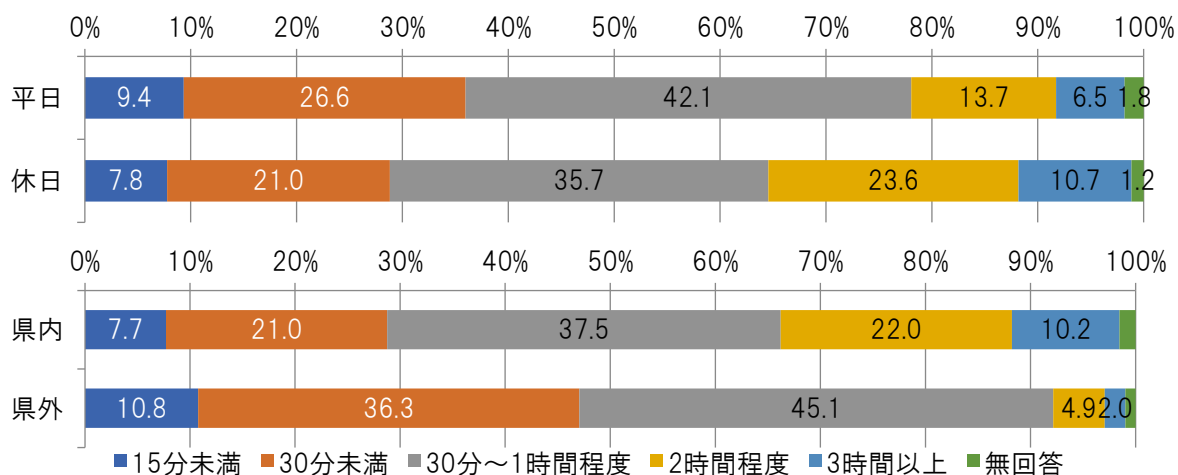
滞在時間と利用した施設をクロス集計すると、2時間以上と回答している世帯数が多いのは、「水遊び場」と「ぎ～のくんランド・広場」であった。

(世帯数)



平日・休日でクロス集計すると、平日は休日と比較して全体として滞在時間が短い傾向があり、休日は長い傾向がある。特に休日は2時間以上が約3割を占めている。

県内外でクロス集計すると、県内に比べて県外来場者の方が、滞在時間が長くなっている。

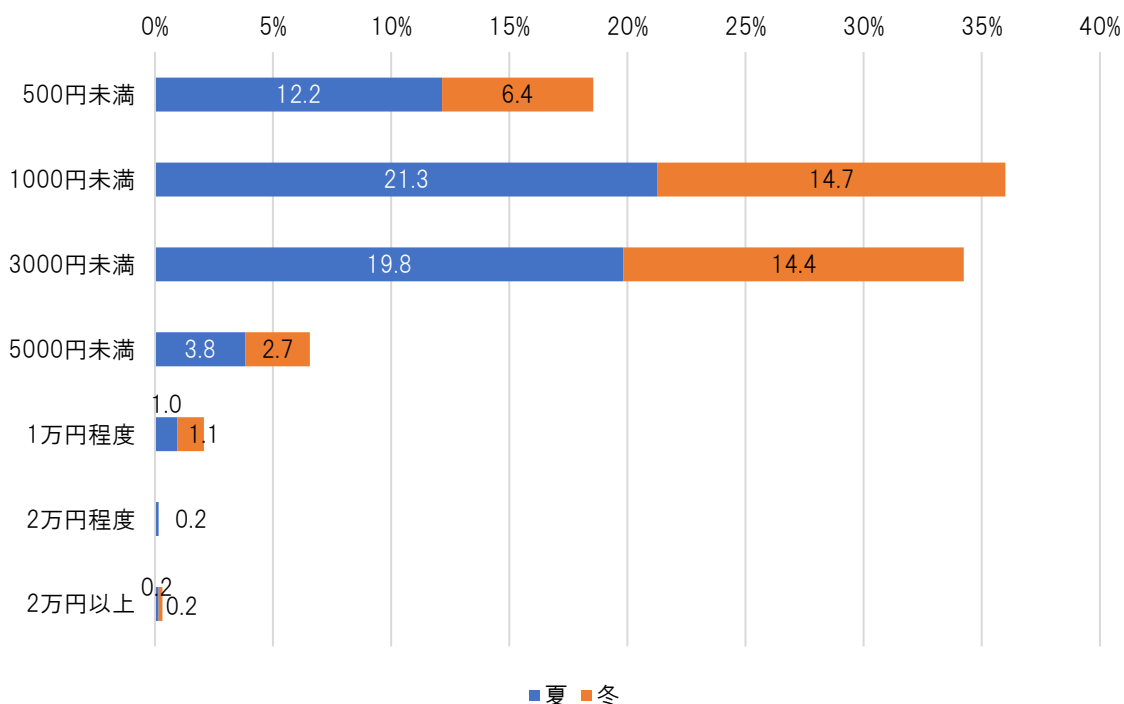


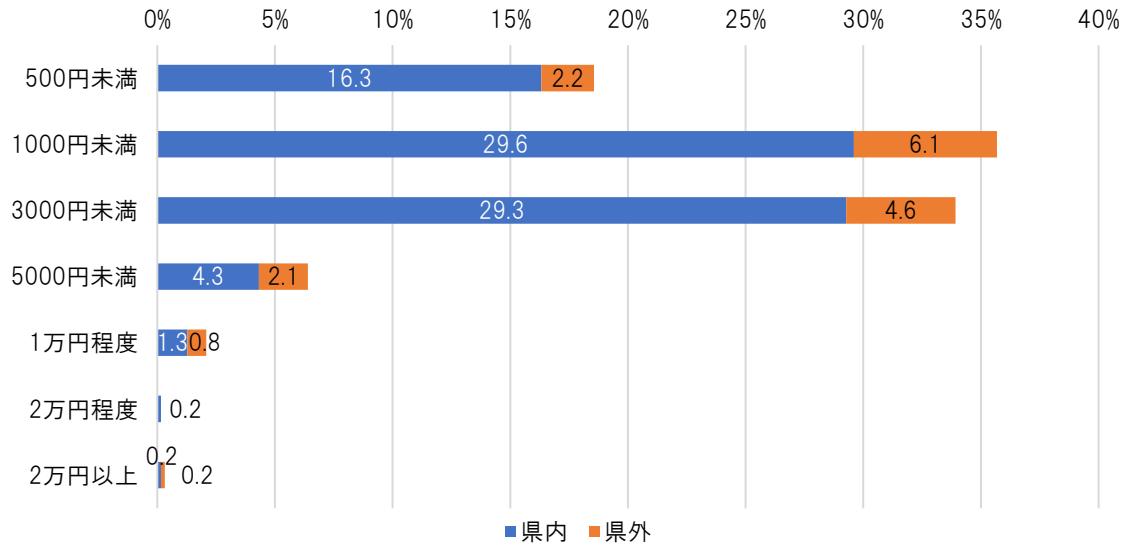
問 11 本日の消費金額はどれくらいですか？

1 500円未満	2 1000円未満	3 3000円未満	4 5000円未満
5 1万円程度	6 2万円程度	7 2万円以上	

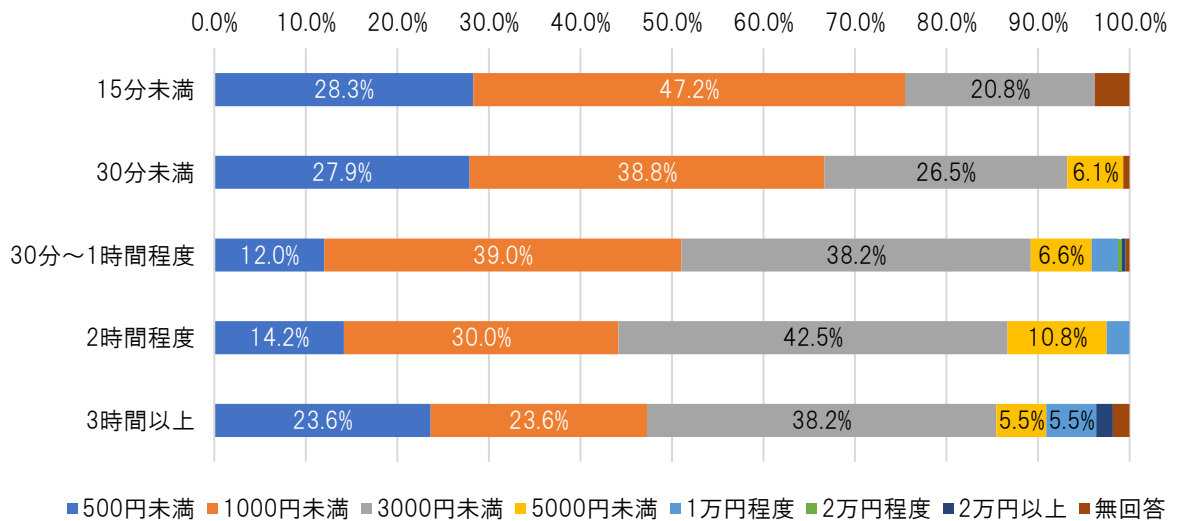
「1000円未満」が36.0%と最も多く、次いで「3000円未満」が34.2%、「500円未満」が18.6%となっている。消費金額が3000円未満の来場者が約9割となっている。

季節別に見ると、夏季は「500円未満」の消費金額の少ない割合が高い。冬季は、未来ぎのぞへの買い物目的で来訪している方が多いため、「500円未満」の割合が少ない傾向があるが、夏季よりも来訪者数が少ないため、全体として割合が低くなっている。

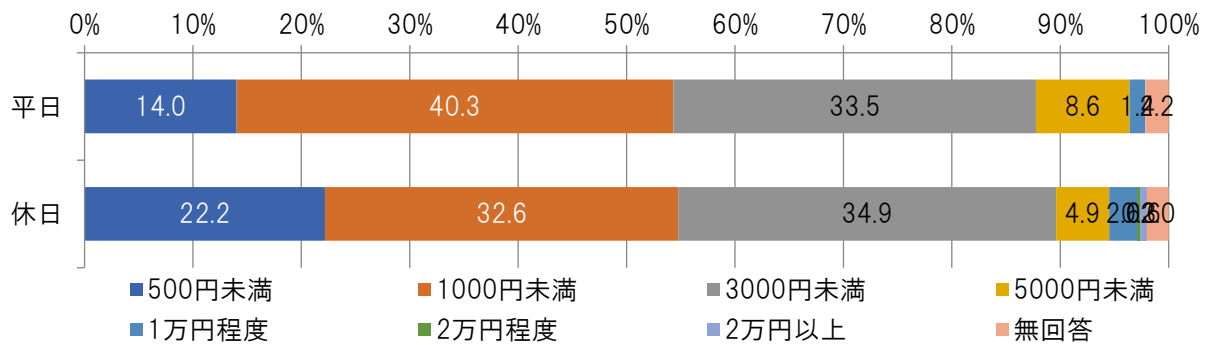




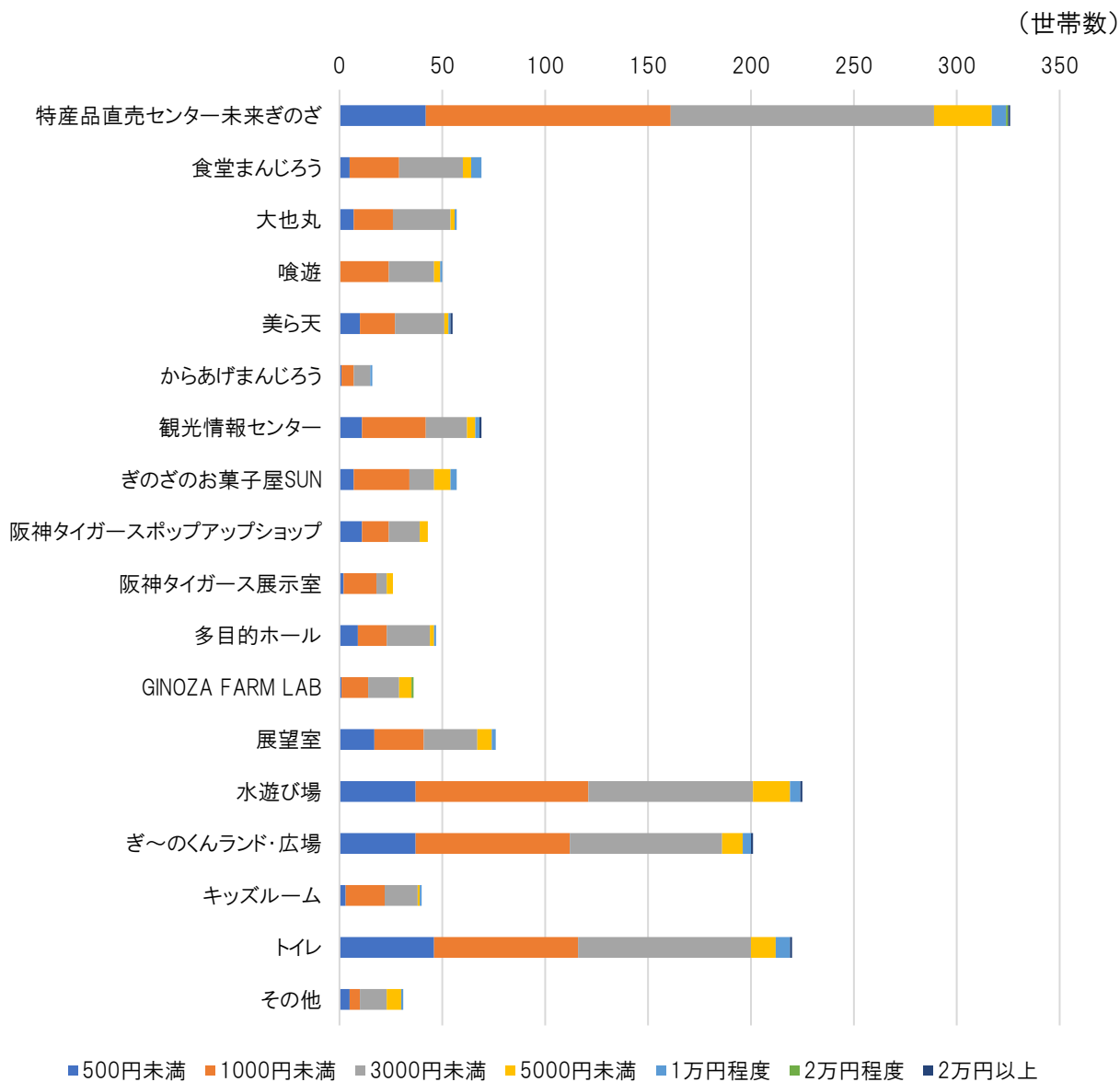
滞在時間と消費金額をクロス集計すると、滞在時間が長くなるほど消費金額が高くなる傾向があることが分かる。消費金額を上げるためには来訪者の滞在時間を長くすることが重要になる。



平日・休日でクロス集計すると、どちらもともに「1,000円未満」が5割を超えている。特に休日は「500円未満」の割合が増えているため、来訪者数が増加したとしても消費金額が上がりにくい状況となっている。



消費金額と利用した施設をクロス集計すると、滞在時間が長くなっている「水遊び場」と「ぎ〜のくんランド・広場」、で「3,000円未満」の消費額の世帯数が多くなっている。一方で「1000円未満」の世帯数も多く、消費額が増えない状況にある。特産品直売センター未来ぎのざにおいても同様な消費額の世帯数となっている。

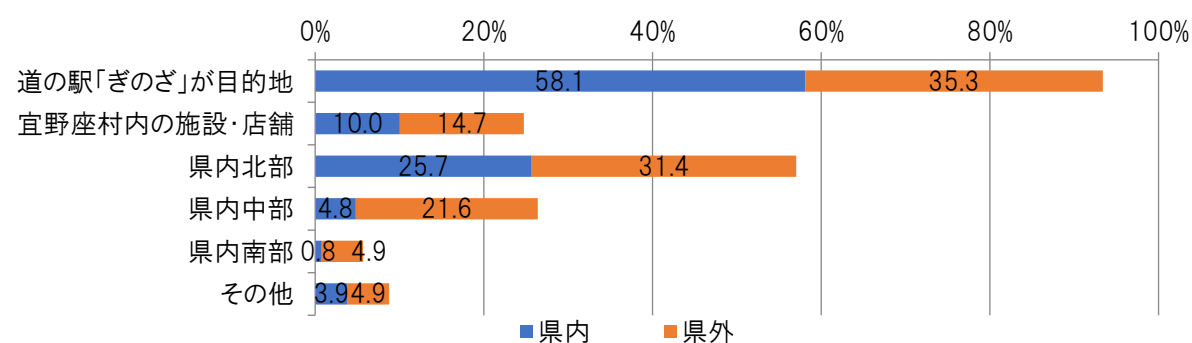
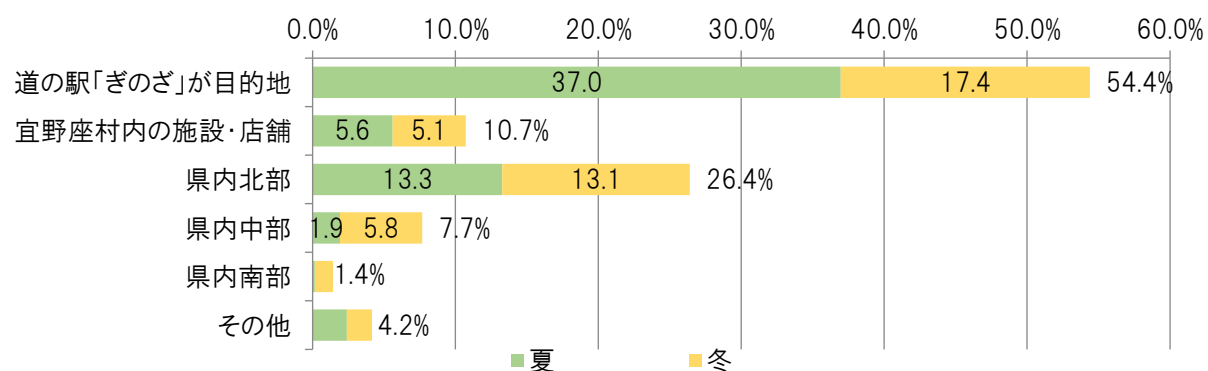


問 12 本日のおでかけの目的地を教えてください（複数回答）

1 道の駅「ぎのぎ」が目的地	2 宜野座村内の施設・店舗
3 県内北部	4 県内中部
5 県内南部	6 その他（ ）

「道の駅「ぎのぎ」が目的地」が54.5%と最も多く、次いで「県内北部」が26.4%、「宜野座村内の施設・店舗」が10.7%となっている。季節別に見ると、冬季は県外からの来訪者が多いこともあり、「道の駅「ぎのぎ」が目的地」の割合が低くなり、県内北部等の通り道で寄っていることがわかる。

県内外別に見ると、県内来場者の方が「道の駅「ぎのぎ」が目的地」としている場合が多い。また、県内外ともに「県内北部」の通り道で寄っていることがわかる。



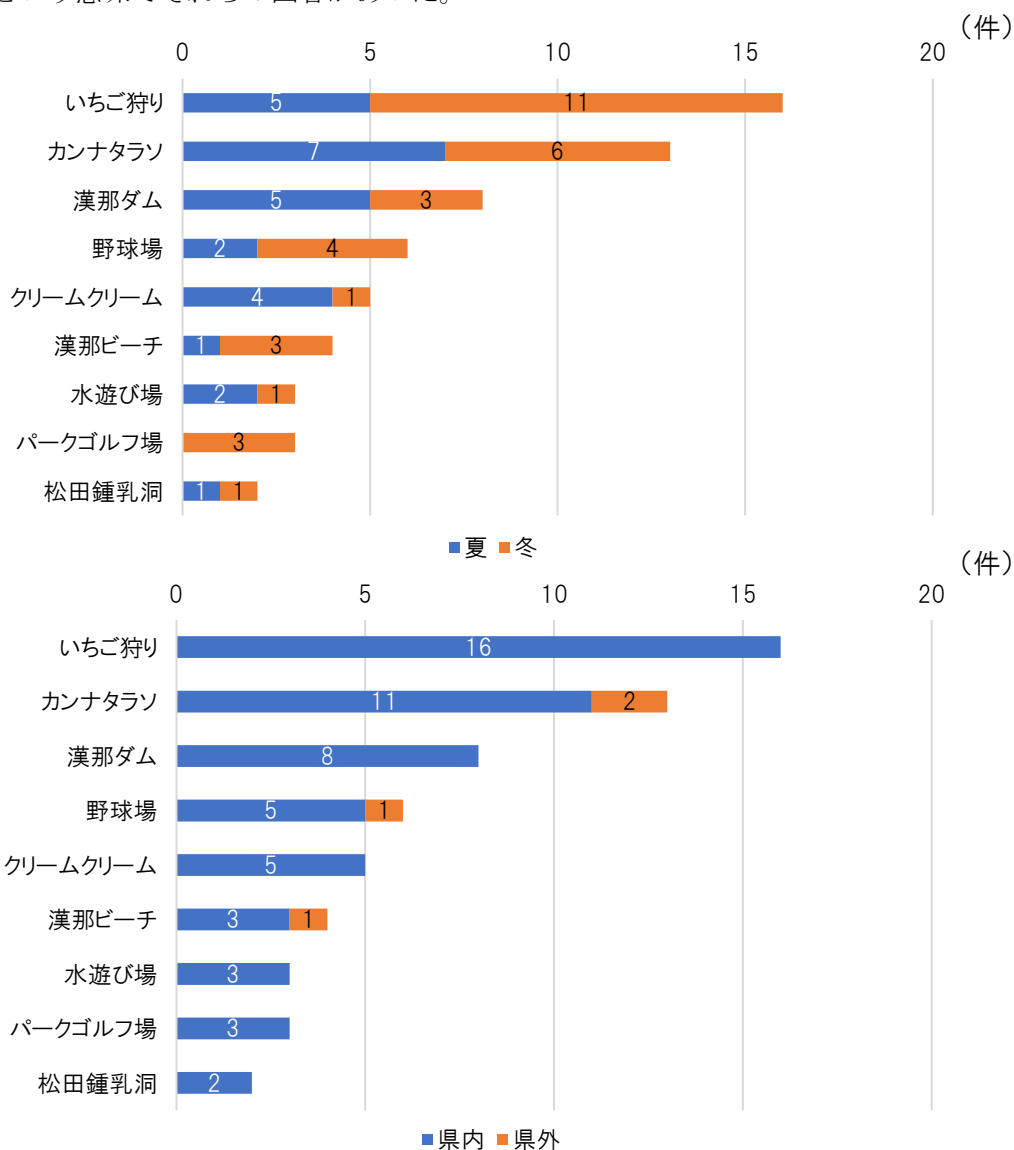
問 13 上の質問で「宜野座村内の施設・店舗」とお答えの方は、その施設・店舗を教えてください

「カンナタラソ」が5件、「漢那ダム」が4件であった。その他には、村内の飲食店や商店、観光施設等が挙げられる。

項目	件数
カンナタラソ	5
漢那ダム	4
クリームクリーム	4
お花屋	3
車海老レストラン球屋	3
仲間商店、あはれん牧場	3
パークゴルフ場	2
ペンションうみつばめ	2
宜野座球場	2
美らの教会	2

問 14 今後、宜野座村で訪れたい（もしくは訪れる予定の）施設や店舗があれば教えてください

「いちご狩り」が 16 件と最も高く、次いで「カンナタラソ」が 13 件、「漢那ダム」が 8 件となっている。道の駅ぎのざを訪れてから、水遊び場やパークゴルフ場を知った方が、また訪れたいという意味でそれらの回答があった。



問 15 道の駅「ぎのざ」に足りないものや改善点があれば教えてください。

「飲食店」と回答した方が 27 件あり、「定休日が重なっている」、「気軽に入れるカフェが欲しい」、「キッチンカーやお弁当を増やして欲しい」、などの意見がある。「駐車場」と回答した方は 28 件あり、「駐車場が停められないときがある」と駐車場の不足を感じている。

また「水遊び場」に関連して、「シャワー」や「更衣室」の不足、「休憩スペース」や「ベンチ」と回答した方がいる。県内には遊園地が無いので大型遊具があると利用しやすいが、「小さい子どもの遊び場」や「日陰のある遊び場」を少しでも多く求めている。

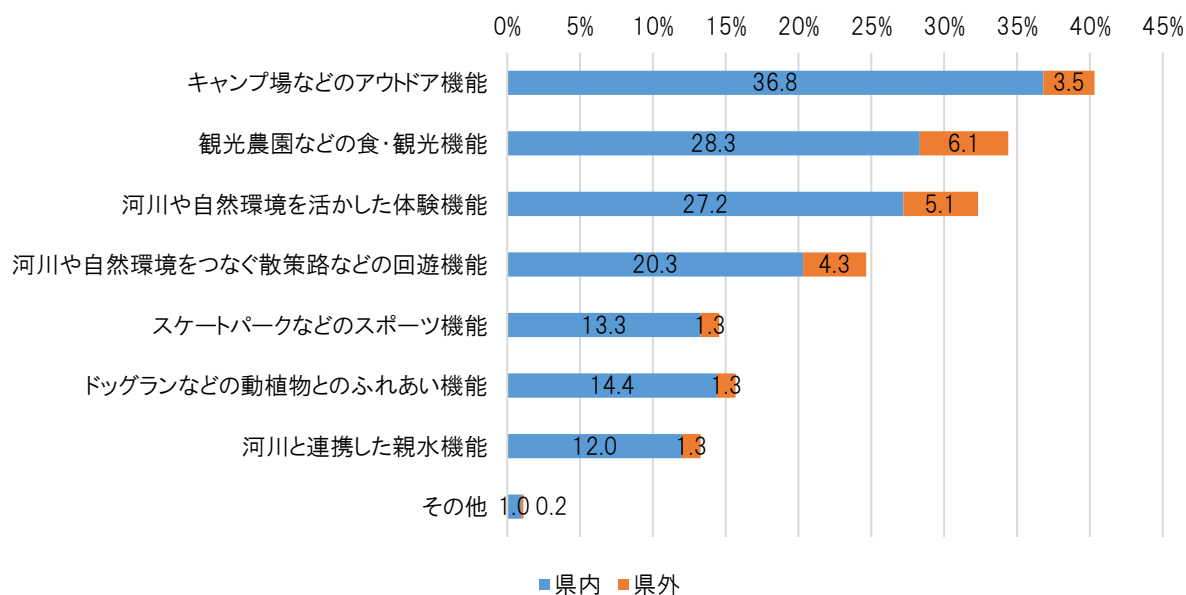
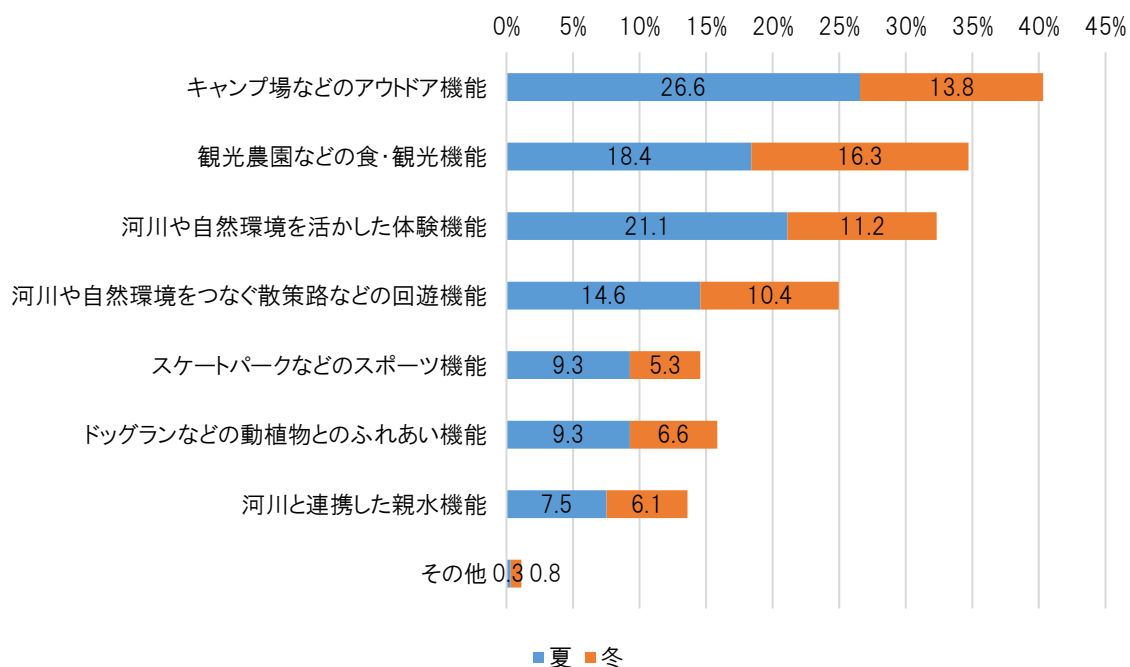
買い物施設に関しては、「県産品が購入できる場所」や「ここでしか買えないもの」等の意見も挙げられている。

問 16 現在、道の駅「ぎのざ」周辺について、次期計画の策定を行っています。その参考とするため、道の駅「ぎのざ」周辺に導入してほしい機能・施設はありますか？（複数回答）

1 キャンプ場などのアウトドア機能	2 観光農園などの食・観光機能
3 河川や自然環境を活かした体験機能	4 河川や自然環境をつなぐ散策路などの回遊機能
5 スケートパークなどのスポーツ機能	6 ドッグランなどの動植物とのふれあい機能
7 河川と連携した親水機能	8 その他（ ）

「キャンプ場などのアウトドア機能」が40.3%と最も多く、次いで「観光農園などの食・観光機能」が34.7%、「河川や自然環境を活かした体験機能」が32.3%、「河川や自然環境をつなぐ散策路などの回遊機能」が25.0%となっている。

県内外別に見ると、県内来場者は「キャンプ場などのアウトドア機能」が36.8%と最も多く、次いで「観光農園などの食・観光機能」が28.3%となっている。県外来場者は「観光農園などの食・観光機能」や「河川や自然環境をつなぐ散策路などの回遊機能」が多くなっている。

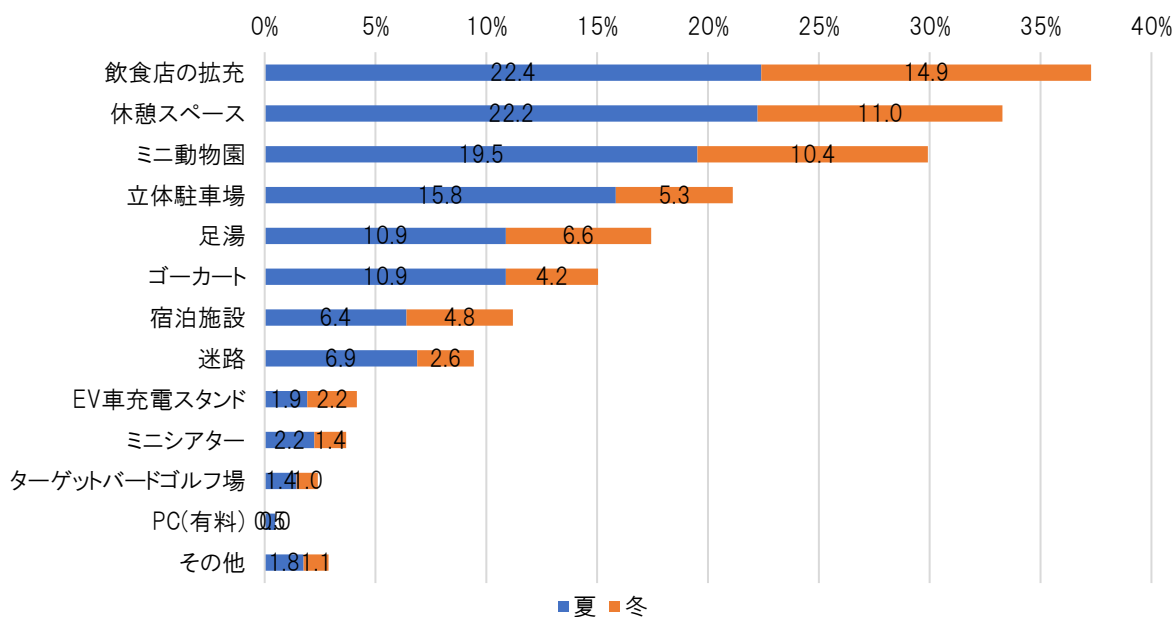


問 16-2 前問に関連して、具体的な機能・施設はありますか？（複数回答）

- |    |           |    |        |    |              |    |       |   |        |
|----|-----------|----|--------|----|--------------|----|-------|---|--------|
| 1  | 立体駐車場     | 2  | 休憩スペース | 3  | 飲食店の拡充       | 4  | 足湯    | 5 | PC(有料) |
| 6  | EV車充電スタンド | 7  | 宿泊施設   | 8  | ターゲットバードゴルフ場 |    |       |   |        |
| 9  | ミニシアター    | 10 | ミニ動物園  | 11 | 迷路           | 12 | ゴーカート |   |        |
| 13 | その他（ ）    |    |        |    |              |    |       |   |        |

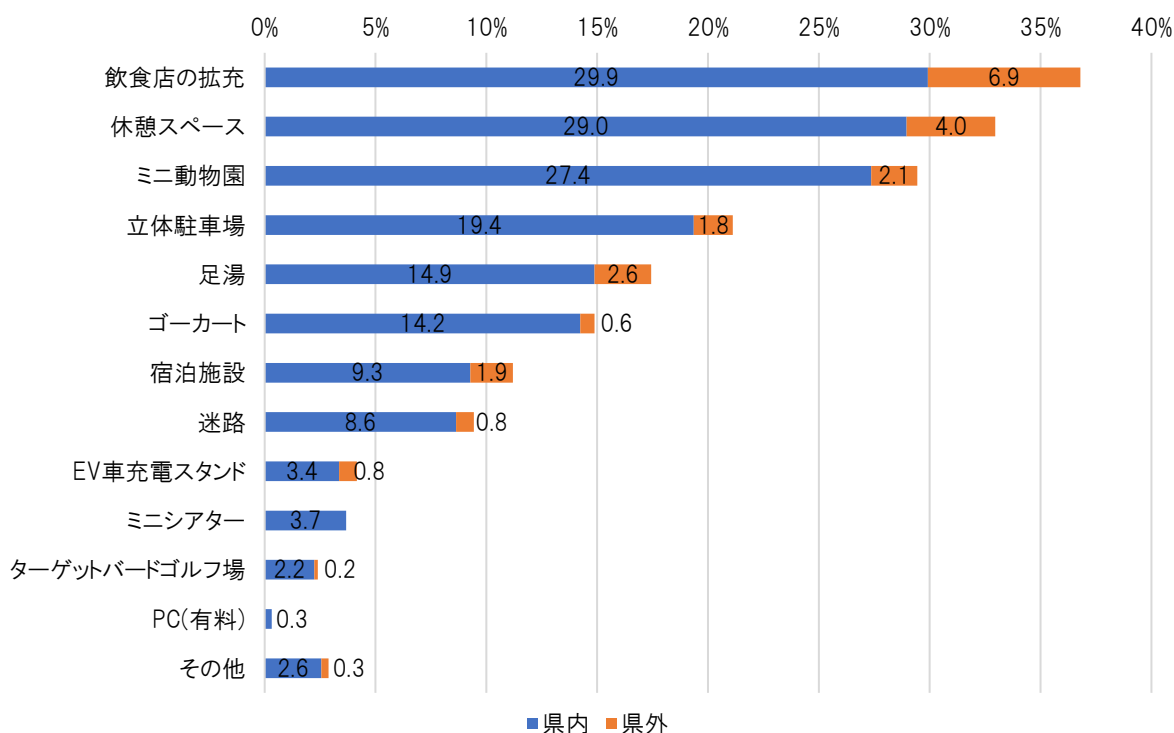
「飲食店の拡充」が37.3%と最も高く、次いで「休憩スペース」が33.3%、「ミニ動物園」が29.9%、「立体駐車場」が21.1%となっている。

季節別、県内外別に見ても、同様の傾向になっている。



その他内訳

釣り場、日陰スペース、wi-fi、キャンプ場、健康に関するコーナー、駐車場、収穫体験、カヌー体験、カフェ：各1件

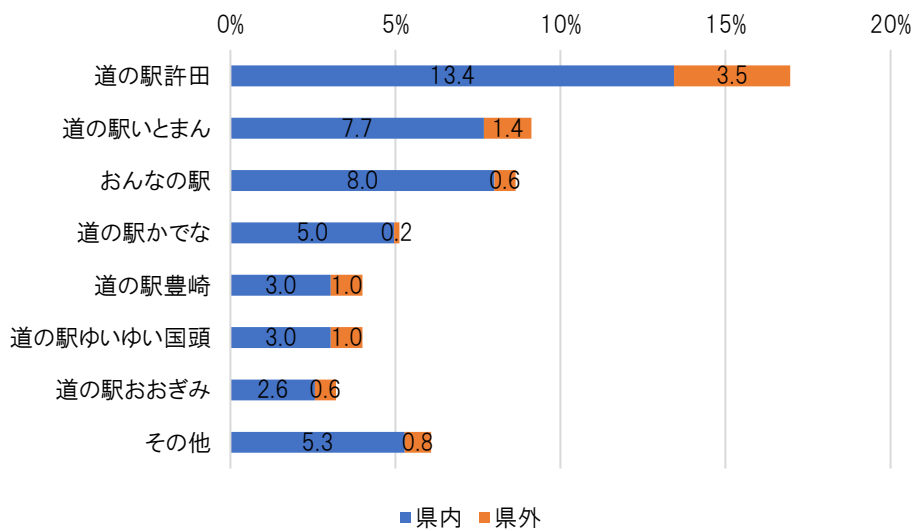
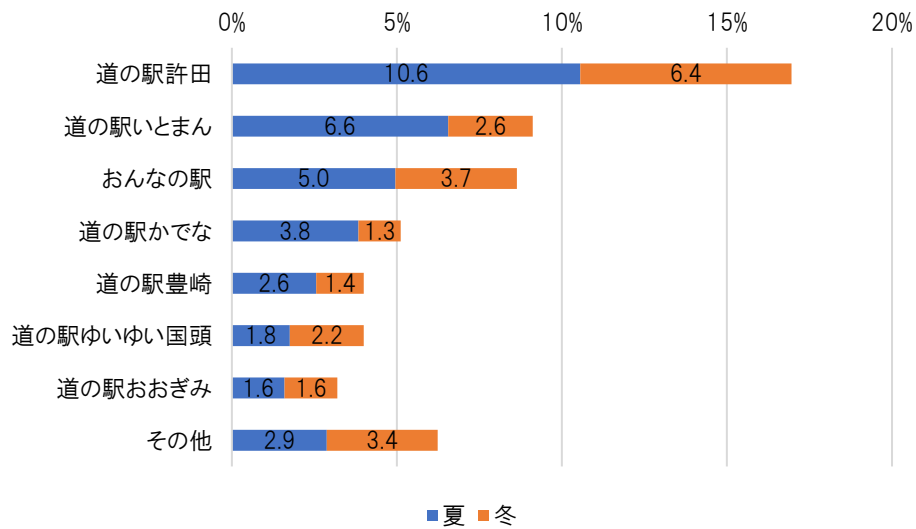




問 17 道の駅「ぎのざ」以外でよく利用する道の駅や類似施設はありますか？

名護市の「道の駅許田」が 26.4%と最も多く、次いで糸満市の「道の駅いとまん」が 15.7%、恩納村の「おんなの駅」が 12.7%であった。

季節別、県内外別に見ても、同様の傾向になっている。



### 4-3. ビッグデータ分析

#### 4-3-1. 来訪者分析

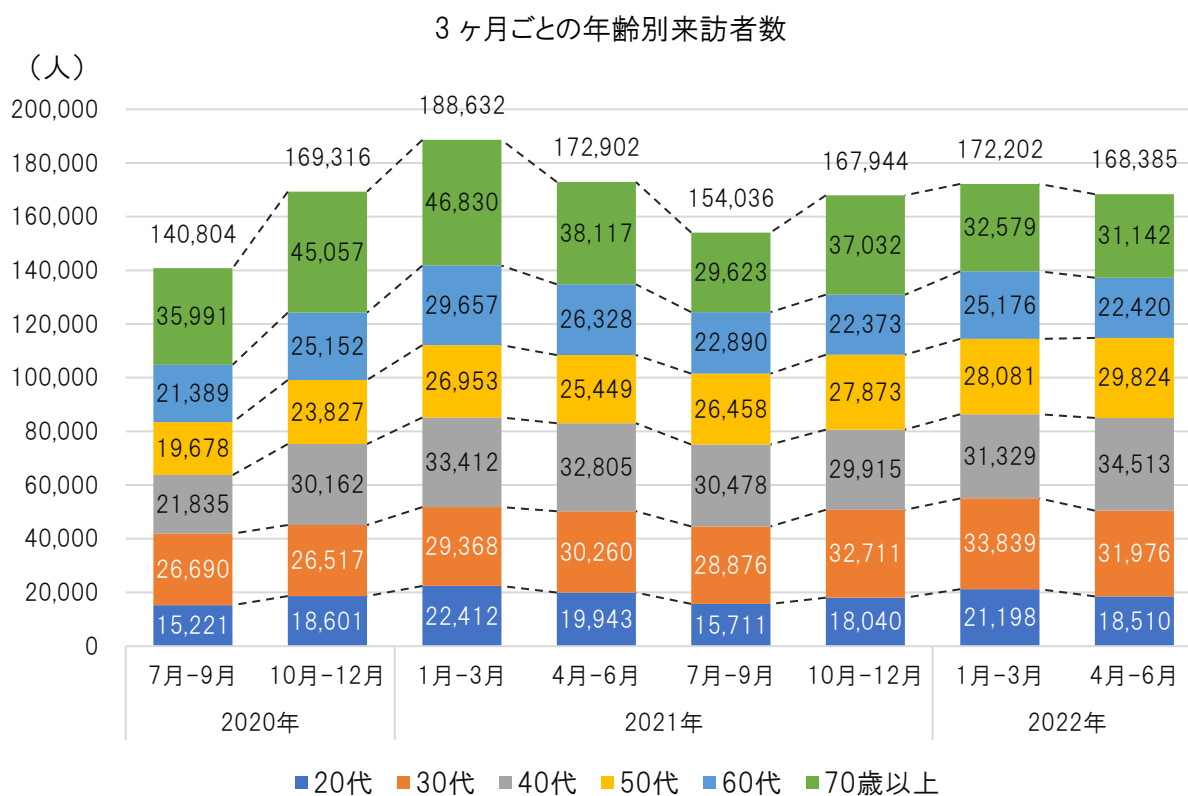
KDDI Location Analyzer<sup>1</sup>を活用し、道の駅「ぎのざ」への来訪者の属性や行動特性について分析を行う。今回の分析では、道の駅「ぎのざ」を中心に5kmの商圈をセットし、商圈内からの来訪者を居住者、商圈外からの来訪者を来街者として分析を行った。



#### ① 来訪者属性分析

##### ■ 年齢別来訪者数

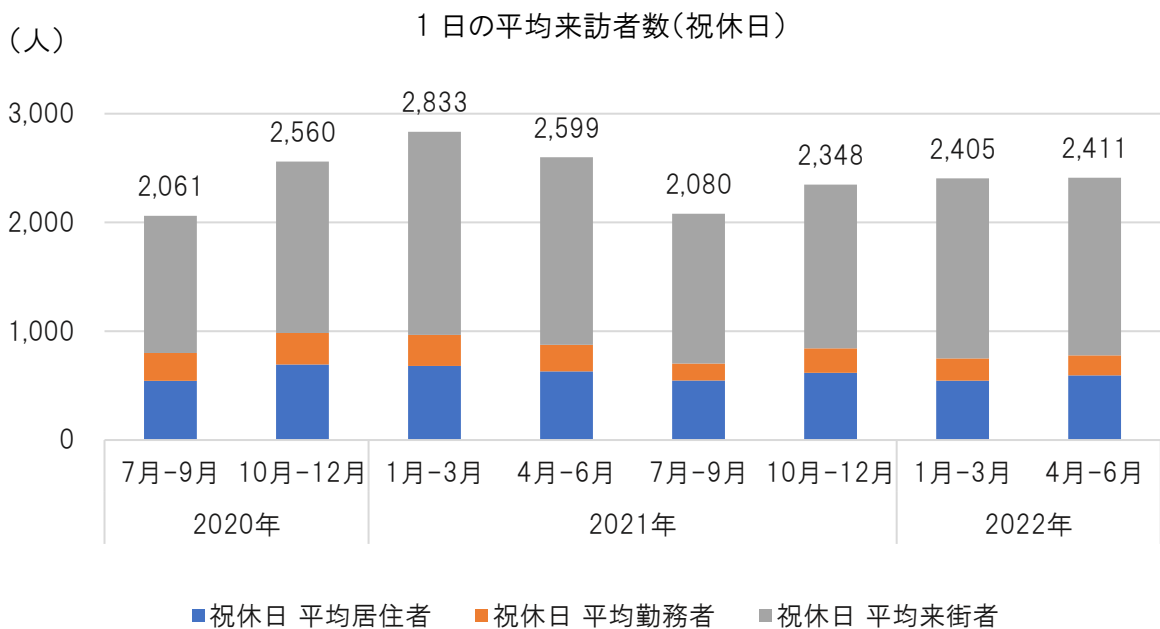
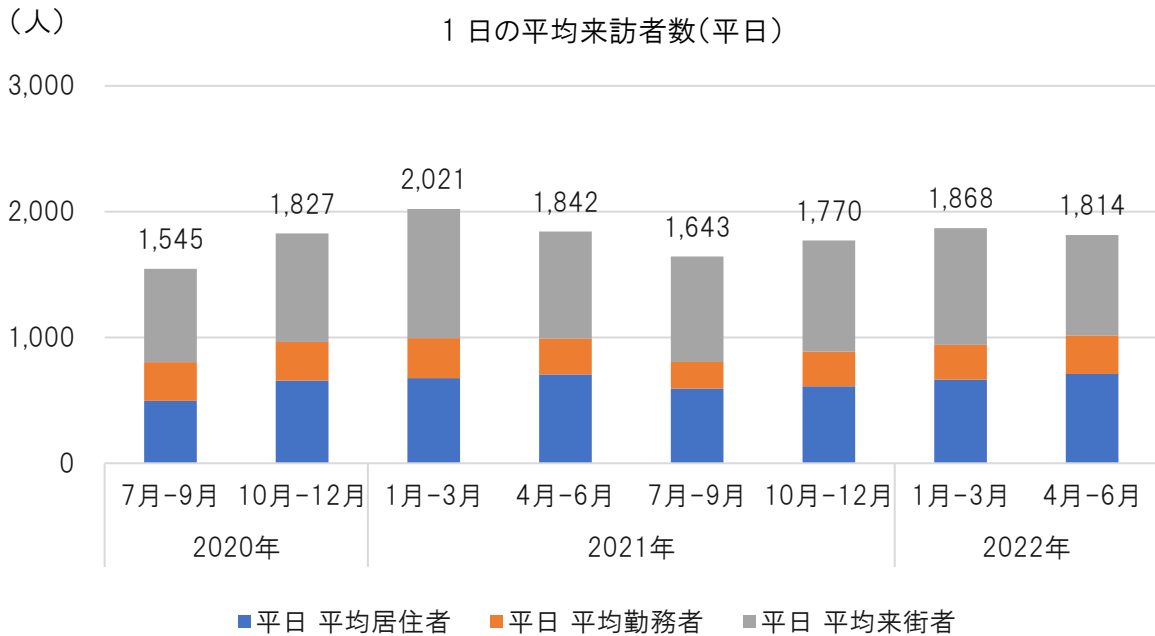
2020年7月から2022年6月までの来訪者属性について、3ヶ月ごとのデータを集計した。3ヶ月ごとの来訪者のピークは2021年1月から3月の約18万8千人となっており、直近では約17万人で推移している。年齢別にみると、30代、40代、70歳以上の割合が高くなっている。



<sup>1</sup> KDDI Location Analyzer とは施設訪問者数、来訪者居住地や日別推移、併用者数などを、GPS位置情報ビッグデータを基に見える化したシステムのことである。数百万人の au スマートフォンユーザーから情報を取得している。

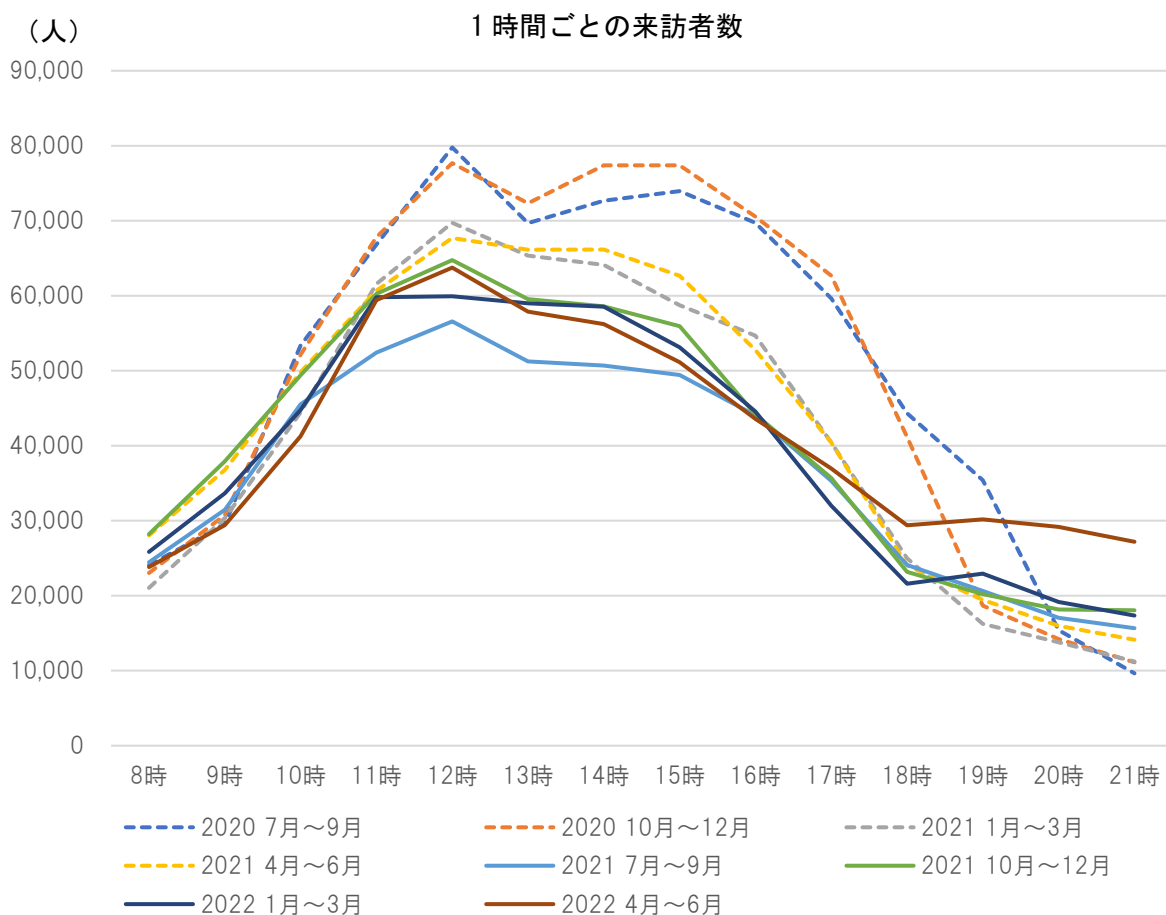
■ 1日の平均来訪者数

道の駅「ぎのぞ」への午前8時から午後10時までの3ヶ月ごとの来訪者の平均値を見ると、1月から3月の来訪者が最も多くなっており、平日では1日に約2,000人、祝休日では約2,800人が来訪している。また、商圏内に居住している居住者も一定数来訪していることが分かった。

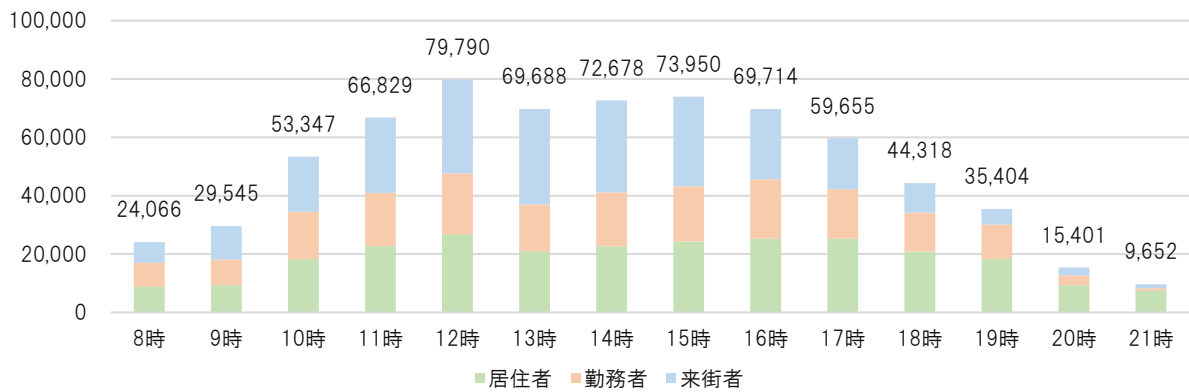


■ 1時間ごとの来訪者数

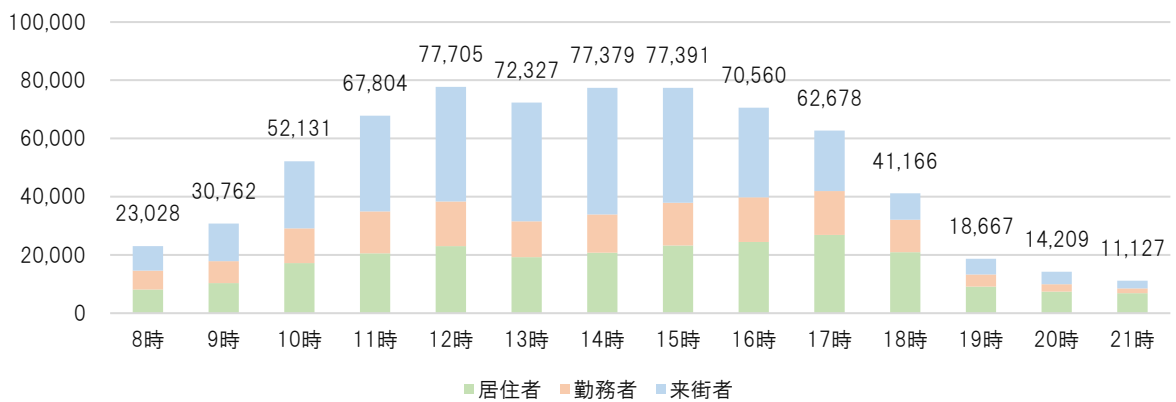
1時間ごとの来訪者数を3ヶ月ごとに集計すると、どの期間も12時が来訪者数のピークになっており、15時以降に減少していく傾向がある。2020年の7月～9月が最大となっており、2021年の7月～9月が最小となっている。直近の2022年4月～6月では少しずつではあるが、来訪者が戻りつつある。



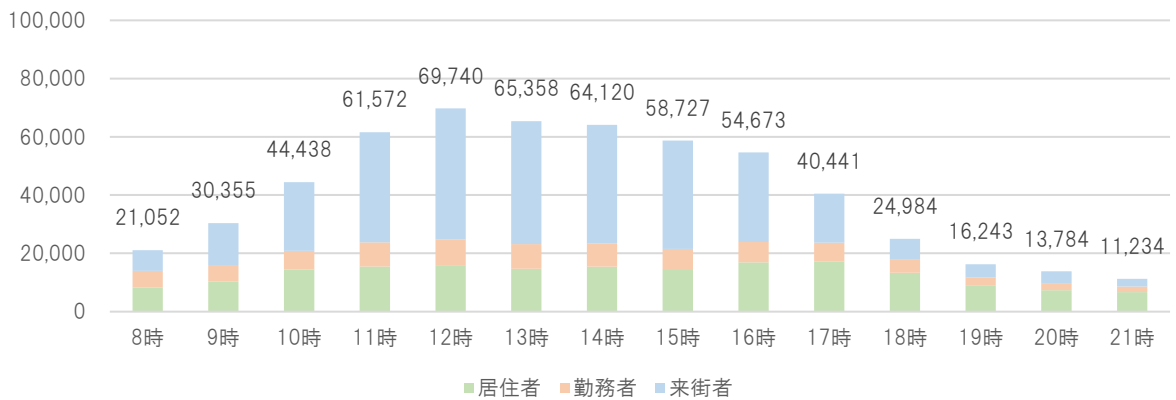
2020年7月～9月



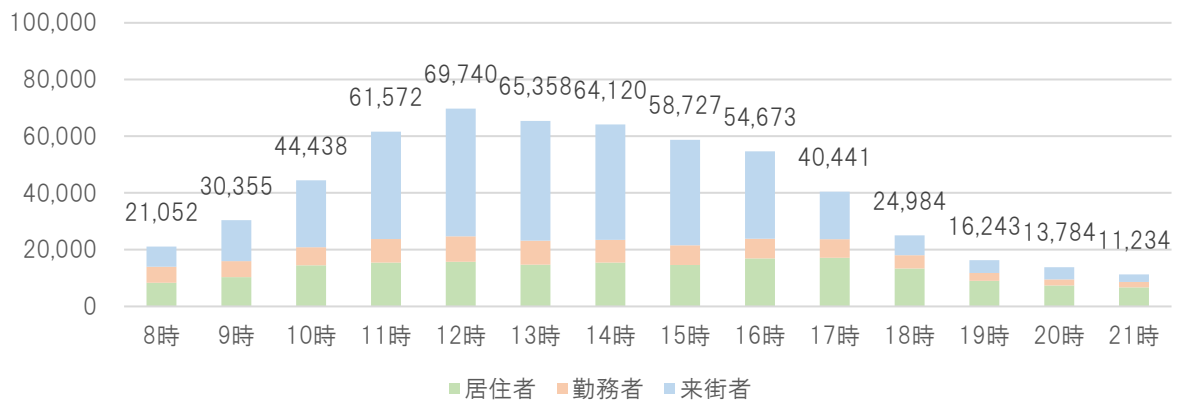
2020年10月～12月



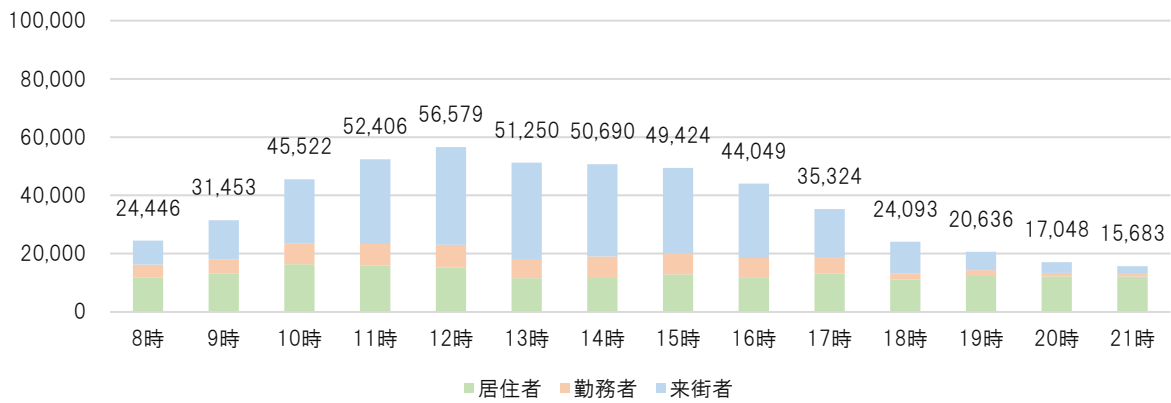
2021年1月～3月



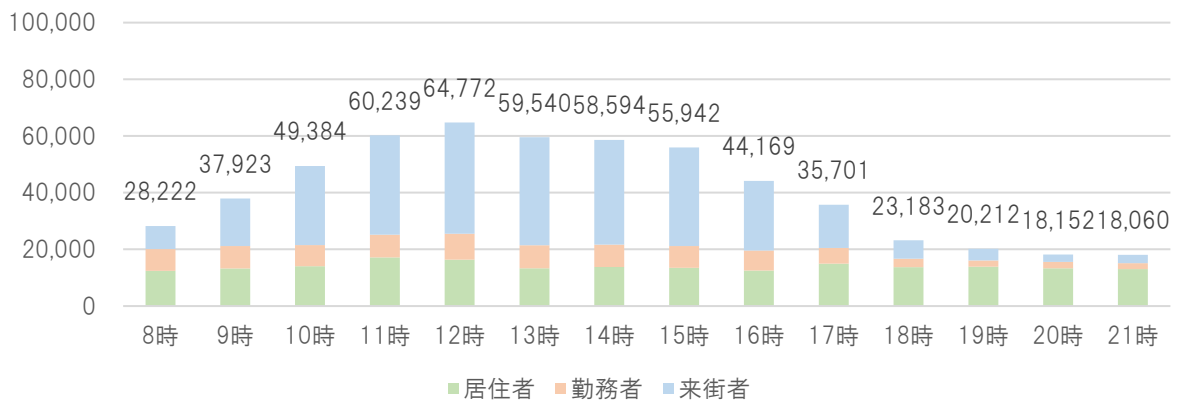
2021年1月～3月



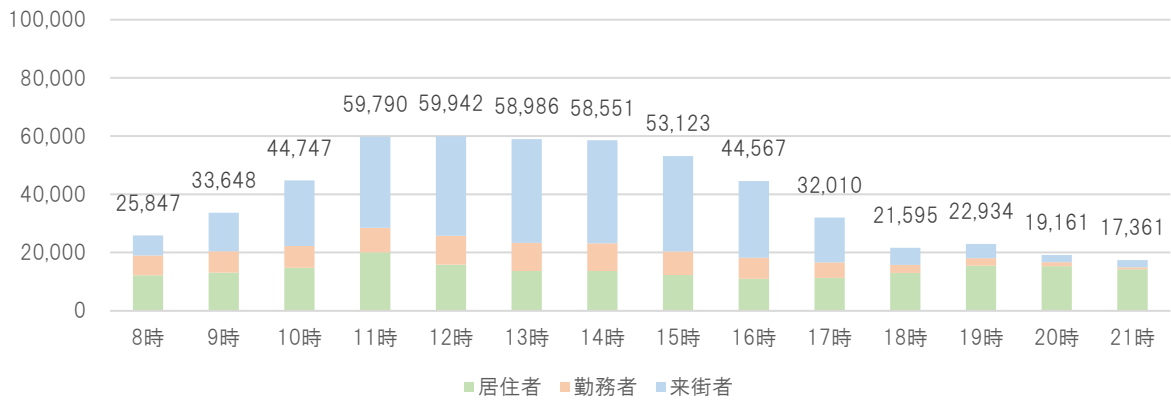
2021年7月～9月



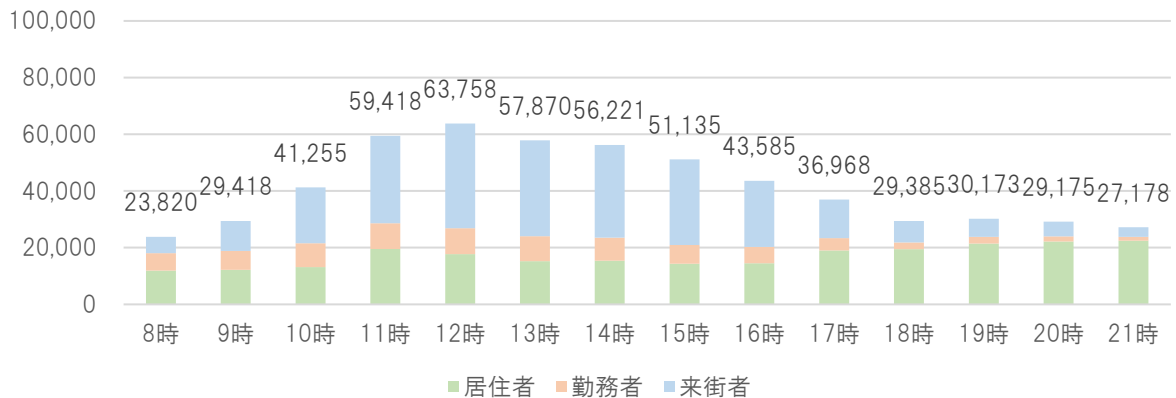
2021年10月～12月



2022年1月～3月



2022年4月～6月

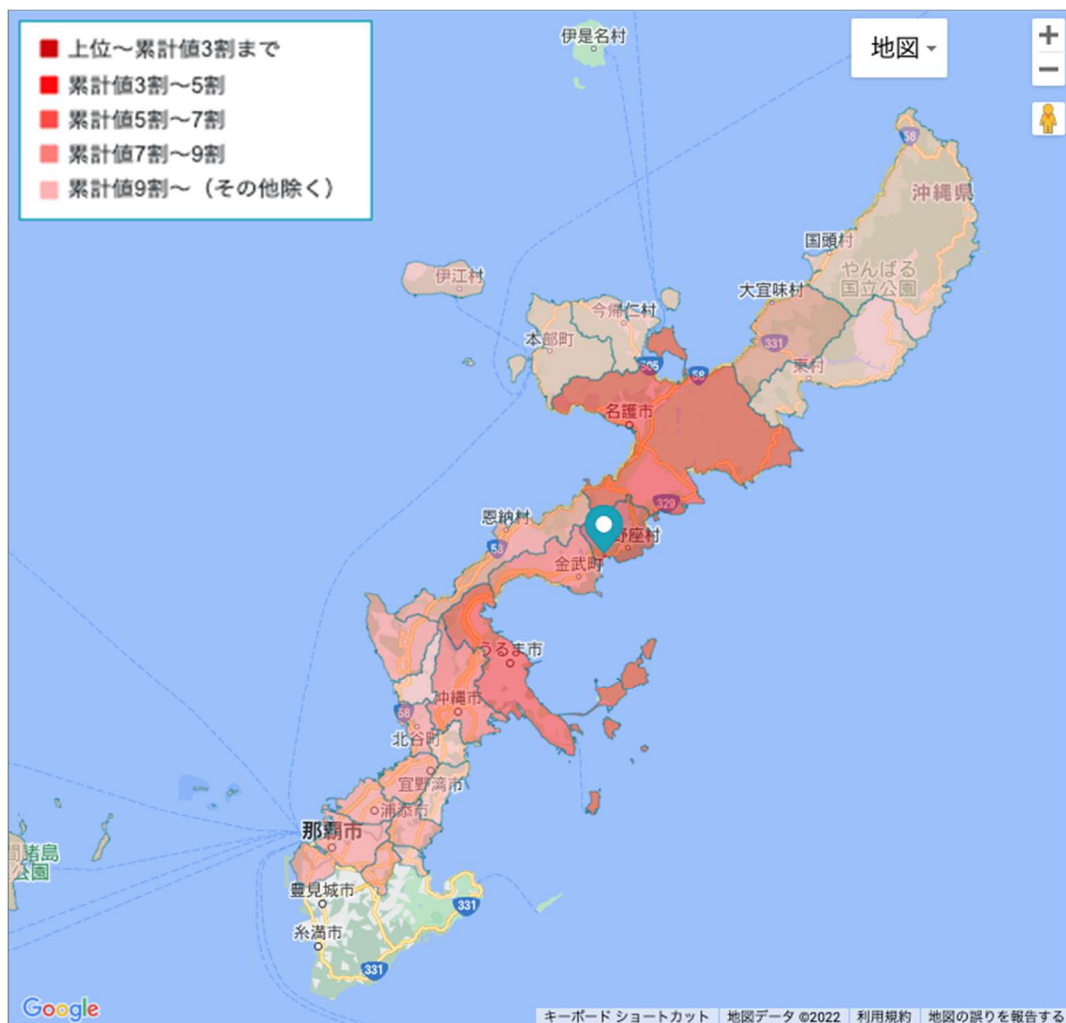


## ② 来訪者居住地分析

来訪者の居住地を見ると、最も多いのが宜野座村、次いで、名護市、うるま市、金武町、沖縄市、那覇市となっている。近隣の市町村からの来訪者が多くなっている。

(2022年1月～6月)

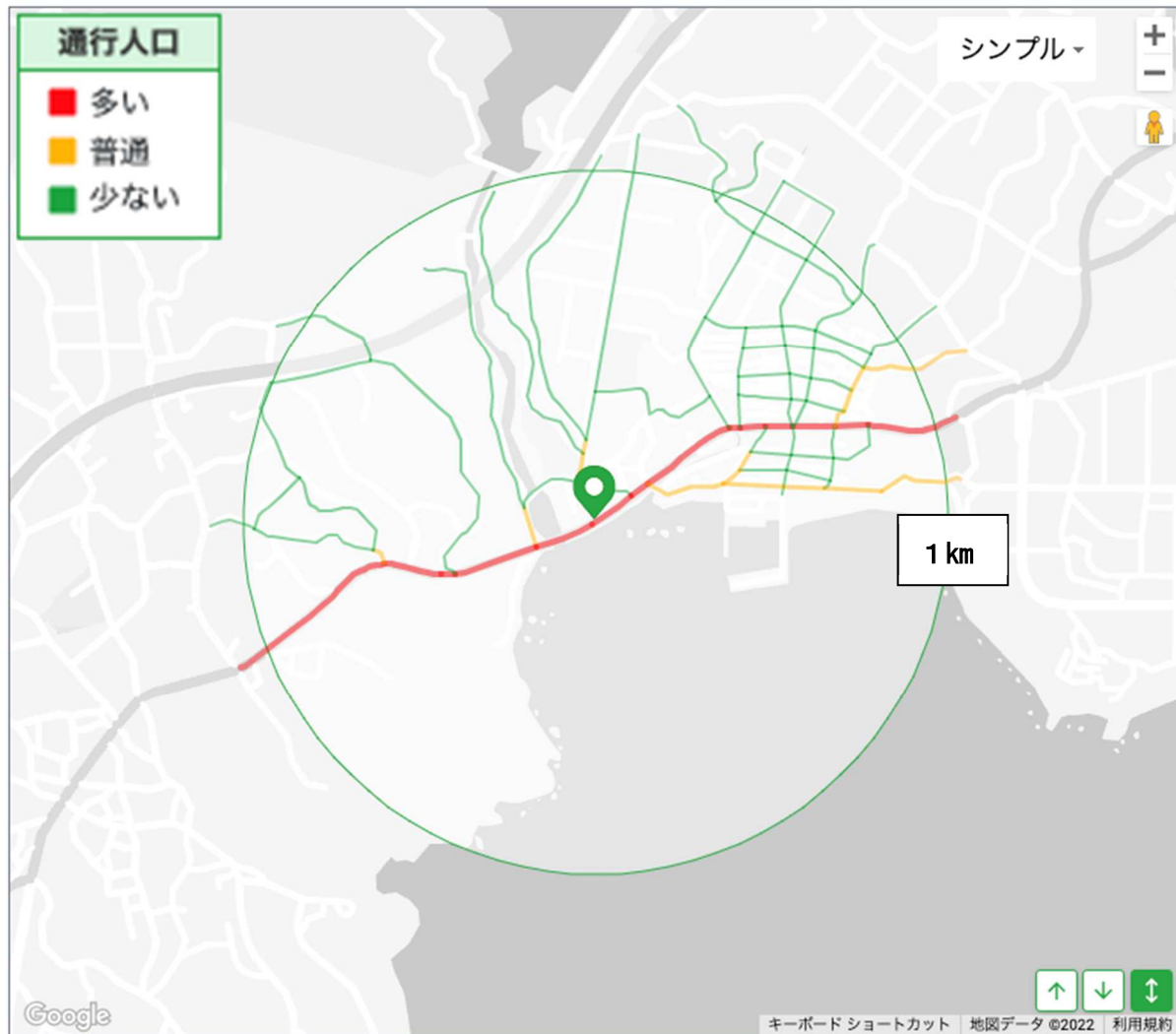
No	市区町村名	人数	No	市区町村名	人数
1	宜野座村	87,245	11	南風原町	5,800
2	名護市	41,019	12	恩納村	5,245
3	うるま市	38,629	13	南城市	5,059
4	金武町	38,299	14	大宜味村	4,724
5	沖縄市	26,184	15	西原町	3,727
6	那覇市	17,055	16	本部町	3,223
7	浦添市	9,809	17	豊見城市	3,210
8	北谷町	8,617	18	今帰仁村	2,791
9	宜野湾市	8,408	19	国頭村	2,760
10	読谷村	6,673	20	糸満市	2,612



### ③ 主要動分析

2021年の車での訪問者数から交通量を図可すると、国道329号が多く、最寄りの地域から来訪していると考えられる村道等が普通という利用状況だった。国道329号以外で交通量が多くなっている道路はない。

2021年1月～12月



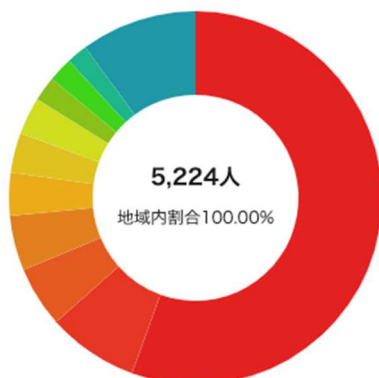


## 4-3-2. RESAS

### ① 滞在人口

村内の滞在人口をみると 5,000 人から 6,000 人程度となっている。滞在人口の内訳では、近隣の名護市、うるま市、金武町からの訪問者が上位となっている。

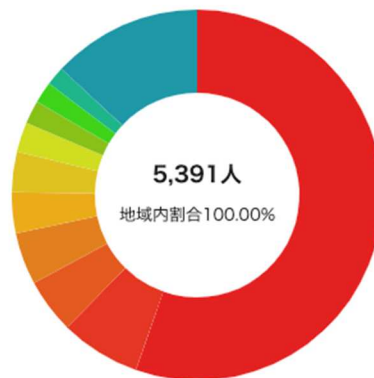
2021年3月



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 沖縄県宜野座村 2,901人 (55.53%)
- 2位 沖縄県名護市 412人 (7.89%)
- 3位 沖縄県うるま市 275人 (5.26%)
- 4位 沖縄県金武町 249人 (4.77%)
- 5位 沖縄県沖縄市 194人 (3.71%)
- 6位 沖縄県那覇市 181人 (3.46%)
- 7位 沖縄県宜野湾市 169人 (3.24%)
- 8位 沖縄県今帰仁村 113人 (2.16%)
- 9位 沖縄県浦添市 110人 (2.11%)
- 10位 沖縄県読谷村 94人 (1.80%)
- その他 526人 (10.07%)

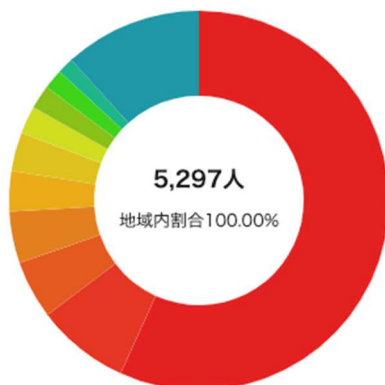
2021年6月



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 沖縄県宜野座村 2,985人 (55.37%)
- 2位 沖縄県名護市 377人 (6.99%)
- 3位 沖縄県うるま市 257人 (4.77%)
- 4位 沖縄県金武町 245人 (4.54%)
- 5位 沖縄県那覇市 193人 (3.58%)
- 6位 沖縄県沖縄市 189人 (3.51%)
- 7位 沖縄県宜野湾市 140人 (2.60%)
- 8位 沖縄県浦添市 110人 (2.04%)
- 9位 沖縄県恩納村 101人 (1.87%)
- 10位 沖縄県南風原町 89人 (1.65%)
- その他 705人 (13.08%)

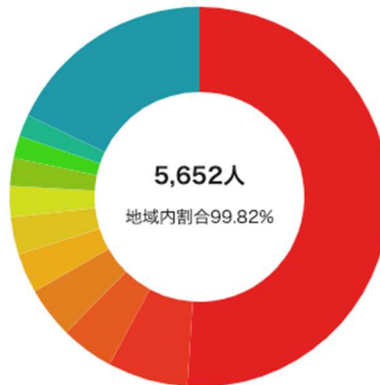
2021年9月



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 沖縄県宜野座村 3,007人 (56.77%)
- 2位 沖縄県名護市 419人 (7.91%)
- 3位 沖縄県うるま市 264人 (4.98%)
- 4位 沖縄県金武町 233人 (4.40%)
- 5位 沖縄県沖縄市 182人 (3.44%)
- 6位 沖縄県那覇市 176人 (3.32%)
- 7位 沖縄県宜野湾市 124人 (2.34%)
- 8位 沖縄県読谷村 108人 (2.04%)
- 9位 沖縄県浦添市 90人 (1.70%)
- 10位 沖縄県北谷町 73人 (1.38%)
- その他 621人 (11.72%)

2021年12月



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 沖縄県宜野座村 2,884人 (51.03%)
- 2位 沖縄県名護市 386人 (6.83%)
- 3位 沖縄県うるま市 255人 (4.51%)
- 4位 沖縄県金武町 246人 (4.35%)
- 5位 沖縄県那覇市 191人 (3.38%)
- 6位 沖縄県沖縄市 181人 (3.20%)
- 7位 沖縄県今帰仁村 149人 (2.64%)
- 8位 沖縄県宜野湾市 133人 (2.35%)
- 9位 沖縄県読谷村 107人 (1.89%)
- 10位 沖縄県八重瀬町 106人 (1.88%)
- その他 1,014人 (17.94%)

## ② 宿泊者数

村内への宿泊者数は 2018 年と 2019 年では約 17,000 人であったが、2020 年と 2021 年ではおよそ半分の 8,000 人となっている。すべての年において、東京都からが最も多く、約 2 割を占めている。



## 5. 施設等整備コンセプト

### 5-1. 実態調査・分析及び課題の整理

村の現状分析、未来ぎのぞの利用・運営状況、交通量調査、利用者ニーズ、人流分析等の各種調査・分析結果を以下のとおりまとめる。

#### 宜野座村の現状分析

- ・道の駅「ぎのぞ」への来場者数は令和2年度で年間約48万人、令和3年度で年間約58万人が来場している。
- ・県内在住者の来客が多く、村内の宿泊施設は周辺市町村を比較して少ない。
- ・村内には、漢那ダムや渦原海岸、松田鍾乳洞などの自然資源、タピックタラソセンター宜野座などのレジャー施設がある。

#### 未来ぎのぞの利用・運営状況

- ・令和3年度の施設利用者数、売上高ともに、令和元年度と比較して25%減少。
- ・3～5月、7～8月の利用者が多い。
- ・売上高の約5割は農産物が占めている。特に、毎年7月の売上高が多い。

#### 交通量調査

- ・休日の前面交通量に対する立寄率は、金武町方面・名護市方面ともに約13%。
- ・平日は休日以上の交通量はあるが、前面交通量に対する立寄率は、約6%に半減。
- ・休日は第1駐車場の利用率は10時台～17時台で100%を超え、第2駐車場の利用率も最大で80%を超えている。
- ・一方で、第3駐車場の利用は少ない。
- ・平日の第1駐車場の利用率は最大80%。

#### 利用者ニーズ分析

- ・家族での2～4名の利用が多い。
- ・水遊び場、ぎ～のくんランド、直売センターの利用者が多く、沖縄市やうるま市からのリピーターが多い。
- ・不足している施設として、駐車場、飲食・カフェ、シャワー・更衣室、休憩スペース。
- ・施設周辺にはアウトドア機能、自然体験機能、食・観光機能、回遊機能が求められる。

#### 人流分析

- ・平日は、居住者と来街者が同程度の割合で来訪しているが、休日は、来街者の割合が増加する。
- ・利用者が多い7～9月においては、70歳以上(特に女性)の利用が多く、次いで30歳代の利用が多い。
- ・直近(2022年1月～6月)の来訪者は、村内を除くと名護市、うるま市、金武町、沖縄市からの来訪が多い。

各種調査・分析結果を踏まえ、ターゲット、機能・施設、消費・滞在、広域連携の4つの視点で課題を整理する。

## ターゲット

### 【課題①】

- ◆子ども連れの家族やグループが利用・滞在しやすい場づくり
- ◆県内来街者の新たな目的地となる場づくり

水遊び場、ぎ〜のくんランドなど子ども連れのファミリー世代、2~4人グループの利用が多く、これらのニーズがゆっくり過ごすことができる機能強化が求められる。また、年間を通じて県内利用者が多く、県内の新たな目的としての魅力向上が求められる。

## 機能・施設

### 【課題②】

- ◆駐車場不足の解消、分かりやすい配置検討
- ◆福地川の河川・自然環境を活かした機能の充実

休日においては道の駅の駐車場が不足しており、駐車場不足の解消及び附属駐車場への分かりやすい誘導が求められる。また、施設周辺においては、アウトドア機能、自然体験機能、食・観光機能、回遊機能が求められており、新たなニーズ拡大に向けて、福地川の周辺の水環境や緑環境を活かした機能の充実と道の駅との連携が必要である。

## 消費・滞在

### 【課題③】

- ◆施設の消費(農産物、飲食等)につながる機能の連携
- ◆通年で滞在・活動できるアクティビティの創出

リバーパークの利用者の拡大、滞在に合わせて、未来ぎのぞや直売所の消費拡大が求められる。また、未来ぎのぞの利用は3~5月、7~8月が多く売上高も7月多くなっており、夏季だけではなく、冬季の利用者・消費拡大に向けたアクティビティの創出が求められる。

## 広域連携

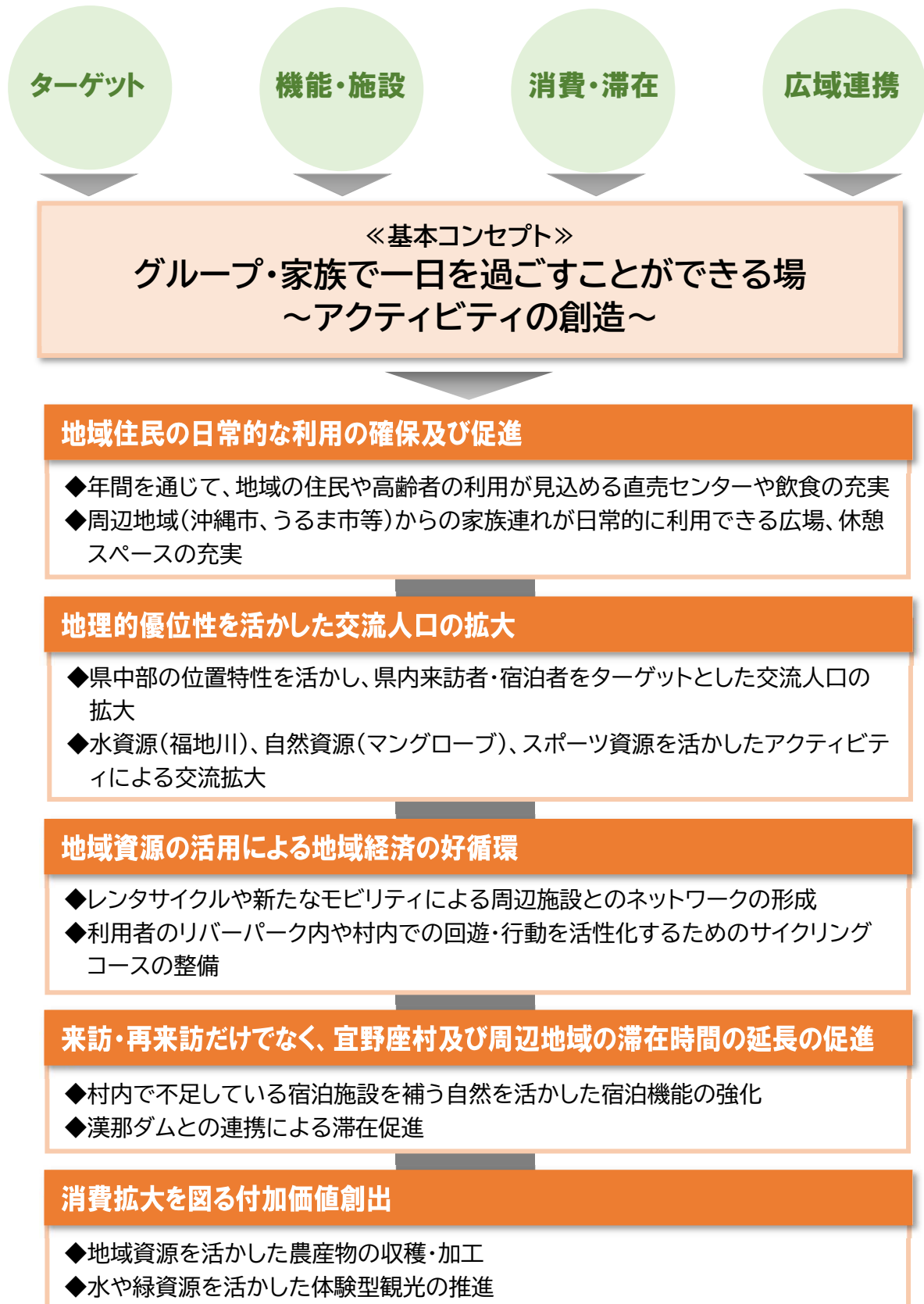
### 【課題④】

- ◆村内の周辺施設との連携・回遊できるネットワークづくり
- ◆県内の道の駅や周辺施設との機能分担・連携

村内には潟原海岸や松田鍾乳洞などの自然資源、漢那ダムやタピックタラソセンター宜野座などの施設、いちご狩りができる観光農園などがあり、それらの資源・施設と連携し、村内での滞在時間の増加、村外の道の駅や関連施設との機能分担・連携が求められる。

## 5-2. 整備コンセプト・方向性

ターゲット、機能・施設、消費・滞在、広域連携の視点による4つの課題を踏まえ、グループやファミリー層をターゲットとして、一日過ごすことができる場づくりを基本コンセプトとして、アクティビティを創造するための5つの整備方針を掲げる。



## 地域住民の日常的な利用の確保及び促進

### アクティビティ×日常

道の駅利用者や県内のファミリー層が、ぎ〜のくんランドと連携し芝生広場でピクニック等で遊んだり、道の駅での飲食・休憩によりゆっくり過ごすなど、日常のアクティビティの場とする。

#### 【想定される機能】

- ・飲食店・カフェの充実 ※道の駅と連携
- ・休憩スペース(ベンチ等)の充実
- ・多目的な芝生広場
- ・動物とふれあうことができるドッグラン
- ・ストリートパーク など

## 地理的優位性を活かした交流人口の拡大

### アクティビティ×交流

福地川沿いの散策路の整備により、マングローブなどの自然体験や子どもの教育の場、ウォーキング等による健康増進の場として活用し、新たな交流によるアクティビティを生み出す場とする。

#### 【想定される機能】

- ・マングローブなどの自然体験・散策路
- ・子どもの教育の場としての散策路の活用
- ・散策路による自然体験や漢那ダムとの連携・ウォーキング など

## 地域資源の活用による地域経済の好循環

### アクティビティ×連携

周辺の漢那ダムやいちご園などとの連携によるアクティビティを生み出す場とする。連携の拠点として、電動自転車等のレンタサイクルやグリーンスローモビリティの導入を検討し、地域経済の活性化を図る。

#### 【想定される機能】

- ・漢那ダムやいちご園などの周辺施設との連携
- ・グリーンスローモビリティ、電動自転車等のレンタサイクル、サイクリング道の整備によるエリア内や周辺資源との連携 など

## 来訪・再来訪だけでなく、宜野座村及び周辺地域の滞在時間の延長の促進

### アクティビティ×滞在

道の駅のみの一時的な利用ではなく、周辺の自然環境を活かしたキャンプサイトなど、宿泊・滞在によるアクティビティの増大を図り、滞在時間の延長を促進する。

#### 【想定される機能】

- ・河畔を活用したキャンプサイト(キャンピングカー乗り入れによるRVパーク)
- ・芝生広場によるデイキャンプ
- ・観光農園 など

## 消費拡大を図る付加価値創出

### アクティビティ×消費

道の駅利用者の散策路等の利用による回遊・時間消費の仕組みづくりや自然環境を活かしたスポーツ体験により、消費を拡大するアクティビティを創出する。

#### 【想定される機能】

- ・道の駅と連携した回遊・時間消費の仕組みづくり(スタンプラリー等)
- ・水を活かしたカヤック・サップ・ビーチパーク、緑を活かしたジップライン、スカイアドベンチャー等の新たなスポーツ体験 など

## 6. 導入機能についての整備方針

### 6-1. 導入機能検討にあたっての事業者ヒアリング

導入機能の検討にあたって、道の駅との連携可能性、新たな導入機能の可能性について事業者へのヒアリングを行った。

道の駅との連携可能性については、道の駅ぎのぞを運営する宜野座村観光協会を対象に、現状の課題や取組内容、導入機能・ニーズについて、新たな導入機能の可能性については、県内外のアウトドア事業者に、事業概要や県内のアウトドアニーズ、リバーパークへの参画可能性についてヒアリングを行った。

ヒアリング概要を意見のまとめを以下に整理する。

#### ■事業者ヒアリングの概要

視点	事業者	ヒアリング日	内容
道の駅との連携可能性	宜野座村観光協会	令和5年 5月8日(月)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 基本計画の方向性について</li> <li>2. 現状の課題について</li> <li>3. 観光協会の取組内容と機能強化・連携について</li> <li>4. 道の駅周辺の導入機能・ニーズについて</li> </ol>
新たな導入機能の可能性	NEOS (NEOS アウトドアパーク南城)	令和5年 5月8日(月)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 宜野座村リバーパーク整備の概要について</li> <li>2. 県内のアウトドアニーズについて</li> <li>3. NEOS アウトドアパーク南城の事業概要について</li> <li>4. リバーパーク整備・運営にあたっての参画可能性について</li> </ol>
	プロジェクト アドベンチャー ジャパン (PANZA OKINAWA)	令和5年 6月2日(金)	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. ジップライン設置の条件</li> <li>2. 管理運営について</li> <li>3. 宜野座村リバーパークでの可能性について</li> </ol>

■事業者ヒアリング結果のまとめ

視点	ヒアリング先	現状の取組や課題	
道の駅との連携可能性	宜野座村観光協会	<p><b>【現状の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・集客に課題はなく、来た人をどう楽しませてお金を使ってもらうかが課題</li> <li>・今後も安定した集客をするためには、プロモーションや運営を改善していくことが必要</li> <li>・駐車場の確保の課題。GW 中は第3駐車場まで満車状態。第2、第3駐車場に置いて、周辺で遊びながら道の駅まで歩いてきたくなる仕掛けが必要。</li> </ul>	<p><b>【取組内容と周辺との機能強化・連携】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カヌー体験は民間に委託。1人 2,000 円。</li> <li>・予約して体験をする人もいるが、予約なく訪れて体験をする人も多い。</li> <li>・レンタサイクルは 6 月からスタート。ガイド付きのサイクリングツアーは 4,000 円(90 分のコース)で、自転車を担いで階段を登る必要がある。</li> </ul>
	NEOS (NEOS アウトドアパーク 南城)	<p><b>【体験・キャンプ等の集客状況・課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプのスタイルは多種多様で、いろいろなスタイルのお客さんが来る。</li> <li>・夏場はカヤック等の体験要望がある。</li> <li>・芝生のサイトのみで 14。週末は全て埋まる。平日は平均して 4 組前後。</li> <li>・車中泊サイトは、通常サイトとオートサイトで区別している。</li> <li>・オートサイトはプラス料金で車を横付けでき、荷物の搬入・搬出が便利。</li> <li>・通常サイトは海が目の前にあるロケーションが非常に好まれ、荷物搬入・搬出時のみは横付けできるようにしていることから、こちらも非常に好印象である。</li> </ul>	<p><b>【キャンプ場の管理運営の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・現在、土曜日または連休のときのみ、当直を設けている。</li> <li>・平日や休みの前日はスタッフがいないことになっている。</li> <li>・緊急時は電話の転送等で対応。</li> </ul>
新たな導入機能の可能性	プロジェクトアドベンチャー ジャパン (PANZA OKINAWA)	<p><b>【ジップラインの設置条件・課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置するためには高低差が必要(谷になっている地形が良い)⇒橋を設置が必要</li> <li>・保安林や HWL 等の規制に関する確認が必要</li> <li>・道路上を通過する場合は警察の許可が必要になる。許可が降りにくい。</li> <li>・既存施設に設置するのは現実的ではない。ダムに設置するのであれば国交省への確認が必要。</li> </ul>	<p><b>【ジップラインの管理運営の課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置費用は、ジップラインの距離によるが設置に約 6,500 万円</li> <li>・ランニングコストとして、定期検査(年に1回)、スタッフトレーニング(2 年に 1 回)、機器・用具・ブレーキのメンテナンス義務、ベルトなどの更新費、ワイヤー7万人利用または5年で交換。</li> <li>・風が強いと運営できない日がある(恩納村は運営できる日が6割)</li> </ul>



■事業者ヒアリング結果のまとめ

視点	ヒアリング先	ニーズ・ターゲット	リバーパークでの取組可能性
道の駅との連携可能性	宜野座村観光協会	<p><b>【道の駅周辺の導入機能・ニーズ】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「歩いて楽しい、木陰で暑さ対策、木漏れ日」のような要素が必要。平日は県民のウォーキングスポットになればいい。自然を活かしたりリバーパークにしたい。</li> <li>・ジップラインは恩納村のように設置当初は盛り上がるが、継続して賑わっている印象は少ない。</li> <li>・学校の遠足、児童クラブの遠足の場所として整備して、自然環境の学びの場所を提供したい。</li> <li>・駐車場でスケボーしている人が来るので、対岸をストリートパークにしたほうがいい。</li> </ul>	<p><b>【リバーパークでの取組提案・アイデア】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・周辺を周遊できるように謎解きゲームを設置</li> <li>・ワイヤーを川に張って、鯉のぼりや短冊を飾るとよい</li> </ul>
新たな導入機能の可能性	NEOS (NEOS アウトドアパーク 南城)	<p><b>【キャンプニーズ・ターゲット】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・NEOS アウトドアパーク南城を利用するお客さんの多くは県内。年齢層は50～60代が多く、団体客よりも少人数(3名ほど)が多い。</li> <li>・土日はファミリー層が多く、グループ客も多い。</li> <li>・平日はほとんどがリピーター客の利用である。</li> <li>・夏場は海辺のキャンプ場を利用する方が多い、山のキャンプ場でも清潔感が保たれている箇所は利用が多い。</li> <li>・コロナ禍以降で、県外からも増えている印象。</li> </ul> <p><b>【キャンプ以外のニーズ・ターゲット】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・キャンプをしに来た全員で、一緒にその他のアクティビティをすることは少ない。チェックアウト後に遊ぶ場合はあると思うので、その誘導ができるのであれば良い。</li> <li>・キャンプ場とアクティビティ機能は分けて考えた方が良い。客層が異なる。</li> <li>・ジップラインなどのアクティビティは単価も高く、県外の方が利用しているイメージが多い。</li> </ul>	<p><b>【リバーパークへの参画可能性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・南城市で指定管理へ参画した理由は、目の前が海であることから自社が有しているコンテンツを併せて提供できるという要素が魅力的である。</li> <li>・事業実施においてはやはりコストもかかるため、運営にあたっての補助金等があると魅力的である。指定管理において、行政から場所の提供のみではなく、その運営に対する費用等も充てられると良い。</li> </ul>
	プロジェクトアドベンチャー ジャパン (PANZA OKINAWA)	<p><b>【ジップラインの集客・ターゲット】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ジップラインだけで集客は難しいと思う。何かと組み合わせが必要。</li> <li>・日陰が少ないので暑い可能性がある</li> <li>・年間3万人の集客が目安(恩納村では年間4万人が利用している)</li> </ul>	<p><b>【リバーパークでの設置可能性】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ロケーションがよいかどうか</li> <li>・ジップラインのみを目当てに来る観光客は少なく、リピーターも少ないので、他の機能・集客との連携が条件</li> <li>・森林やダムの上を活用することは難しい。河川を交差するように設置することは可能</li> <li>・沖縄は塩害でワイヤーが錆びやすいので、メンテナンス費用がかかる</li> </ul>

## 6-2. 導入機能の整理

ニーズ調査や事例調査をもとに、整備コンセプト・方向性、事業者ヒアリング等を踏まえ、対象区域において想定される機能を整理する。導入機能の検討にあたっては、集客見込み、滞在時間の増加、消費の拡大（収入・支出の見込み）の観点と、リバーパークのターゲット（県内の子ども・ファミリー層、若年層のグループ）の観点から、整備の優先度を整理する。

### ■導入機能の整理

視点	機能・施設
ニーズ・収益性が見込まれる 導入機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎芝生広場・ドッグラン</li> <li>◎レンタサイクル</li> <li>◎自然体験・散策路</li> <li>◎カヤック・サップ・カヌー・グラスボード</li> <li>◎BBQ デッキ</li> <li>◎キャンプ、RV パーク</li> </ul>
ニーズを見ながら導入を検討 する機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○グリーンスローモビリティ</li> <li>○ストリートパーク</li> <li>○ビーチパーク</li> <li>○観光農園</li> <li>○ジップライン、ツリートレッキング、スカイアドベンチャー</li> </ul>
採算性を勘案し、慎重に検討 する機能	<ul style="list-style-type: none"> <li>△加工体験</li> <li>△動物コーナー・水族館</li> <li>△観光船・マリーナ</li> <li>△温浴施設</li> <li>△宿泊施設</li> </ul>

■想定される機能の整理

■ ニーズ・収益性等による導入すべき機能(第Ⅰ期)

□ ニーズを見ながら導入する機能(第Ⅱ期)

施設・機能	事例	集客見込み (ターゲット)	整備・運営主体	
			整備	運営
芝生広場・ドッグラン	・やんばるパイナップルの丘 ・福地川海浜公園 ・道の駅遠軽 森のオホーツク ・道の駅しょうなん	子どもの遊び場など、アンケートによる導入希望ニーズは高い。	公共	公共
レンタサイクル	・mio camino ASAKUSA ・道の駅やよい ・道の駅しょうなん ・VISON	周辺の観光施設との連携により、利用ニーズの増加は見込める	公共	公共 民間
グリーンスローモビリティ	・VISON	—	公共	公共
自然体験・散策路	・わんさか大浦パーク ・水の郷さわら	アンケートによる導入希望ニーズは高い。	公共	公共 民間
加工体験	・道の駅川場田園ブラザ ・道の駅常陸大宮 ・道の駅しょうなん	—	公共	公共 民間
動物コーナー・水族館	・道の駅やよい	子ども連れの集客は見込まれる	公共	公共 民間
カヤック・サップ・カヌー・グラスボート	・わんさか大浦パーク ・福地川海浜公園 ・mio camino ASAKUSA ・水の郷さわら	ファミリー・若者世代の集客は見込まれる。	公共	民間
ストリートパーク		若者世代の集客は見込まれる。	公共	公共
ビーチパーク		若者世代の集客は見込まれる。	公共	公共 民間
観光農園	・VISON ・道の駅常陸大宮	食と連携した集客が見込まれる。	民間	民間
観光船・マリーナ	・水の郷さわら	—	公共 民間	民間
ジップライン	・道の駅遠軽 森のオホーツク ・道の駅四万十町とおわ	ファミリー・若者世代の集客は見込まれる。	公共	民間
ツリートレッキング、スカイアドベンチャー	・道の駅遠軽 森のオホーツク ・道の駅こすげ	リピーターは見込めない	公共	民間
BBQ デッキ	・わんさか大浦パーク ・mio camino ASAKUSA ・道の駅常陸大宮 ・道の駅きつれがわ	ファミリー・若者世代の集客は見込まれる。 アンケートによる導入希望ニーズは高い。	公共	公共 民間
キャンプ	・福地川海浜公園 ・道の駅きくすい ・道の駅きつれがわ		公共 民間	公共 民間
RV パーク	・道の駅こすげ ・道の駅きくすい		公共 民間	公共 民間
温浴施設	・VISON ・道の駅こすげ ・道の駅きくすい ・道の駅きつれがわ	水遊び場やキャンプと連携したニーズは見込まれる (シャワー施設への代替も検討)	民間	民間
宿泊施設	・VISON	県内観光客をターゲットとする場合、ニーズが少ない	民間	民間

■想定される機能の整理

□ ニーズ・収益性等による導入すべき機能(第Ⅰ期)

□ ニーズを見ながら導入する機能(第Ⅱ期)

施設・機能	必要な施設整備	見込まれる収益		備考	
		支出	収入		
芝生広場・ドッグラン	・広場整備・芝生養生 ・ドッグランフェンス・犬用トイレ等	少	・キッチンカー等の利用代 ・キャンプサイトやBBQデッキと連携した活用	少	
レンタサイクル	・サイクルステーション ・貸出用自転車(大人用・子ども用)	少	・レンタサイクルの貸出代(500~1000円程度)	少	
グリーンスローモビリティ	・自動運転車両	中	・無料もしくは運賃代(500~1000円程度)	少	
自然体験・散策路	・散策路の整備	中	・自然体験・ガイド料(ガイドツアー3000円程度)	少	
加工体験	・加工施設・室の整備	中	・加工体験料(2000~3000円程度)	少	既存施設の活用も可能
動物コーナー・水族館	・施設・バックヤードの整備	多	・入場料・ふれあい体験等による収入(無料~500円程度)	少	規模にもよるが、日常の管理が難しい
カヤック・サップ・カヌー・グラスボード	・乗り場整備 ・レンタル用具	少	・体験・ガイド料(2000~5000円程度)	中	
ストリートパーク	・ボードスポーツ、バスケットコート整備	中	・基本は無料	少	
ビーチパーク	・浚渫工事・盛土工事 ・スポーツ物品	多	・ビーチバレーコート、ビーチサッカーコートの貸出代(500~1000円/時間)	中	
観光農園	・遊具整備	多	・収穫体験料 ・貸農園による定期収入(10000~30000円程度/年)	中	
観光船・マリーナ	・船舶購入、乗り場整備	多	・乗船料(500~1000円程度)	中	
ジップライン	・ジップライン等の施設整備、遊具の設置	多	・利用料(1500~3000円程度)	中	魅力的なロケーションが必要
ツリートレッキング、スカイアドベンチャー	・トレーナー育成、定期点検、ワイヤー交換等	中	・利用料(1000~2000円程度)	中	木陰、休憩所が必要
BBQ デッキ	・デッキ・スペース整備 ・水回り整備 ・BBQ コンロ等	中	・利用料(500円程度/人・時間)、貸出料(3000円程度) ・食材費(直売所等との連携)	中	
キャンプ	・整地(芝生養生)・区画の整備	少	・利用料(3000~5000円程度/サイト) ・キャンプ用具レンタル料	中	芝生広場の一部を活用
RV パーク	・整地・区画の整備	少	・利用・宿泊料(2500円程度/泊)	中	
温浴施設	・施設整備	多	・入浴料	多	タラソラグーナとの連携を検討 民間事業者のサウンディングが必要
宿泊施設	・施設整備	多	・宿泊料	多	民間事業者のサウンディングが必要